

鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事

香山・タニ設計業務共同企業体

図面目録（電気）			図面目録（電気）			図面目録（電気）		
図番	名称	縮尺	図番	名称	縮尺	図番	名称	縮尺
E-01	図面目録		E-31	R階電灯設備図(改修前)	1:150	E-61	地階・1階 放送・I T V設備図(改修後)	1:150
E-02	特記仕様書1		E-32	非常照明器具参考姿図（改修後）		E-62	2階 放送・I T V設備図(改修後)	1:150
E-03	特記仕様書2		E-33	地階・1階非常照明設備図(改修後)	1:150	E-63	3階 放送・I T V設備図(改修後)	1:150
E-04	特記仕様書3		E-34	2階非常照明設備図(改修後)	1:150	E-64	地階・1階 放送・インターホン・音声案内設備図(改修後)	1:150
E-05	特記仕様書4		E-35	3階非常照明設備図(改修後)	1:150	E-65	2階 放送・インターホン・音声案内設備図(改修後)	1:150
E-06	特記仕様書5		E-36	非常照明器具参考姿図（改修前）	1:150	E-66	3階 放送・インターホン・音声案内設備図(改修後)	1:150
E-07	特記仕様書6		E-37	地階・1階非常照明設備図(改修前)	1:150	E-67	警備保障機器姿図	
E-08	配置図	1:300	E-38	2階非常照明設備図(改修前)	1:150	E-68	警備保障設備系統図・凡例	
E-09	既設キュービクル単線結線図		E-39	3階非常照明設備図(改修前)	1:150	E-69	地階・1階 警備保障設備図(改修後)	1:150
E-10	盤単線結線図(改修後)－1		E-40	コンセント盤・動力盤単線結線図(改修後)		E-70	2階 警備保障設備図(改修後)	1:150
E-11	盤単線結線図(改修後)－2		E-41	地階・1階コンセント設備図(改修後)	1:150	E-71	3階 警備保障設備図(改修後)	1:150
E-12	地階・1階空調電源動力幹線設備図(改修後)	1:150	E-42	2階コンセント設備図(改修後)	1:150	E-72	地階・1階 弱電設備図(改修前)	1:150
E-13	2階空調電源動力幹線設備図（改修後）	1:150	E-43	3階コンセント設備図(改修後)	1:150	E-73	2階 弱電設備図(改修前)	1:150
E-14	3階空調電源動力幹線設備図（改修後）	1:150	E-44	R階コンセント設備図(改修後)	1:150	E-74	3階 弱電設備図(改修前)	1:150
E-15	R階空調電源動力幹線設備図（改修後）	1:150	E-45	地階・1階コンセント設備図(改修前)	1:150	E-75	R階 弱電設備図(改修前)	1:150
E-16	盤単線結線図(改修前)－1		E-46	2階コンセント設備図(改修前)	1:150	E-76	自火報設備系統図・凡例	
E-17	盤単線結線図(改修前)－2		E-47	3階コンセント設備図(改修前)	1:150	E-77	地階・1階 自火報設備図(改修後)	1:150
E-18	地階・1階空調電源動力幹線設備図(改修前)	1:150	E-48	R階コンセント設備図(改修前)	1:150	E-78	2階 自火報設備図(改修後)	1:150
E-19	2階空調電源動力幹線設備図（改修前）	1:150	E-49	端子盤表・総合盤参考寸法図・音声呼出表示機器姿図		E-79	3階 自火報設備図(改修後)	1:150
E-20	3階空調電源動力幹線設備図（改修前）	1:150	E-50	放送機器姿図・システムブロック図		E-80	R階 自火報設備図(改修後)	1:150
E-21	R階空調電源動力幹線設備図（改修前）	1:150	E-51	A V機器姿図・システムブロック図（別途工事）		E-81	地階・1階 自火報設備図(改修前)	1:150
E-22	照明器具参考姿図（改修後）		E-52	移動式P A設備機器姿図・システムブロック図（別途工事）		E-82	2階 自火報設備図(改修前)	1:150
E-23	地階・1階電灯設備図(改修後)	1:150	E-53	I T V設備システムブロック図		E-83	3階 自火報設備図(改修前)	1:150
E-24	2階電灯設備図（改修後）	1:150	E-54	I T V設備 機器姿図		E-84	R階 自火報設備図(改修前)	1:150
E-25	3階電灯設備図（改修後）	1:150	E-55	電話情報・T V共聴設備系統図・凡例				
E-26	R階電灯設備図(改修後)	1:150	E-56	放送・インターホン・音声案内設備系統図・凡例				
E-27	照明器具参考姿図（改修前）		E-57	1階 電話情報・T V共聴設備図(改修後)	1:150			
E-28	地階・1階電灯設備図(改修前)	1:150	E-58	2階 電話情報・T V共聴設備図(改修後)	1:150			
E-29	2階電灯設備図（改修前）	1:150	E-59	3階 電話情報・T V共聴設備図(改修後)	1:150			
E-30	3階電灯設備図（改修前）	1:150	E-60	R階 電話情報・T V共聴設備図(改修後)	1:150			

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称
鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事

2. 工事場所
鳴門市撫養町南浜

建物名称	健康福祉交流センター
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地下1階+地上3階+PH階
敷地面積	6249.16 m2
延床面積	改修前延床面積:3,372 m2 改修後延床面積:3,344 m2
消防法施行例表第1の区分	6項ハ

4. 工事種目	
種目	工事概要
管一式工事	1F:照明、コンセント、動力、幹線、弱電、防災電気の撤去、移設改修及び配管配線の改修
	2F:照明、コンセント、動力、幹線、弱電、防災電気の撤去、移設改修及び配管配線の改修
	3F:照明、コンセント、動力、幹線、弱電、防災電気の撤去、移設改修及び配管配線の改修
	RF:動力、幹線の撤去、移設改修及び配管配線の改修
	各階共通:トイレの照明コンセントの更新、配管配線の改修

II. 共通仕様書

1. 適用基準
- 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。
- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版(以下「標仕」という。)
 - 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年版
 - 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版
 - 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版(以下「改標仕」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年版
 - 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版
 - 木造建築工事標準仕様書 令和7年版
 - 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)・同解説 令和5年版
 - 建築工事標準詳細図 令和4年版(以下「標準図」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和7年版
 - 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 令和7年版
 - 敷地調査共通仕様書 令和4年版

- また、次の図書(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)を参考とする。
- 建築工事監理指針 令和4年版(以下「監理指針」という。)
 - 建築改修工事監理指針 令和4年版
 - 電気設備工事監理指針 令和4年版
 - 機械設備工事監理指針 令和4年版

2. 優先順位

設計図書の優先順位は、次の順とする。

- 質問回答書(②から⑤に対するもの)
- 補足説明書
- 特記仕様書(共通仕様書を含む)
- 図面
- 公共建築工事標準仕様書等

3. 工事実績データの登録

- ① 受注者は、請負代金額が500万円以上の工事については受注・変更・しゅん工・訂正時に、工事実績情報サービス(コリンズ)に基づき、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員に提出して内容の確認を受けた上、次の期限までに登録機関に登録しなければならない。
- 受注時は、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
- 登録内容の変更時は、変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
 - しゅん工時は、工事しゅん工承認後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
 - 訂正時は、適宜とする。
- なお、変更登録は工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金額のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。
- ② 受注者は、実績登録完了後、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。
- なお、変更時としゅん工時の間が14日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

4. 工程表

受注者は、契約書に基づく工程表を契約締結後14日(土曜日、日曜日、祝日等を除く。)以内に提出すること。

5. 工事の着手

受注者は、設計図書に定めのある場合、又は特別の事情により発注者の承諾があった場合を除き、工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。

なお、工事開始日とは、契約書に明示した着工の日(特記仕様書において着工の日を別に定めた場合にあつては、その日)をいう。

6. 施工計画書等

- 施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書並びに施工図等を作成し、監督員の承諾を受けること。
- 上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。
- 施工図、現寸図、見本等を、工事の施工に先立ち作成し、監督員の承諾を受けること。

7. 下請負人の選定

- ① 受注者は、本工事の一部を下請に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すると共に、鳴門市内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。
- ② 受注者は、本工事の全部若しくは一部について、指名停止期間中の有資格業者と下請契約を締結してはならない。
- ③ 受注者は、下請契約を締結するときは、下請負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならない。

8. 施工体制台帳及び施工体系図

- ① 施工体制台帳の作成
受注者は、下請契約(以下の(3)及び(4)の場合を含む。))を締結した場合は、施工体制台帳及び再下請負通知書(以下「施工体制台帳」という。))を自らの責任において作成・保存するとともに、施工体制台帳を工事現場に備え置かなければならない。
- ② 施工体系図の作成及び揭示
受注者は、下請契約(以下の(3)及び(4)の場合を含む。))を締結した場合は、各下請負者の施 工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- ③ 営業者の記載
受注者は、交通誘導警備員を配置するときは、営業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。
- ④ 運搬業者の記載
受注者は、土砂等を運搬する大型自動車を配置するときは、運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。
- ⑤ 施工体制台帳及び施工体系図の提出
受注者は、施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しを、下請契約を締結したときは下請契約日から、内容に変更が生じたときは変更が生じた日から、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内に監督員に提出し、確認を受けなければならない。ただし、提出日について、監督員が承諾したときはこの限りではない。
- ⑥ 再下請負通知書を提出する旨の書面の揭示
受注者は、再下請負通知書を提出する旨の書面を、工事現場の公衆が見やすい場所に掲示しなければならない。

9. 電気保安技術者等

- ① 電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。
 - 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。
 - 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。
- ② 工事用電力設備の保安責任者を関係法令に従って有資格者を定め、監督員に報告すること。

10. 施工中の安全確保

- ① 工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。
- ② 工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと
- ③ 工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱(令和元年9月2日付け国土交通省告示第496号)、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第3号、平成14年5月30日改正)その他関係法令に従い適切に処理すること。
- ④ 受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設材設置を含む)着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。
- ⑤ 地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置(平面・深さ)、規格、構造等を確認しなければならない。
- ⑥ 受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう、受注者の負担でその都度補修又は補償すること。
- ⑦ 受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積み込む作業(ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。))又は貨物自動車から卸す作業(ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。))を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。
- ⑧ 受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。
- ⑨ 受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により確認しなければならない。
- ⑩ 受注者は、トラック(クレーン装置付)を使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置(ブームの格納忘れを防止(警報)する装置、ブームの高さを制限する装置等)付きの車両を原則使用しなければならない。なお、使用できない場合は事前に監督員と協議を行うこと。
- ⑪ 休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。
- ⑫ 受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い、安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資機材保管計画書」(自由様式)の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。
- ⑬ 受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
- ⑭ 仮囲いを設置する場合は、設置後に「現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
- ⑮ 上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階(天井)のスラブはつり工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を図り、施工手順について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。
- ⑯ 受注者は、足場を設置する場合は組立、解体時において、作業前に施工手順を確認し、倒壊や資材落下に対する措置を講じなければならない。特に、飛来落下の恐れのある巾木やメッシュシート等の資機材については、足場の上に仮置きせず、設置又は荷下ろしするまでは、番線等により固定を行うこと。また、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、作業を中止すること。
- ⑰ 作業にあたって労働災害、公衆災害の事故リスクと対応方法について監督員と協議すること。
- ⑱ 既設配管等を破損させた場合の停電、断水等の影響範囲及び破損防止のための対策について関係者と協議すること。
- ⑲ 事故により、停電、断水等が発生することを考慮し、施設休業日に作業するなど、作業日を施設管理者と協議すること。
- ⑳ 給水管近傍の作業で給水管を破損する恐れがある場合は、給水バルブの止水状況を確認するとともに、事故による漏水に備えて直下階や近傍の重要備品について養生や移設について協議すること。

11. 撤去時の資機材残置の防止
足場撤去の際は、工事箇所周辺に資機材が残っていないか点検したうえで、撤去を行うこと。

12. 交通安全管理

- ① 輸送災害の防止
受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。

- ②

過積載による違法運行の防止
受注者は、過積載による違法運行の防止に関し、特に次の事項について留意し、下請負業者を指導すること。
 - 積載重量制限を超えた土砂等の積込みは行わないこと
 - さし枠装備車、不表示車は使用しないこと
 - 過積載車両、さし枠装備車、不表示車から土砂等の引き渡しを受けないこと
 - 建設発生土の処理及び骨材の購入に当たっては、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害さないこと
 - 過積載による違法通行により、逮捕または起訴された建設業者は、指名停止措置を講ずる場合がある
13.

発生材の処理等

①

発生材の処理等は、次により適正に行う。
 - 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。
 - 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他の関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員に報告し指示を仰ぐこと。
 - 産業廃棄物の種類ごとの処分場については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「産業廃棄物の処理」又は「発生材の処理等」による。
 - 建設発生土の処理については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「建設発生土の処理」による。
 - 解体前に、照明器具、変圧器及び進相コンデンサのPCBの有無を調査し、有れば、監督員の指示に従うこと。
 - 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。
 - 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調査（様式3）、産業廃棄物は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調査を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。

②

アスベスト

1)

解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、あれば監督員の指示に従うこと。既存の分析調査結果がある場合は、受注者がその結果を書類等により確認すること。なお、工事内容に変更がある場合においても同様とする。

既存の分析調査結果の旨与

（あり・なし）

2)

事前調査を公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）1.5.1及び関係法令により行うこと。
 - 事前調査は、建築物石綿含有建材調査者（特定、一般）、又はこれと同等の能力を有する者が行うこと。
※同等の能力を有する者とは、（一社）日本アスベスト調査診断協会に令和5年9月30日までに登録されたものをいう。
 - 発注者の指示により、分析によるアスベスト調査を行う場合の費用については、監督員との協議による。
その場合の分析方法は、JIS A 1481-1によること。
 - 結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置くこと。
 - 調査結果は3年間保存すること。
 - 調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。

3)

表示、掲示は次のとおり行うこと。
 - 事前調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示する。
 - 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」を労働者及び周辺住民の見やすい場所に掲示する。
 - 作業に従事する労働者への注意事項を見やすい場所に掲示する。
 - 喫煙及び飲食の禁止並びに関係者以外の立入禁止について、作業場の見やすい箇所に掲示する。

③

建設リサイクル法通知済証の揭示

受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければならない。また、「建設リサイクル法通知済証」揭示後の全景写真は電子納品の対象書類とし、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出すること。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。

④

資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に基づく対応は、以下のとおり行うこと。
 - 1) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第19号）第8条で規定される工事又は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事（以下「一定規模以上の工事」という。）において、コンクリート（二次製品を含む。）、土砂、碎石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、（一財）日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）により再生資源利用計画書を作成し、監督員に提出すること。
 - 2) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係るの促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第20号）第7条で規定される工事又は一定規模以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、COBRISにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出すること。
 - 3) 受注者は、上記計画書を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）すること。
 - 4) 受注者は、上記計画書に変更が生じた場合は、速やかに計画を変更し、その変更の内容を監督員に報告すること。
 - 5) 受注者は、工事完了後速やかにCOBRISにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出すること。
 - 6) 受注者は、上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること。
 - 7) 受注者は、COBRISの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力すること。ただし、パージン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。

⑤

受領書の交付

受注者は、土砂を再生資源利用計画書に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

⑥

再生資源利用促進計画書を作成する上での確認事項等

受注者は、再生資源利用促進計画書の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。また、確認結果は再生資源利用促進計画書に添付し監督員に提出するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。

⑦

建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするとき、特記に土工事の記載がある場合は「建設発生土の処理」に定められた事項等（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と、前項で行った確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

⑧

建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画書に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画書に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督員に写しを提出しなければならない。

また、その受領書の写しを工事完成後5年間保存しなければならない。

⑨

建設発生土の最終搬出先の記録・保存

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画書に記載した搬出先から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに搬出先の名称や所在地、搬出量等を記録した書面を作成し、保存すること。さらに、他の搬出先へ搬出されたときも同様である。

ただし、以下の(1)～(3)に搬出された場合は、最終搬出先の確認は不要である。
 - (1) 国又は地方公共団体が管理する場所（当該管理者が受領書を交付するもの）
 - (2) 他の建設現場で利用する場合
 - (3) ストックヤード運営事業者登録規程により国に登録されたストックヤード

14.

材料・製品等

①

本工事に使用する建築材料、設備機材等（以下「建材等」という）は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。

②

受注者は、建材等の発注の際には、発注前に、品質及び性能に関して記載された工程別施工計画書及びその証明となる資料を監督員へ提出しなければならない。ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。なお、各専門特記仕様書中、「評価名簿による」と記載されているものは、一般社団法人公共建築協会発行の「建築材料等評価名簿（最新版）」及び「設備機材等評価名簿（最新版）」記載品を指すものとする。

③

県産木材の原則使用

1)

受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。

2)

「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。
 - (a) 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材
 - (b) (a)以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材

3)

受注者は、請負代金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。

4)

受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証証 明書」の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。

5)

県内の森林から直接調達するなど、前項により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。

④

製材等（製材、集成材、合板、単板積層材）、フローリング、再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板）については、合法性に係る確認（「産地認証」及び「品質認証」を含む。）が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。

⑤

標仕等に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。

⑥

県内産資材の原則使用

1)

受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。

2)

市内企業調達建材等の優先使用

受注者は、鳴門市内に主たる営業所を有する者から調達した建材等（以下、「市内企業調達建材等」という。）を優先して使用しよう努めなければならない。また、市内企業調達建材等の別を工程別施工計画書に記載するものとする。

なお、県内企業調達建材等以外を使用する場合は、県内企業調達建材等を使用しない理由を工程別施工計画書に記載し、監督員の承諾を得なければならない。

⑧

県内産再生碎石の原則使用

受注者は、再生碎石を使用する場合、県内の再資源化施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条第1項に基づく許可を有する施設（同法第15条の2の6第1項に基づく変更の許可において同じ。））で製造された再生碎石を原則として使用しなければならない。

⑨

アスファルト舗装の材料

受注者は、加熱アスファルト混合物を使用するときは、原則として、「徳島県土木工事用生アスファルト合材の品質審査要綱」に基づき工場認定を受けた県内の工場から出荷された合材を原則として使用しなければならない。

15.

化学物質を発散する建築材料等

本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の①から⑤を満たすものとする。
 - ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
 - ② 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
 - ③ 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
 - ④ 塗料（塗り床を含む）は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
 - ⑤ ①、③及び④の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

16.

施工

①

設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、標仕記載の「疑義に対する協議等」による。

②

工事現場に監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向した時、又は當番課へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。

③

品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき、確認、試験又は検査を行うこと。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施すこと。また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとること。

④

施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。

⑤

本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。

⑥

設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。

⑦

試験等によらなければ確認できない工事（製品）については、試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。

17.

建設機械等

①

排出ガス対策型建設機械

本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8 建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。

②

低騒音・低振動型建設機械

本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（国土交通省告示 平成13年4月9日改正）」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。

③

特定自主検査

本工事で使用する建設機械（労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械）は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書（検査記録表）の写しを使用工程の施工計画書に添付し提出すること。

④

不正軽油の使用禁止

受注者は、ディーゼルエンジン仕様の車両及び建設機械等を使用する場合は、地方税法（昭和 25年法律第226号）に違反する軽油等を燃料として使用してはならない。また、受注者は、県の徴税吏員が行う使用燃料の採取調査に協力しなければならない。

18.

工事看板等

①

工事現場には、工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。

	設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事	
			一級建築士 第289714号 長谷川祥久	特記仕様書2	scale: A2 NON A3: 71% 縮小
			date: 2025. 07		

E-03

19. 設計変更箇所確認
設計事務所による工事監理がある場合、受注者は、工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について、監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。また、工事しゅん工前には全ての設計変更箇所及び内容を監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること。

20. 完成図等
- ① 電子納品： 対象
 - ② 受注者は、原則として「鳴門市電子納品要領」に基づいて設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品（以下「電子納品」とすること。
 - ③ 提出書類
 - ・ 竣工図（製本2部、電子データ1部）（サイズ：監督員の指示による）
 - ・ 工事写真（電子データ2部）
 - ・ 使用材料一覧表（竣工図表紙裏面に貼付、電子データ1部）
 - ・ 保全に関する資料
 - ・ その他監督員が指示する図書（必要部数）
 - ④ しゅん工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。しゅん工図データは、関係図面（データ貸与）を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びジナル形式をCD-R等に保存する。
 - ⑤ 工事写真の電子データは完成写真、着手前、資機材、施工状況の順に整理する。完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部出来形が写真で的確に確認できること。
 - ⑥ 工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。
 - ⑦ 工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家によらないものとする。
 - ⑧ 既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は竣工図に反映させること。

21. デジタル工事写真の小黒板情報電子化
- ① 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以下「対象工事」という。）とすることができる。
22. 火災保険
- 本工事の着手に際し、火災保険等（火災保険、建設工事保険その他の保険（これに準ずるものを含む。））を請負額に応じて付保する。
- ① 対象物
工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）について付保する。
 - ② 付保険外工事
次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。
・杭及び基礎工事 ・コンクリート躯体工事 ・屋外付帯工事 ・その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等）
 - ③ 付保する時期及び金額
鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。
 - ④ 保険終期
工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には保険の期間も延長する。
 - ⑤ その他
 - ・ 付保する時期以降に出来高払を行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。
 - ・ 建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。

Ⅲ. 電気設備工事特記仕様書

1章 一般共通事項

- 1. 官公署その他への届出手続等
 - ① 本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公署への諸手続などの費用は本工事に含む。
官公署その他への届出手続等は（標仕<1> 1.1.3.）により行う。なお、監理指針<1>1.1.3を参考とする。
 - ・ 自家用電気工作物の保安規程（ 本工事に關し定める ・ 既存施設の保安規程を適用（改修・増築等））
 - ・ 既存施設の保安規程を適用する場合の工事、維持、運用に関する保安業務は電気主任技術者との協議による。
 - ・ 本受電後引渡しまでの基本料金（ 本工事 別途 ）
 - ② 官公署その他への届出手続等を行うにあたり、届出内容について、あらかじめ監督員に報告する。
 - ③ 官公署その他関係機関の検査に必要な資機材及び労務等は本工事で提供する。

- 2. 技能士
技能士の適用については、次の技能検定作業（以下「作業」という。）のうち、各工事毎に適用する作業を指定するものとする。
技能士は、職業能力開発促進法による一級又は二級技能士の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督員に提出すること。技能士は適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。

技能士は、氏名、検定職種、技能士番号等、県が指定した内容を記載した名札等により、資格を明示するものとする。なお、指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。

工事種目	技能検定職種	技 能 検 定 作 業
仮設	とび	・ とび作業
鉄筋	鉄筋施工	・ 鉄筋組立て作業
コンクリート	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
型枠	型枠施工	・ 型枠工事作業
鉄骨	鉄工	・ 構造物鉄工作業
防水	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業・ ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートチ工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
タイル	タイル張り	・ タイル張り作業
木	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい	建築板金	・ 内外装板金作業
	かわらぶき	・ かわらぶき作業
金属	建築板金	・ 内外装板金作業
左官	左官	・ 左官作業
建具	建具製作	・ 木製建具手加工作業 ・ 木製建具機械加工作業
	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
塗装	塗装	・ 建築塗装作業
内装	内装仕上げ施工	・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 鋼製下地工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業 ・ カーテン工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業
	表装	・ 表具作業 ・ 壁装作業
配管	配管	○ 建築配管作業
植栽	造園	・ 造園工事作業
機械設備	冷凍空調和機器施工	・ 冷凍空調和機器施工作業

（注）表中○印の入った作業に係る技能士を本工事で活用する。

- 3. 他工事との工事区分
図面に記載されていない他工事との工事区分は別表「工事区分表（参考）」による。

- 4. 施工条件
施工条件は次による。
 - ① 関連工事に関すること
 - ・「鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事」・「鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事」
 - ・「鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち管工事」・「鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち空調工事」
 - ② 工程については、施設管理者、指定管理候補者等と協議の上決定すること。
 - ③ 施工順序は施設管理者、指定管理候補者等と協議の上決定すること。
 - ④ 本工事期間中も施設を使用するため、施設管理者、指定管理候補者等との連絡を綿密にし、施設利用者の通行等に支障を及ぼさないよう十分注意すること。
 - ⑤ 施設管理者、指定管理候補者等より作業中止の要望がある場合は、作業の中止を行う場合がある。
 - ⑥ 施設管理者、指定管理候補者等より工事内容変更の要望があった場合は、協議の上決定する。
 - ⑦ 発注者や指定管理候補者等が別途発注する工事等との調整及び協力を行うこと。
 - ⑧ その他の詳細な施工条件については、実施工程表及び施工計画書の作成時に施設管理者、指定管理候補者等と協議の上決定し、適宜相互に日程の調整及び確認を行うこと。

5. 養生等
- ① 本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。
- ② 工事により影響の及ぼす範囲内にある重要物品等は次のとおりである。受注者は、注意事項に従い適切な措置を施すこと。

備品等名称	
注意事項	

6. 機材の品質等
- ① 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものを使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
- ② 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑤の事項を満たすものとし、証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたものを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
- 1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
- 2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- 3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- 4) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- 5) 販売、保守等の営業体制を整えていること。

品名	機材名・注記
LED照明器具	一般屋内用に限る
盤類	分電盤(OA盤・実験盤を含む)、制御盤、キュービクル式配電盤高圧スイッチギヤ(CW形、PW形)
高圧機器	高圧交流遮断器、高圧進相コンデンサ、高圧限流ヒューズ、高圧負荷開閉器高圧変圧器(特定機器)、高圧避雷器
蓄電池	ベント形据置鉛蓄電池、制御弁式据置鉛蓄電池、据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池シール形ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池
交流無停電電源装置	常時インバータ給電方式(定格出力300kVA以下のもの)、ラインインタラクティブ方式常時商用給電方式、常時インバータ給電方式(簡易型)常時商用給電方式、常時インバータ給電方式(簡易型)
太陽光発電装置	パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 ※系統連系保護機能を有するパワーコンディショナを含み、太陽電池アレイ及び接続箱を除く。
監視カメラ装置	
中央監視制御装置	簡易形監視制御装置、監視制御装置

- ③ 機器類は、図示する形状又は配管などの取出し位置等により、特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。
- ④ 機材の検査に伴う試験については、標仕<1>1.4.5により行う。また、製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提出する。

7. 施工調査
- ① 工事の着手に先立ち、実施工程表及び施工計画書等作成のための必要な調査・打合せを行うこと。
- ② 工事の施工に先立ち、工事関連部分の事前調査(支障物件の調査・確認を含む)及び工事関係者(施設管理者・電気主任技術者・関係官公庁等)との事前打合せを実施し、その結果を監督員に報告する。

2章 共通工事

1. 耐震施工 (参考図書:建築設備耐震設計・施工指針(2014年版))
- ① 設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種類、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。なお、施工に先立ち、耐震計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
- ・設計用水平地震力
機器の重量(kN)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、設計用標準水平震度は、特記なき場合は下表による。
- ・設計用鉛直地震力
設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
- ・施設の分類、地域係数
施設の分類(特定の施設 ・ 一般の施設) 地域係数(1.0 ・ 0.9)
- ・重要機器
(配電盤 ・ 防災用発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機
火災報知受信機 ・ 中央監視制御装置 ・ 構内情報通信網装置)
- ・設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

- (注) ・上層階の定義は次のとおりとする。
2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階
- ・水槽類にはオイルタンク等を含む。
- ② 質量100kg以下の軽量な機器(標仕の適用を受けるものは除く)の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。
- ③ 横引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。

2. あと施工アンカー
- あと施工アンカーボルトの選定については、次による。
- ① 機器類の固定には、金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し、重要機器及び次の機器については、施工後確認試験を行う。
- (・試験方法 引張試験機による引張試験とし、確認強度まであと施工アンカーを引張るものとする。
・試験箇所数 対象機器、径毎に対し1本とし、無作為に抜き取る。)
- ② 配管の吊り及び支持材の固定には、その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお、耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。

- ③ 屋外に使用するものはステンレス製又はJIS H 8641「熔融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の熔融亜鉛めつきを施したものとする。
(ただし、コンクリート内に施工するあと施工アンカーは除く)

3. 非破壊検査
- ① はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工に当たり、埋設物の事前調査を行い、監督員に報告すること。
- ② 施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。なお、探査の結果、放射線透過検査を必要とする場合については、監督員と協議の上、適切に対応するものとする。

4. 風圧力及び積雪荷重の適用区分
- 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には、次の条件を用いる。
- ・風圧力 風速Vo=(36 ・ 38)m/s ・積雪荷重 平成12年建設省告示1455号における区域 別表(三十五)

5. 各種荷重計算
- ・避雷針支持管 ・テレビアンテナマスト ・風力発電装置 ・太陽電池アレイ

6. 強度計算
- ・ブロックマンホール及びハンドホール ・自家発電装置配管類支持材 ・ケーブルラック支持材
- ・垂直ケーブルの最終端支持材 ・照明用ポール ・

7. 試験
- ① 試験項目は、標仕<2> 2.18.2により行う。なお、監理指針<2> 2.18.2を参考とする。
- ② 照度測定の測定方法は、JIS C 7612を参考とする。
- ③ 次の項目は、施工前と施工後に行うものとする。
- ・照度測定 ・絶縁抵抗測定

8. 接地工事

接地極の材料は下表による。ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議すること。

接地極の種類	記号	接地抵抗値	接地極の材料(寸法mm)
・共同接地(A・C・D種)	EA・C・D	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連—2組
・共同接地(A・B・C・D種)	EA・B・C・D	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連—2組
・A種	EA	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連—2組
・B種	EB	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×2連—2組
・C種	EC	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連—2組
・D種	ED	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
・ELCB用	EELCB	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
・雷保護用	ELA	Ω以下	・EP=0.6×2 ・EB(D=14又はW=40)×連—組
・高圧避雷器用	ELH	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連—2組
・交換機陽極用	Et	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連—1組
・本配線盤保安装置用	EAt	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連—2組
・拡声増幅器用	Edt	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
・各種通信機器用	EDa	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
・保安器用	ELt	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
・測定用補助	EO	—	EB(D=14又はW=30)×1

(備考) EBの長さは、D=14の場合は1,500、W=30の場合は900、W=40の場合は1,200とする。

接地極の埋設位置には、屋外灯のポール等で埋設位置が明確な場合を除いて接地極埋設標を設ける。

9. その他共通事項
- ① 配管工事
- ・最上階の天井配管は、原則二重天井内の隠べい施工とし、屋上スラブへの埋め込みは行わない。(最上階が二重天井の場合に限る。)
- ・長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。(標仕<2>2.2.9、<2>2.12.4)
- ・屋外の防水形プルボックスは、(ステンレス製 ・ 鋼板製 ・ 樹脂製)とし、(メラミン焼付塗装 ・ 熔融亜鉛めっき ・ 無塗装)とする。
- ・屋外敷設の厚鋼電線管は、めっき付着量が300g/m2のものを使用し、原則塗装不要とする。
- ② 配線工事
- ・高圧ケーブルの種類(EM=高圧架橋ポリエチレンケーブル)は、JCS 4395「6,600V架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」によるものとする。
- ③ 塗装工事
- ・機械室、隠べい部を除く露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。
- ・屋内、屋外及びピット内の支持金物等のうち、ステンレス製、熔融亜鉛めっき製及び熔融亜鉛めっき(HDZT49)と同等の耐食性能を有する製品は、原則塗装不要とする。
- ④ 配線器具
- ・図面に記載なきフラッシュプレート材質は、新金属製とする。
- ⑤ 支持金物等
- ・屋外及びピット内の支持金物等は、ステンレス製、熔融亜鉛めっき製(HDZT49以上)及び熔融亜鉛めっき(HDZT49)と同等の耐食性能を有する製品の何れかを使用する。

- ⑥ 用途別表示
- ・ 盤内、幹線プルボックス内、ケーブルラック上の要所、マンホール・ハンドホール内、その他の要所には合成樹脂製、ファイバ製等の表示札等を取付け、回路の種別、行先等を表示する。
(標仕 <2>2.2.10、<2>2.12.5)
 - ・ なお、屋外において直接外気に触れる場所(盤内、プルボックス内を除く。)及びマンホール・ハンドホール内の表示札等はエッチングプレート等の耐候性を有するものとする。
 - ・ カバープレート及びプルボックス蓋にはシール等で用途別表示を行う。なお、屋外部分の表示はエッチングプレート等の耐候性を有するものとする。
- ⑦ その他
- ・ 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線で、配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督員との協議により図面表示と多少相違させてよい。
 - ・ 分電盤からの予備配管として、分電盤の予備回路数(スペースを含む)に応じた配管を天井裏まで立上げる。
 - ・ 改修又は増設工事等において既設配線との接続が本工事に含まれる場合は、工事着手前及び工事完了後に既設配線の絶縁抵抗を測定する。

3章 関連工事

1. 仮設工事
- ① 工事用電力、用水については、原則として次による。ただし、施設管理者と協議すること。
- ・ 既存電力利用(出来る ・ 出来ない)、電力料金(有償 ・ 無償)
 - ・ 既存用水利用(出来る ・ 出来ない)、用水料金(有償 ・ 無償)
- ② 工事車両用の駐車場、資材置場及び現場事務所用地については、次による。ただし、施設管理者と協議すること。
- ・ 同用地は、(図示の場所に ・ 用意していないので業者にて) 設けること。
 - ・ 同用地に対する借地借家料を 円見込んでいる。
- ③ 交通誘導員の配置
- 交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に配置すること。
- 1) 本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が (義務付けられている ・ 義務付けられていない)
- 2) 警備員は、延 人 (昼 人、夜 人:うち検定合格警備員 人)を見込んでいる。
- 3) 警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。
- 4) 配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。
- 5) 受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。
- ④ 足場その他
2. 土工事
- ① 根切り
- 1) 周辺の状況、土質、地下水の状況等に適した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止上必要な処置をすること。
- 2) 敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し、支障がないようにすること。
- 3) 根切り底は、地盤をかく乱しないよう、手作業(深さ30cm程度)とするか、バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械掘りとする。
なお、かく乱した場合は、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な 処置を定め、監督職員の承諾を受ける。
- ③ 埋め戻し及び盛土
- 1) 使用土はB種とし、機器により締め固める。
ただし、良質の発生土が埋め戻し等に必要な量として不足する場合は、「公共工事の再生資源活用の当面の運用について」(H24.6.14建管第99号)に基づき、C種及びD種の利用を検討する。
- ④ 地均し
- 1) 建物の周囲、幅2m程度を、水はけよく地均しを行う。
- 2) 地均しは、均しを行う地表面の不陸を修正し、草木の除去及び清掃をして、一様にかき均した後、仕上げ面を一様になじみ起こしをして、良質土をまきかけ、歩行に耐えうる程度に締め固める。
3. 地業工事
- ① 砂利・砂・割り石及び捨コンクリート地業等
- 1) 材料は、市場品とする。
- 2) 砂利及び砂地業
- ・ 砂利は、再生クラッシュランとし、使用箇所は図示による。
- | 種別 | 厚さ | 粒度範囲 |
|-----------|----|------|
| 再生クラッシュラン | | |
- 3) 締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承諾を得ること。
- 4) 捨コンクリートは、無筋コンクリート(スランプ15cm、設計基準強度18N/mm2)とし、厚さは図示による。
4. 鉄筋工事
- ① 材料
- ・ 鉄筋は、鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112)のSD295とし、径は図示による。
 - ・ 溶接金網は、溶接金網及び鉄筋格子(JIS G 3551)とし、形状、寸法及び径は図示による。
- ② 材料試験
- 材料試験は行わない。ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。
- ③ 鉄筋の継手及び定着
- 1) 鉄筋の継手は重ね継手とする。
- 2) 鉄筋の継手の位置は図示による。
- 3) 結束線の端部は内側に折り曲げる。
- 4) 鉄筋の定着方法及び長さは図示による。
- ④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
- 各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、建標仕参考図[1節－基礎及び基礎梁の配筋]～[7節－梁貫通孔その他配筋]による。
- ⑤ 配筋検査
- 主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。

5. コンクリート工事
- ① 一般事項
- 1) コンクリートの種別
- ・ I 類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
- 2) 設計基準強度

コンクリートの種類	設計基準強度 F _c (N/mm2)	調合管理強度 F _n (N/mm2)	スランプ (cm)	強度試験の有無	適用箇所
普通	18	18+S	15	有	

- 3) 構造体コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度(F_c)に構造体強度補正值(S)を加えた値とする。
なお、構造体強度補正值(S)は建標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢 28日までの予想平均気温に応じて定める。
- 4) コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。
- ・ 第4週強度確認
- 原則、第3者機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。ただし、JIS工場で行う場合は、立ち会い者を定め、監督員の承認を受け、行うこととする。
なお、試験機関を選定した際には、すみやかに監督員に報告すること。

4章 電灯設備

1. 照明器具
- LEDモジュールの光源色は、監督員との協議により、標準図に規定する光源色を変更できる。ただし、非常照明用及び誘導灯用を除く。
2. 非常用照明器具の照度測定
- 設置した各室の2箇所以上で行うものとし、詳細は監督員との協議による。
3. 照明制御の照度測定
- 明るさセンサにより照明制御を行う室は、照度を測定し、測定表を監督員に提出する。なお、明るさセンサの設定は、監督員の指示による。
照度測定時期 100%点灯時(夜間 ・ 昼間) 調光制御点灯時(夜間 ・ 昼間)
4. 照明制御設定器
- 附属数(個)
5. 事前確認・施工後確認
- ・ 改修前の(照明回路 ・)について、使用電力量の測定を行う。
 - ・ 改修後の(照明回路 ・)について、使用電力量の測定を行う。

5章 受変電設備

1. 変圧器
- ① 規格
- ・ JEM 1500「特定エネルギー消費機器対応の油入変圧器における基準エネルギー消費効率」
 - ・ JEM 1501「特定エネルギー消費機器対応のモールド変圧器における基準エネルギー消費効率」
- ② ダイヤル温度計は、最高温度指針付とする。
2. その他
- ① 表示灯及び盤内照明器具はLEDとする。

6章 発電設備(内燃力)

1. 電気方式
- ・ 高圧(三相3線式 6,600V) ・ 低圧(三相3線式 200V)
2. 発電機容量
- ・ 発電機出力()kVA ・ 原動機出力()kW以上
3. 使用燃料種別
- ・ 軽油(備蓄量: L) ・ 灯油(備蓄量: L) ・ A重油(備蓄量: L)

7章 構内交換設備

1. 保安器用接地

- ・ 本工事 ・ 別途工事

2. 電話機への配線

卓上電話機1台につき、下記のものを見込む。

- | | | | | | |
|---------------|--------------------|-----|---|---|---|
| ・ ボタン電話機 | EM-BTIEE 0.4mm-2P(| 15m | ・ | m |) |
| ・ 内線電話機 | EM-TIEF 0.65mm-2C(| 15m | ・ | m |) |
| ・ 多機能電話機 | EM-BTIEE 0.4mm-2P(| 15m | ・ | m |) |
| ・ 2号ワイヤプロテクタ(| m) | | | | |

8章 構内配電(通信)線路

1. 施工方法

- ③ 配管引込部の地盤変位対応種別(標準図 電力31、32) 沈下量(0.2m以下 ・ 0.6m以下 ・ 1.0m以下)

2. マンホール・ハンドホール

- ① 蓋の記号表示は鋳型流込みによるものとし、(電力 ・ 電気 ・ 通信 ・)を表示する。

3. 高圧負荷開閉器

- ・閉鎖形(耐重塩じん用) ・地絡継電器付(方向性 ・ 無方向性)

※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。

4. 高圧ケーブルの屋外端末処理

- 一般形
- 耐塩形

5. 埋設標識シート

高圧及び特別高圧の地中線路の他、以下の地中線路に設ける。

- ・ 低圧幹線(外部からの引込み経路を含む。)
- ・ 外灯配線
- ・ 外部からの通信引込み経路
- ・ 建物間の通信配線
- ・ 外部通信機器の通信配線

9章 その他

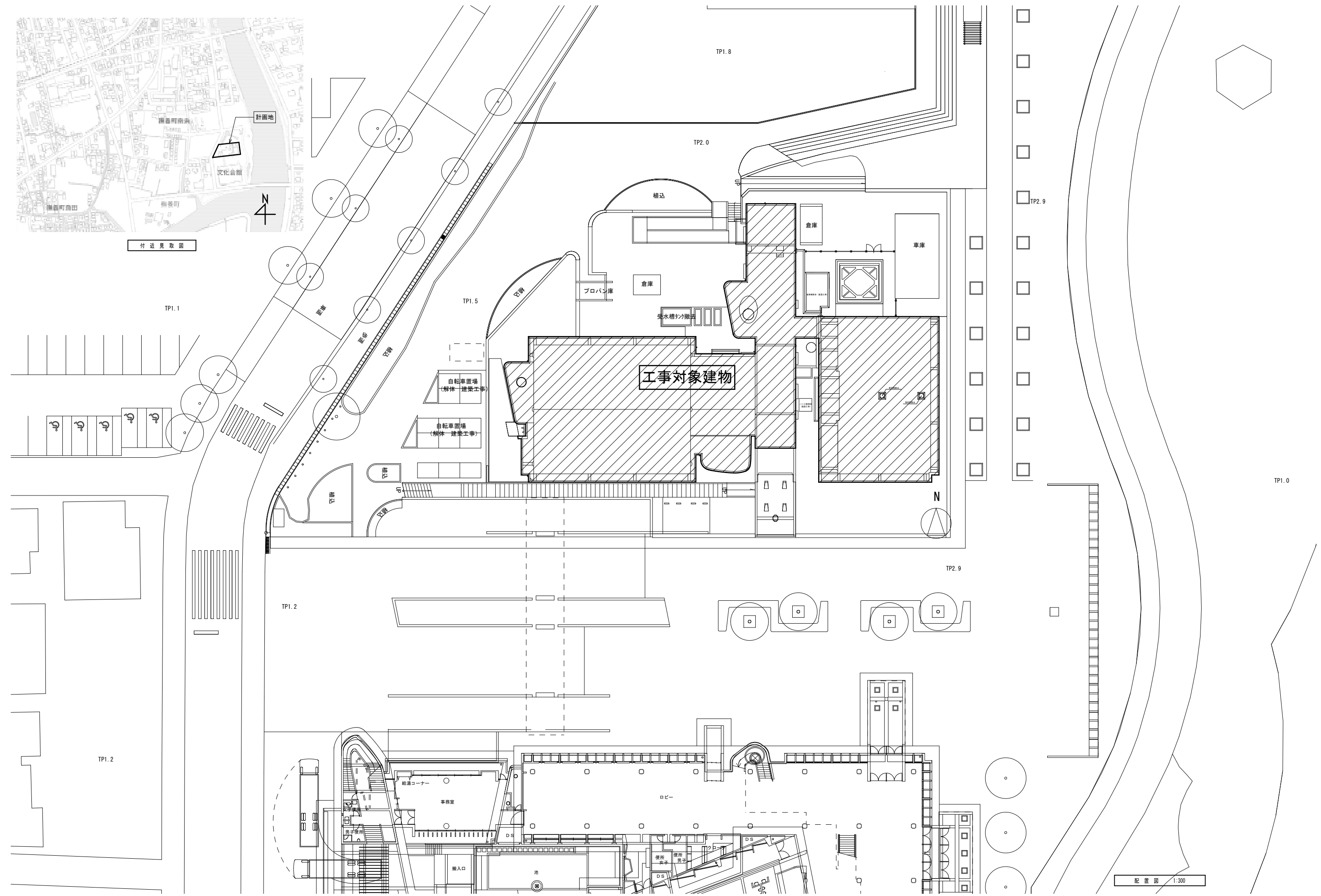
1. 機器取付高さ

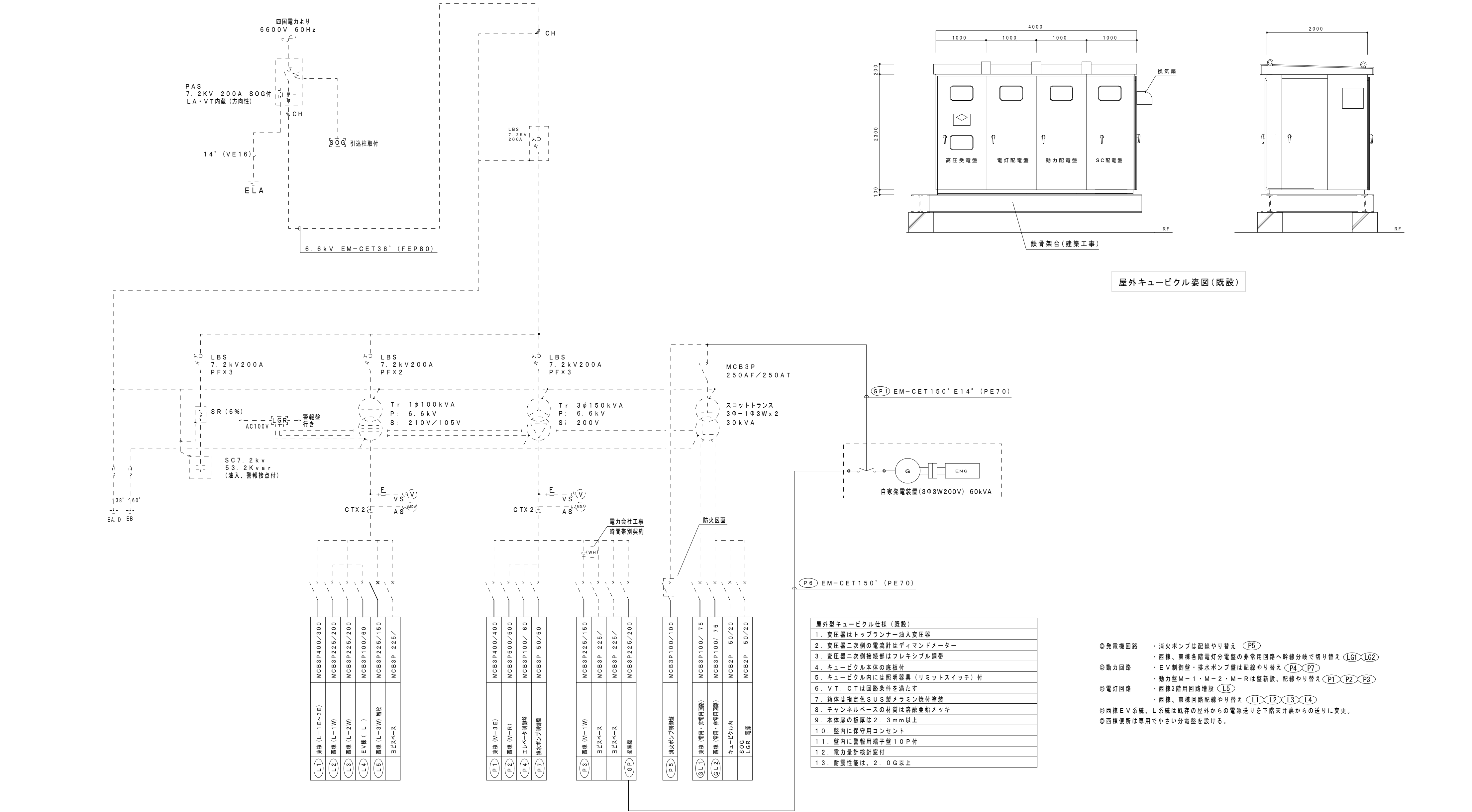
次表を標準とする。ただし、天井高がFL+3,000以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は、監督員と協議する。

名 称	測 点	取付高 (mm)	備考
【電力共通】			
積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000	
引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	
【電灯】			
分電盤	床上～中心	1,500	
スイッチ	床上～中心	1,300	
熱線センサ用スイッチ	床上～中心	1,800	
コンセント（一般）	床上～中心	300	
〃（和室）	床上～中心	150	
〃（台上）	台上～中心	150	
〃（土間）	床上～中心	800～1,300	
〃（車椅子用）	床上～中心	900	
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300	
〃（踊場）	床上～中心	2,000～2,600	
〃（鏡上）	鏡上端～中心	150	
多機能便所スイッチ	床上～中心	1,100	
【動力】			
壁掛形制御盤	床上～中心	1,500	
手元開閉器	床上～中心	1,500	
制御用スイッチ	床上～中心	1,300	
【構内交換・構内情報通信網】			
端子盤	床上～下端	300	
保安器箱	天井下～上端	200	
壁付アウトレット（一般）	床上～中心	300	
〃（和室）	床上～中心	150	
【電気時計】			
壁掛形親時計	床上～中心	1,500	
子時計	床上～中心	天井高×0.9	
【拡声】			
壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9	
壁付アッテネータ	床上～中心	1,300	
【情報表示】			
情報表示盤	床上～中心	天井高×0.9	
壁付発信器	床上～中心	1,300	
ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2,300	
受付押しボタン（一般）	床上～中心	1,300	
電源箱	床上～下端	300	
【誘導支援・呼出】			
壁付インターホン（一般）	床上～中心	1,300	
〃（外部受付）	床上～中心	標準図による	
〃（モニタ付）	床上～中心	1,400	
〃（カメラ付）	床上～中心	1,100～1,400	
壁付位置ボックス（一般）	床上～中心	300	
〃（和室）	床上～中心	150	
呼出ボタン（多機能便所）		900(400)	
【テレビ共同受信】			
機器収容箱	天井下～上端	200	
直列ユニット（一般）	床上～中心	300	
〃（和室）	床上～中心	150	
【火災報知】			
受信機・副受信機	床上～中心	1500	
機器収容箱	床上～中心	800～1,500	
発信器	床上～中心	800～1,500	
警報ベル	天井下～上端	200	
表示灯	天井下～上端	200	
【ガス漏れ検知】			
ガス漏れ中継器	天井下～中心	300	
検知器（都市ガス）	天井下～下端	300	
〃（LPガス）	床上～下端	300	

2. 配線記号等

- ① EM-EEFケーブルにて、4以上の配線を布設する場合、全部又は一部に4芯のものを使用しても差し支えない。
- ② 図面に明記なき配管は次のとおりとする。
- (G16) (G22) … 厚鋼電線管 (JIS C 8305「鋼製電線管」によるもの)を示す。
- (16) (22) … PF管(単層管) (JIS C 8411「合成樹脂製可とう電線管」によるもの)を示す。
- (19) (25) … ねじなし電線管 (JIS C 8305「鋼製電線管」によるもの)を示す。
- ③ EM電線及びEMケーブルの表記において、「EM」が省略されている場合は、「EM」付の表記のものに読み替える。





屋外キュービクル姿図 (既設)

分電盤		西棟 L-1W		銅板製壁掛形、上下配線ダクト付 (CH=2.55)									
主幹遮断器		回路番号	分岐遮断器					負荷容量 (V A)	負荷名称	備考			
			種別		容量								
			MCCB	ELCB	P	AF	AT						
			<input type="radio"/>		3	50	40	3,500	便所分電盤 L-1WW				
		1	<input type="radio"/>		2	50	20	360	空調室内機				
		2	<input type="radio"/>		2	50	20	360	空調室内機				
		3	<input type="radio"/>		2	50	20	374	空調室内機				
		4	<input type="radio"/>		2	50	20	2,058	空調換気扇				
		1	<input type="radio"/>		2	50	20	1,293	照明 リモコンリレー×2				
		2	<input type="radio"/>		2	50	20	905	照明 リモコンリレー×2				
		3	<input type="radio"/>		2	50	20	1,207	照明 リモコンリレー×2				
		4	<input type="radio"/>		2	50	20	2,548	照明 リモコンリレー×1				
		5	<input type="radio"/>		2	50	20		非常照明				
		6	<input type="radio"/>		2	50	20		外部照明				
		7	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		8	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		9	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		10	<input type="radio"/>		2	50	20		リモコンランス				
		11	<input type="radio"/>		2	50	20	500	通信				
		12	<input type="radio"/>		2	50	20	500	通信				
		13	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		14	<input type="radio"/>		2	50	20	600	コンセント				
		15	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		16	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		17	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		18	<input type="radio"/>		2	50	20	300	コンセント				
		19	<input type="radio"/>		2	50	20	300	コンセント				
		20	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		21	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		22	<input type="radio"/>		2	50	20	200	コンセント				
		23	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		24	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		25	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		26	<input type="radio"/>		2	50	20	500	コンセント				
		27	<input type="radio"/>		2	50	20	600	自動ドア				
		28	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		29	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		30	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		31	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		32	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		33	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		34	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
		35	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
36	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備						
37	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備						
38	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備						
39	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備						
40	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備						
			<input type="radio"/>		3	50	50		屋外コンセント盤				
		1	<input type="radio"/>		2	50	20		照明				
		2	<input type="radio"/>		2	50	20	100	コンセント				
		3	<input type="radio"/>		2	50	20	100	コンセント				
		4	<input type="radio"/>		2	50	20	100	コンセント				
		5	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備				
6	<input type="radio"/>		2	50	20		- 予備						

分電盤 東棟L－1 E 鋼板製壁掛形、上下配線ダクト付（CH＝2. 2 5）

主幹遮断器	回路 番号	分岐遮断器				負荷 容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別		容量				
		M C B	E L C B	P	A F A T			
<div>×</div> <div>ELCB3P 225AF 125AT</div> <div>▲▲▲</div>	①	○		2	50 20	1,085	空調室内機	
	②	○		2	50 30	1,500	空調換気扇	
	①	○		2	50 20	2,285	照明 リモコンリレー×3	
	②	○		2	50 20	183	照明	
	③	○		2	50 20			
	④	○		2	50 20			
	⑤	○		2	50 20			
	⑥	○		2	50 20			
	⑦	○		2	50 20	500	通信	
	⑧	○		2	50 20	500	通信	
	⑨	○		2	50 20	500	コンセント	
	⑩	○		2	50 20	200	コンセント	
	⑪	○		2	50 20	500	コンセント	
	⑫	○		2	50 20	200	コンセント	
	⑬	○		2	50 20	1,250	コンセント	
	⑭	○		2	50 20	200	コンセント	
	⑮	○		2	50 20	200	コンセント	
	⑯	○		2	50 20	－	予備	
	⑰	○		2	50 20	－	予備	
	⑱	○		2	50 20	－	予備	
	⑲	○		2	50 20	－	予備	
	⑳	○		2	50 20	－	予備	
㉑	○		2	50 20	－	予備		
㉒	○		2	50 20	－	予備		
<div>×</div> <div>ELCB3P 50AF 30AT</div>	①	○		2	50 20	1,170	照明	
	②	○		2	50 20	100	コンセント	
	③	○		2	50 20	100	コンセント	
	④	○		2	50 20	100	コンセント	
	⑤	○		2	50 20	－	予備	
	⑥	○		2	50 20	－	予備	

分電盤 西棟L－1 WW 鋼板製壁掛形

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器					負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別		容量					
		M C B	E L C B	P	A F	A T			
<div>× ELCB3P 50AF 40AT</div>	①	○		2	50	20	200	コンセント	
	②	○		2	50	30	100	コンセント	
	③	○		2	50	20	600	コンセント	
	④	○		2	50	20	600	コンセント	
	⑤	○		2	50	20	600	コンセント	
	⑥	○		2	50	30	200	コンセント	
	⑦	○		2	50	20	600	コンセント	
	⑧	○		2	50	20	600	コンセント	

分電盤 東棟L－2 E 鋼板製壁掛形、上下配線ダクト付（CH＝2. 4 0）

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考	
		種別		容量					
		M C C B	E L C B	P	A F A T				
<div>×</div> <div>ELCB3P 225AF 125AT</div> <div>▲▲▲</div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	①	○		2	50	20	1,085	空調室内機	
	②	○		2	50	30	1,500	空調換気扇	
	①	○		2	50	20	2,155	照明 リモコンリレー×3	
	②	○		2	50	20	1,974	照明	
	③	○		2	50	20			
	④	○		2	50	20			
	⑤	○		2	50	20	500	通信	
	⑥	○		2	50	20	500	通信	
	⑦	○		2	50	20	400	コンセント	
	⑧	○		2	50	20	500	コンセント	
	⑨	○		2	50	20	200	コンセント	
	⑩	○		2	50	20	200	コンセント	
	⑪	○		2	50	20	200	コンセント	
	⑫	○		2	50	20	50	コンセント	
	⑬	○		2	50	20	600	コンセント	
	⑭	○		2	50	20	600	コンセント	
	⑮	○		2	50	20	－	予備	
	⑯	○		2	50	20	－	予備	
	⑰	○		2	50	20	－	予備	
	⑱	○		2	50	20	－	予備	
	⑲	○		2	50	20	－	予備	
	⑳	○		2	50	20	－	予備	
㉑	○		2	50	20	－	予備		
㉒	○		2	50	20	－	予備		
<div>×</div> <div>ELCB3P 50AF 30AT</div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	①	○		2	50	20	1,170	照明	
	②	○		2	50	20	100	コンセント	
	③	○		2	50	20	100	コンセント	
	④	○		2	50	20	100	コンセント	
	⑤	○		2	50	20	－	予備	
	⑥	○		2	50	20	－	予備	

分電盤 西棟L－2 WW 鋼板製壁掛形

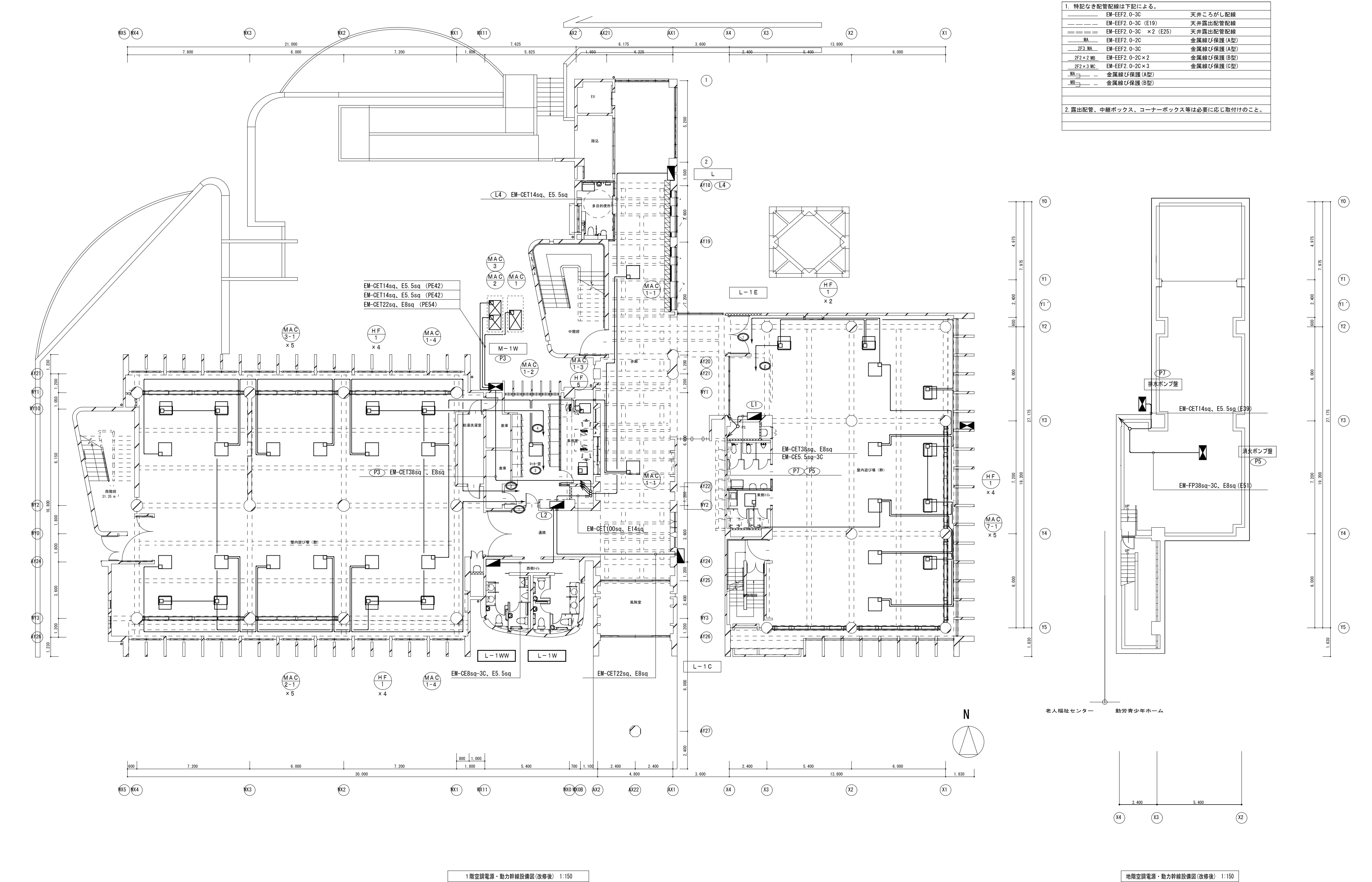
主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考	
		種別		容量					
		M C B	E L C B	P	A F A T				
<div>×</div> <div>ELCB3P 50AF 40AT</div>	①	○		2	50	20	200	コンセント	
	②	○		2	50	30	100	コンセント	
	③	○		2	50	20	600	コンセント	
	④	○		2	50	20	600	コンセント	
	⑤	○		2	50	20	600	コンセント	
	⑥	○		2	50	30	200	コンセント	
	⑦	○		2	50	20	600	コンセント	
	⑧	○		2	50	20	600	コンセント	

分電盤 東棟L－3 E 鋼板製壁掛形、上下配線ダクト付（CH＝2. 4 0）

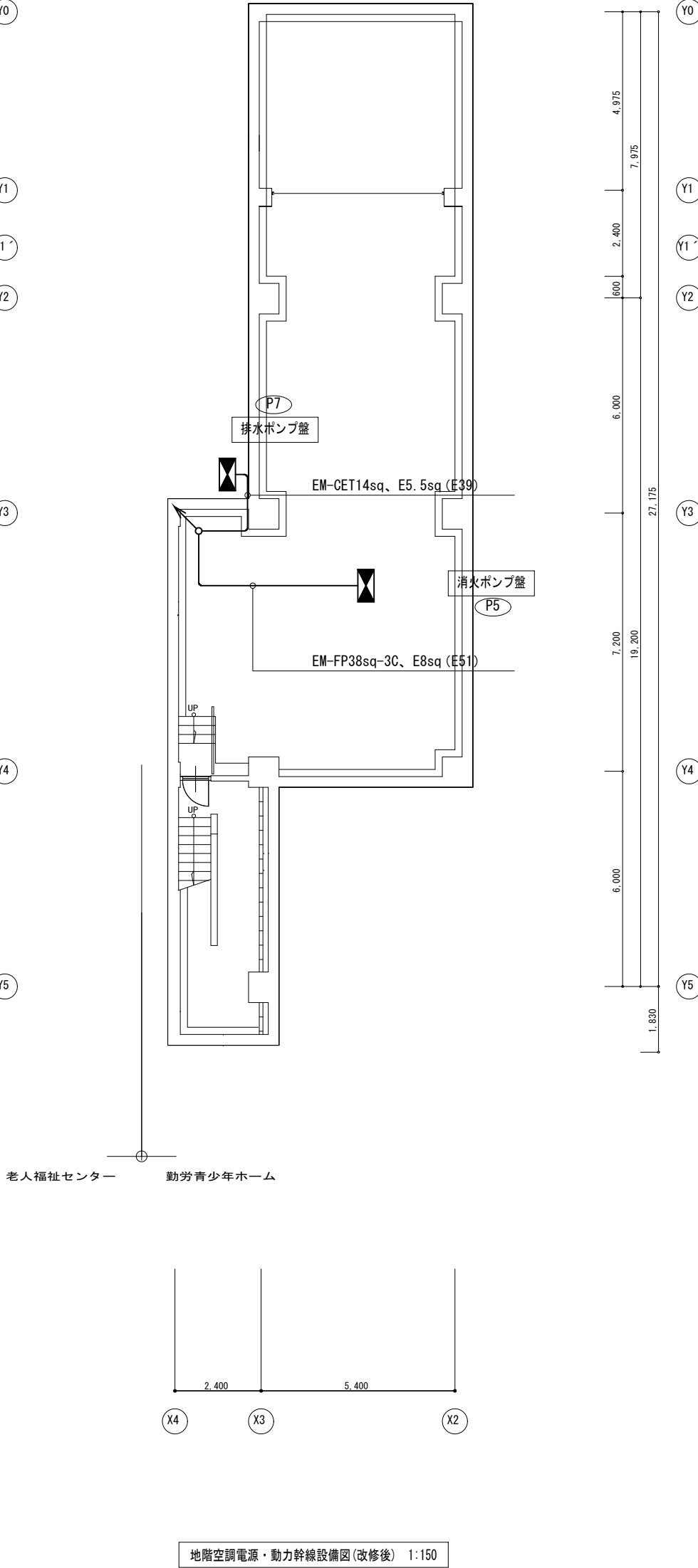
主幹遮断器	回路 番号	分岐遮断器				負荷 容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別		容量				
		M C B	E L C B	P	A F A T			
<div>×</div> <div>ELCB3P 225AF 150AT</div>	①	○		2	50 20	748	空調室内機	
	②	○		2	50 30	750	空調換気扇	
	①	○		2	50 20	431	照明	
	②	○		2	50 20	647	照明	
	③	○		2	50 20	409	照明	
	④	○		2	50 20	338	照明	
	⑤	○		2	50 20	500	通信	
	⑥	○		2	50 20	500	通信	
	⑦	○		2	50 20	400	コンセント	
	⑧	○		2	50 20	500	コンセント	
	⑨	○		2	50 20	500	コンセント	
	⑩	○		2	50 20	500	コンセント	
	⑪	○		2	50 20	400	コンセント	
	⑫	○		2	50 20	300	コンセント	
	⑬	○		2	50 20	500	洗濯機	
	⑭	○		2	50 20	200	コンセント	
	⑮	○		2	50 20	500	冷蔵庫	
	⑯	○		2	50 20	400	コンセント	
	⑰	○		2	50 20	1,000	プリンター	
	⑱	○		2	50 20	1,000	複合機	
	⑲	○		2	50 20	200	コンセント	
	⑳	○		2	50 20	50	コンセント	
	㉑	○		2	50 20	600	コンセント	
	㉒	○		2	50 20	600	コンセント	
	㉓	○		2	50 20	—	予備	
	㉔	○		2	50 20	—	予備	
	㉕	○		2	50 20	—	予備	
	㉖	○		2	50 20	—	予備	
㉗	○		2	50 20	—	予備		
㉘	○		2	50 20	—	予備		
<div>×</div> <div>ELCB3P 50AF 30AT</div>	①	○		2	50 20	1,170	照明	
	②	○		2	50 20	100	コンセント	
	③	○		2	50 20	100	コンセント	
	④	○		2	50 20	100	コンセント	
	⑤	○		2	50 20	—	予備	
	⑥	○		2	50 20	—	予備	

分電盤 西棟L－3 WW 鋼板製壁掛形

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別		容量				
		M C B	E L C B	P	A F A T			
<div>× ELCB3P 50AF 40AT</div>	①	○		2	50 20	200	コンセント	
	②	○		2	50 30	100	コンセント	
	③	○		2	50 20	600	コンセント	
	④	○		2	50 20	600	コンセント	
	⑤	○		2	50 20	600	コンセント	
	⑥	○		2	50 30	200	コンセント	
	⑦	○		2	50 20	600	コンセント	
	⑧	○		2	50 20	600	コンセント	

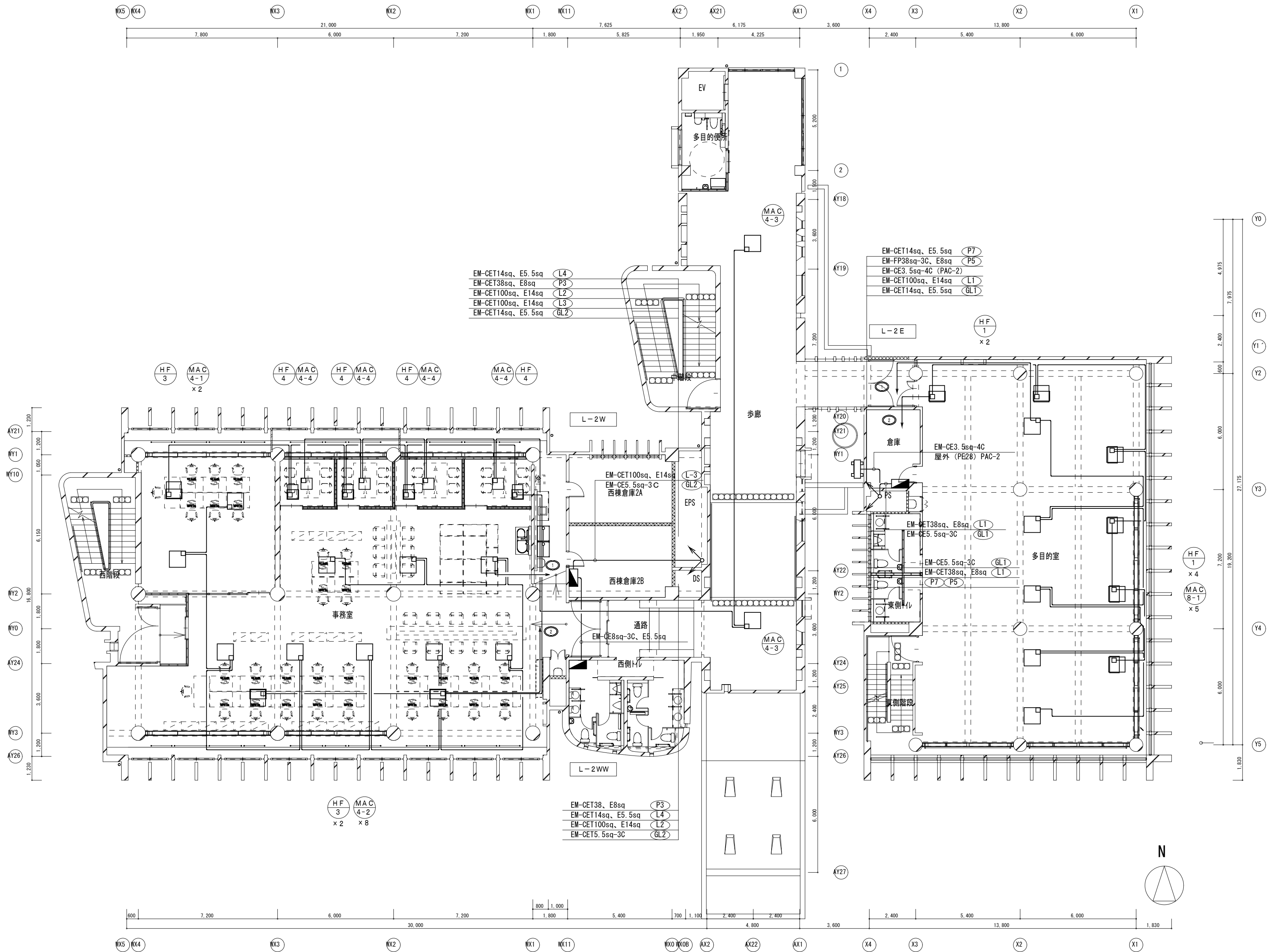


1. 特記なき配管配線は下記による。		
——	EM-EEF2. 0-3C	天井ころがし配線
—— —	EM-EEF2. 0-3C (E19)	天井露出配管配線
== —	EM-EEF2. 0-3C × 2 (E25)	天井露出配管配線
MA	EM-EEF2. 0-2C	金属線び保護 (A型)
2F3 MA	EM-EEF2. 0-3C	金属線び保護 (A型)
2F2×2 MB	EM-EEF2. 0-2C×2	金属線び保護 (B型)
2F2×3 MC	EM-EEF2. 0-2C×3	金属線び保護 (C型)
MA	金属線び保護 (A型)	
MB	金属線び保護 (B型)	
2. 露出配管、中継ボックス、コーナーボックス等は必要に応じ取付けのこと。		

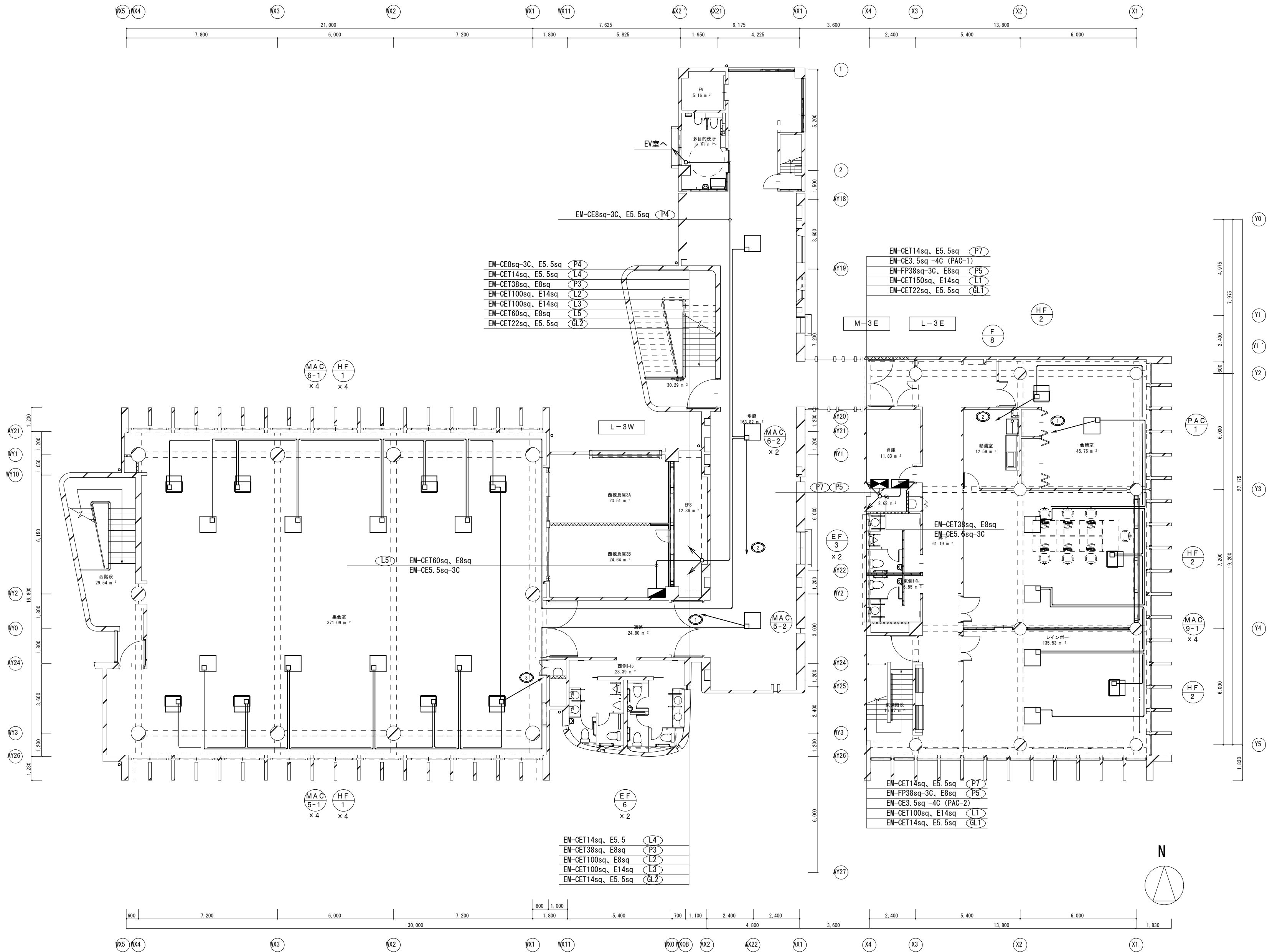


1階空調電源・動力幹線設備図(改修後) 1:150

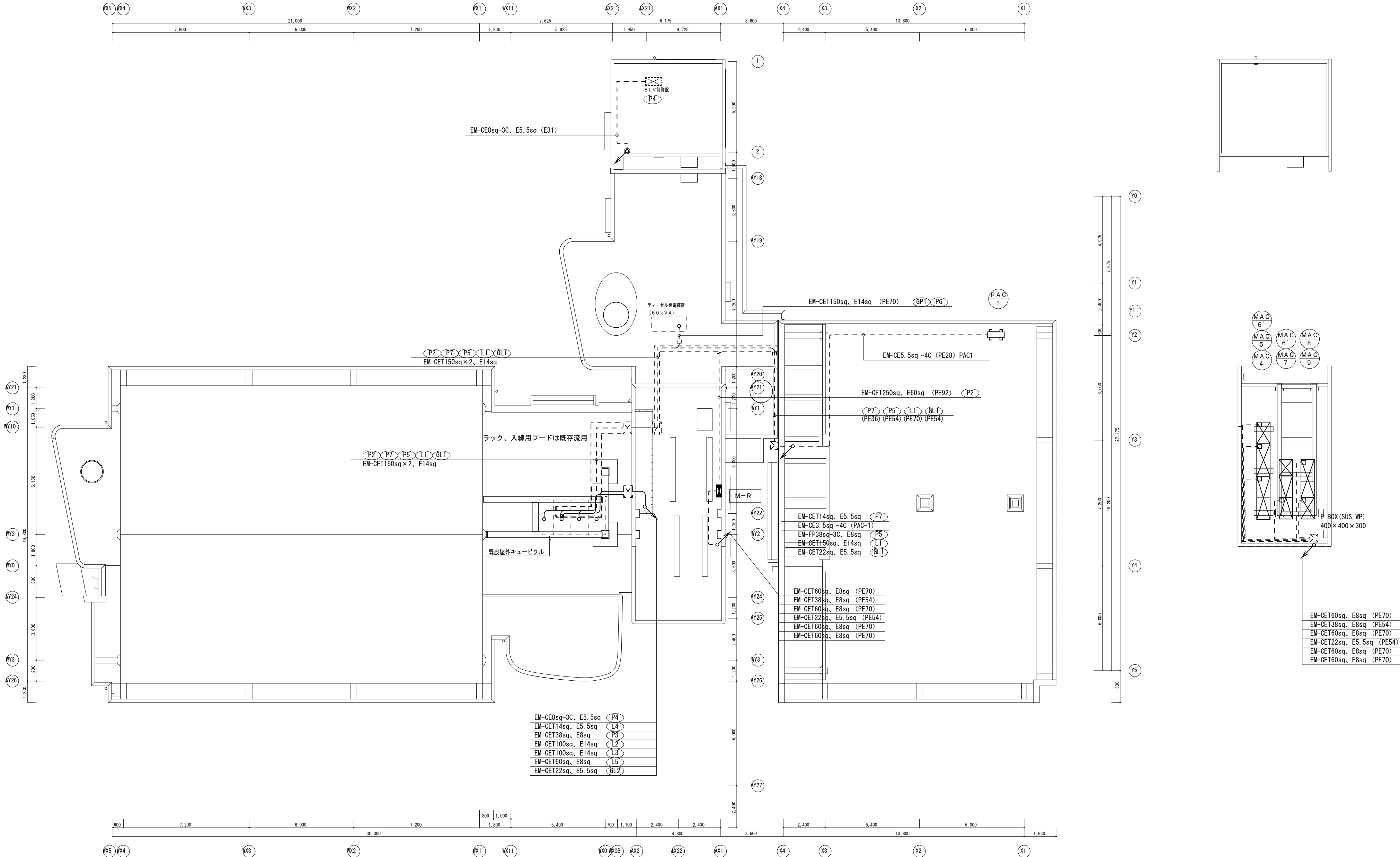
地階空調電源・動力幹線設備図(改修後) 1:150



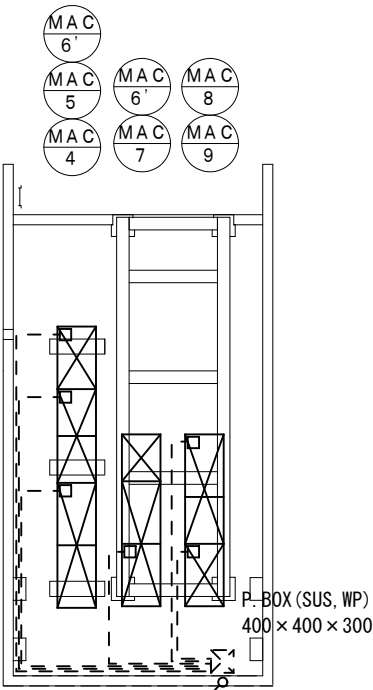
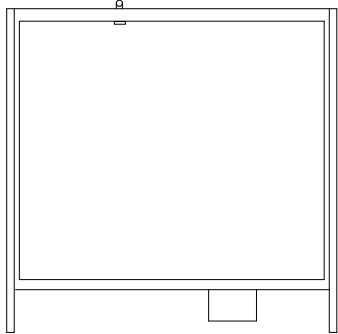
2階空調電源・動力幹線設備図(改修後) 1:150



3階空調電源・動力幹線設備図(改修後) 1:150

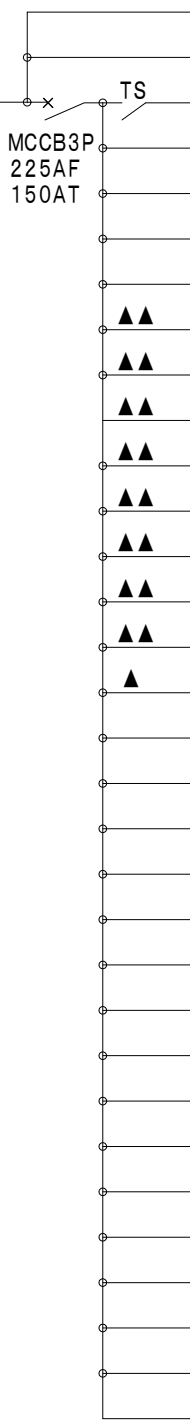


R階空調電源・動力幹線設備図 (改修後) 1:150



EM-CET60sq、E8sq (PE70)
EM-CET38sq、E8sq (PE54)
EM-CET60sq、E8sq (PE70)
EM-CET22sq、E5.5sq (PE54)
EM-CET60sq、E8sq (PE70)
EM-CET60sq、E8sq (PE70)

分電盤 西棟 L－1 撤去

主幹遮断器	回路 番号	分岐遮断器				負荷 容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別 M C C B	容量					
			P	A	F A T			
 MCCB3P 225AF 150AT	(火報)		2	50	20	1,170	自火報受信機	
	(A)		2	50	30	990		
	(1)	○	1	50	20	1,170		
	(2)	○	1	50	20	1,170		
	(3)	○	1	50	20	1,170		
	(4)	○	1	50	20	990		
	イロ	○	1	50	20	1,260	リモコンリレー×2	
	ハニ	○	1	50	20	1,260	リモコンリレー×2	
	ホヘ	○	1	50	20	1,220	リモコンリレー×2	
	トチ	○	1	50	20		リモコンリレー×2	
	リヌ	○	1	50	20	1,260	リモコンリレー×2	
	ルオ	○	1	50	20	650	リモコンリレー×2	
	カヨ	○	1	50	20	1,170	リモコンリレー×2	
	タレ	○	1	50	20	990	リモコンリレー×2	
	ソ	○	1	50	20	1,260	リモコンリレー×1	
	(5)	○	1	50	20	1,260		
	(6)	○	1	50	20	1,260		
	(7)	○	1	50	20	1,260		
	(8)	○	1	50	20	1,220		
	(9)	○	1	50	20	-		
	(10)	○	1	50	20	1,260		
	(11)	○	1	50	20	650		
	(12)	○	1	50	20	1,170		
	(13)	○	1	50	20	990		
	(14)	○	1	50	20	1,260		
	(15)	○	1	50	20	1,260		
	(16)	○	1	50	20	1,260		
	(TR)	○	1	50	20	1,260	リモコントランス	
	(F1)	○	1	50	20	1,220	既設 F C U	
	(F2)	○	1	50	20	-	既設 F C U	
	(17)	○	1	50	20	1,260		
	(非)	○	2	50	20	650	非常灯	

分電盤 西棟 L 撤去

主幹遮断器	回路番号	種別 M C C B	容量 S B	分岐遮断器			負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
				P	A	F A T			
	(a)	○	2	30	20	360	誘導灯		
	(b)	○	2	30	20	1,500	非常照明		
	(1)	○	2	30	20	360	電灯		
	(2)	○	2	30	20	1,500	電灯		
	(3)	○	2	30	20	1,500	電灯		
	(4)	○	2	30	20	1,500	コンセント		
	(5)	○	2	30	20	1,500	コンセント		
	(6)	○	2	30	20	170	コンセント		
	○	○	2	30	20	1,500	予備		
	○	○	2	30	20	170	予備		

分電盤 西棟 L－1－1 撤去

主幹遮断器	回路番号	種別 M C C B	容量 E L C B	分岐遮断器			負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
				P	A	F A T			
	(1)		2	50	20	1,170	電気温水器		
	(2)		2	50	30	990	既設		
	▲▲▲▲	(1)	○	2	50	20	1,170	リモコンリレー×4	
	▲▲▲▲	(2)	○	2	50	20	1,170	リモコンリレー×5	
	(3)	○	2	50	20	1,170			
	(4)	○	2	50	20	1,260			
	(5)	○	2	50	20	1,260			
	(6)	○	2	50	20	1,220			
	(7)	○	2	50	20				
	(8)	○	2	50	20	1,260			
	(9)	○	2	50	20	650			
	(10)	○	2	50	20	1,170			
	(11)	○	2	50	20	990			
	(12)	○	2	50	20	1,170			
	(13)	○	2	50	20	1,170			
	(14)	○	2	50	20	1,170			
	(15)	○	2	50	20	990			
	(16)	○	2	50	20	1,260			
	(17)	○	2	50	20	1,260			
	(18)	○	2	50	20	1,260			
	(19)	○	2	50	20	1,220			
	(20)	○	2	50	20	-			
	(21)	○	2	50	20	1,260			
	(22)	○	2	50	20	650			
	(23)	○	2	50	20	1,170			
	(24)	○	2	50	20	990			
	(25)	○	2	50	20	1,260			
	(26)	○	2	50	20	1,260			
	(27)	○	2	50	20	1,260			
	(28)	○	2	50	20	1,260			
	(29)	○	2	50	20	1,260			
	(30)	○	2	50	20	1,220			
	(31)	○	2	50	20				
	(32)	○	2	50	20	1,260			
	(33)	○	2	50	20	650			
	(34)	○	2	50	20	1,170			
	(35)	○	2	50	20	990			
	(36)	○	2	50	20	1,260			
	(37)	○	2	50	20	1,220			
	(38)	○	2	50	20	-			
	(39)	○	2	50	20	1,260			
	(40)	○	2	50	20	1,260			
	(41)	○	2	50	20	1,260			
	(42)	○	2	50	20	650			

分電盤 東棟 L－1 撤去

主幹遮断器	回路番号	種別 M C C B	容量 E L C B	分岐遮断器			負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
				P	A	F A T			
	(火報)							東棟 L (1階便所)	
	(A)							L－2 t	
	(B)							L－3 t	
	(1)	○	2	50	20	1,170			
	(2)	○	2	50	20	990			
	(3)	○	1	50	20	1,170			
	(4)	○	1	50	20	990			
	(5)	○	1	50	20	1,170			
	(6)	○	1	50	20	990			
	(7)	○	1	50	20	1,260			
	(8)	○	1	50	20	1,260			
	(9)	○	1	50	20	1,260			
	(10)	○	1	50	20	650			
	(11)	○	1	50	20	1,170			
	(12)	○	1	50	20	990			
	(13)	○	1	50	20	1,260			
	(14)	○	1	50	20	1,260			
	MgS	○	2	50	20			既設 F C U	
		○	2	50	20			既設 F C U	
	(13)	○	2	50	20	1,260		L－2 t	
	(14)	○	2	50	20	1,260		L－3 t	
	(a)	○	2	50	20				
		○	2	50	20				

分電盤 東棟 S L－1 撤去

主幹遮断器	回路番号	種別 M C C B	容量 E L C B	分岐遮断器			負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
				P	A	F A T			
	(1)	○	2	50	20	360	照明		
	(2)	○	2	50	20	1,500	予備		
	(3)	○	2	50	20	1,500	予備		
	(4)	○	2	50	20	1,500	予備		
	(5)	○	2	50	20	1,500	予備		
	(6)	○	2	50	20	170	予備		

分電盤 東棟 L (1階便所) 撤去

主幹遮断器	回路番号	種別 M C C B	容量 E L C B	分岐遮断器			負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
				P	A	F A T			
	(1)	○	2	50	20	480	コンセント		
	(2)	○	2	50	20	480	コンセント		
	(3)	○	2	50	20	480	コンセント		

分電盤 西棟L－2 撤去

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別	容量	P	A	FAT		
	火報		2 50 20			1,170	自火報受信機	
	A		2 50 30			990		
							既設外灯	
	①	○	1 50 20			1,170	2階	
	②	○	1 50 20			1,170	2階	
	イロ	○	1 50 20			1,260	2階リモコンリレー×2	
	ハニ	○	1 50 20			1,260	2階リモコンリレー×2	
	ホヘ	○	1 50 20			1,220	2階リモコンリレー×2	
	トチ	○	1 50 20				2階リモコンリレー×2	
	リス	○	1 50 20			1,260	2階リモコンリレー×2	
	ルオ	○	1 50 20			650	2階リモコンリレー×2	
	ワヨ	○	1 50 20			1,170	2階リモコンリレー×2	
	カタ	○	1 50 20			990	2階リモコンリレー×2	
	①	○	1 50 20			1,170	2階	
	②	○	1 50 20			1,170	2階	
	③	○	1 50 20			1,170	2階	
	④	○	1 50 20			990	2階	
	⑤	○	1 50 20			1,260	2階	
	⑥	○	1 50 20			1,260	2階	
	⑦	○	1 50 20			1,260	2階	
	⑧	○	1 50 20			1,220	2階	
	⑨	○	1 50 20			—	2階	
	⑩	○	1 50 20			1,260	2階	
	⑪	○	1 50 20			650	2階	
	⑫	○	1 50 20			1,170	2階	
	⑬	○	1 50 20			990	2階	
	⑭	○	1 50 20			1,260	2階	
	①	○	1 50 20			1,260	3階	
	②	○	1 50 20			1,260	3階	
	イロ	○	1 50 20			1,260	3階リモコンリレー×2	
	ハニ	○	1 50 20			1,260	3階リモコンリレー×2	
	ホヘ	○	1 50 20			1,220	3階リモコンリレー×2	
	トチ	○	1 50 20				3階リモコンリレー×2	
	リス	○	1 50 20			1,260	3階リモコンリレー×2	
	ルオ	○	1 50 20			650	3階リモコンリレー×2	
	ワヨ	○	1 50 20			1,170	3階リモコンリレー×2	
	カタ	○	1 50 20			990	3階リモコンリレー×2	
	③	○	1 50 20			1,260	3階	
	TR	○	1 50 20			1,220	リモコントランス	
	TR	○	1 50 20			—	3階リモコントランス	
	○	○	1 50 20			1,260		
	○	○	1 50 20			1,260		
	非	○	2 50 20			650	2階非常灯	
	非	○	2 50 20			650	3階非常灯	

分電盤 東棟L－2 撤去

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別	容量	P	A	FAT		
							東棟L（2階便所）	
							既設FCU	
							既設FCU	
	①	○	1 50 20			1,170		
	②	○	1 50 20			990		
	③	○	1 50 20			1,260		
	④	○	1 50 20			1,260		
	⑤	○	1 50 20			1,220		
	⑥	○	1 50 20			—		
	⑦	○	1 50 20			1,260		
	⑧	○	1 50 20			650		
	⑨	○	1 50 20			1,170		
	⑩	○	1 50 20			990		
	⑪	○	1 50 20			1,260		
	⑫	○	1 50 20			1,260		
	a	○	2 50 20			1,260	L－2 t	
		○	2 50 20			1,260	L－3 t	

分電盤 西棟R L－2 撤去

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別	容量	P	A	FAT		
	①		2 50 20			570	照明	
	②		2 50 30			1,500	コンセント	
	③	○	2 50 20			1,500	コンセント	
	④	○	2 50 20			1,500	コンセント	

分電盤 東棟S L－2 撤去

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別	容量	P	A	FAT		
	①		2 50 20			260	照明	
	②		2 50 30			1,500	コンセント	
	③	○	2 50 20			1,500	コンセント	
	④	○	2 50 20			1,500	コンセント	
	⑤	○	2 50 20			90	換気扇	

分電盤 東棟L（2階便所） 撤去

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別	容量	P	A	FAT		
	①	○	2 50 20			480	コンセント	
	②	○	2 50 20			480	コンセント	
	③	○	2 50 20			480	コンセント	

分電盤 東棟L－3 撤去

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別	容量	P	A	FAT		
							東棟L（3階便所）	
							既設FCU	
							既設FCU	
	①	○	1 50 20			1,170		
	②	○	1 50 20			990		
	③	○	1 50 20			1,260		
	④	○	1 50 20			1,260		
	⑤	○	1 50 20			1,220		
	⑥	○	1 50 20			—		
	⑦	○	1 50 20			1,260		
	⑧	○	1 50 20			650		
	⑨	○	1 50 20			1,170		
	⑩	○	1 50 20			990		
	⑪	○	1 50 20			1,260		
	⑫	○	1 50 20			1,260		
	⑬	○	1 50 20			990		
	⑭	○	1 50 20			1,260	操作線	
	⑮	○	1 50 20			990		
	⑯	○	1 50 20			1,260		
	a	○	2 50 20			1,260	L－2 t	
		○	2 50 20			1,260	L－3 t	

分電盤 西棟R L T－3 撤去

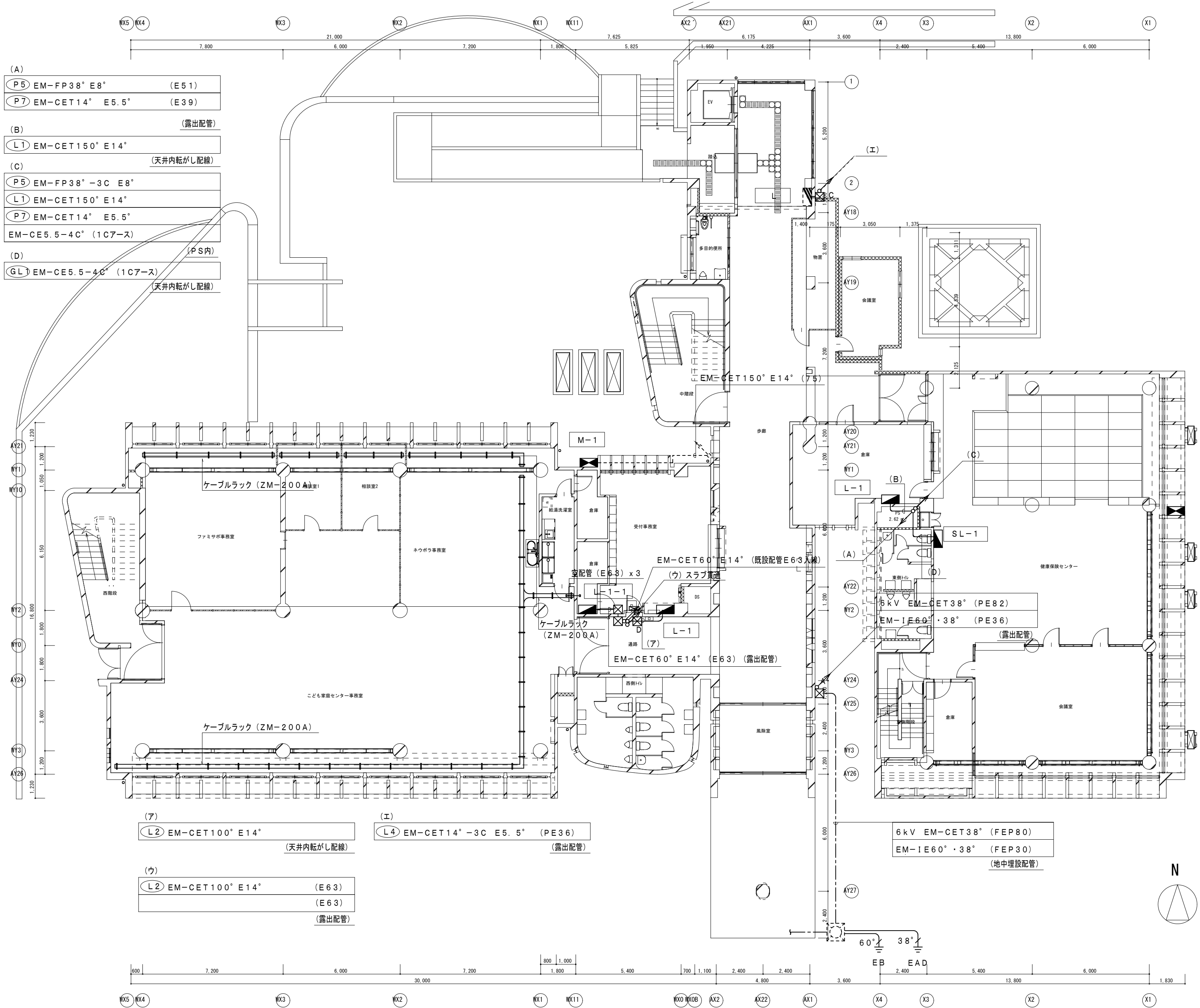
主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別	容量	P	A	FAT		
	①		2 50 20			460	照明	
	②		2 50 30			330	照明	
	③	○	2 50 20			1,500	コンセント	
	④	○	2 50 20			1,500	コンセント	
	⑤	○	2 50 20			170	予備	
	⑥	○	2 50 20			1,000	室内コンセント2PE15A×2	
ベース：VONU×1／ONU×1 スペース：保安器（5P）、増幅器×1、分配器×1 スペース：HUB（5ポート）×1								

分電盤 東棟S L－3 撤去

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別	容量	P	A	FAT		
	①		2 50 20			290	照明	
	②		2 50 30			1,500	コンセント	
	③	○	2 50 20			1,500	コンセント	
	④	○	2 50 20			1,500	予備	
	⑤	○	2 50 20			50	換気扇	

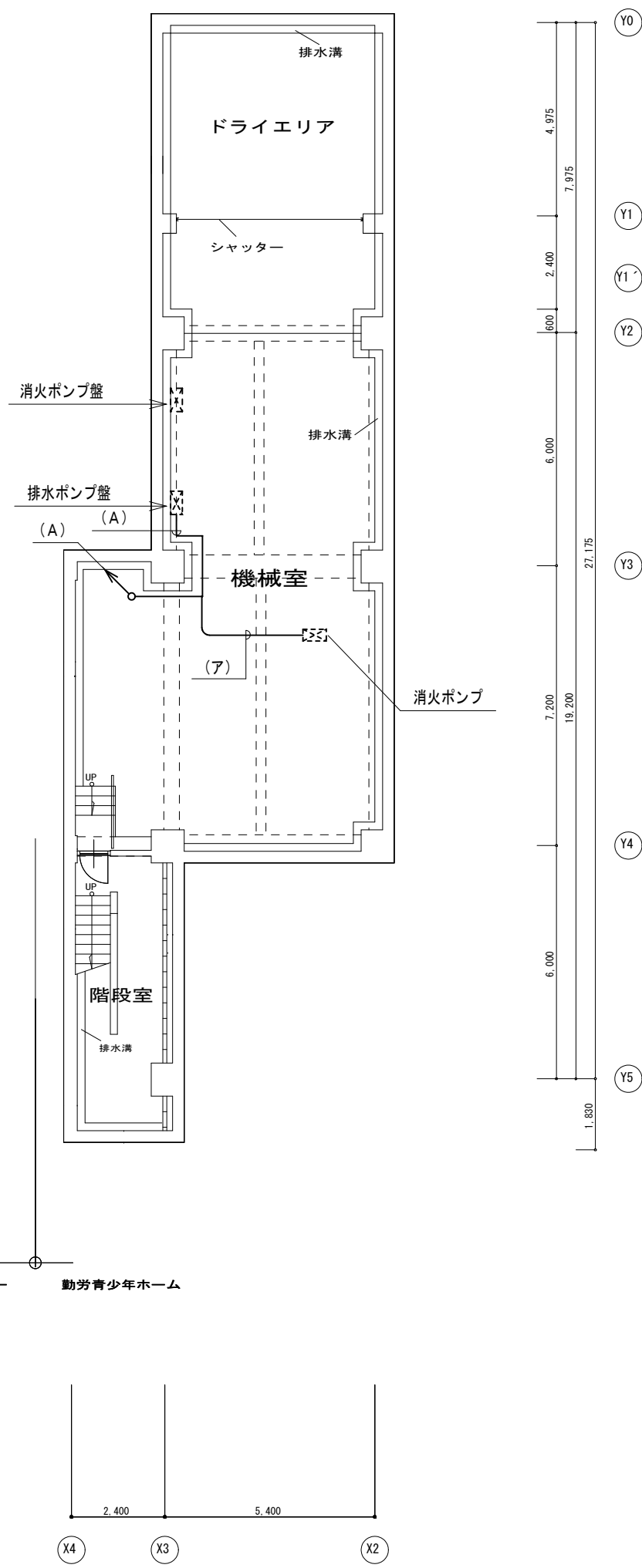
分電盤 東棟L（3階便所） 撤去

主幹遮断器	回路番号	分岐遮断器				負荷容量 (V A)	負荷名称	備考
		種別	容量	P	A	FAT		
	①	○	2 50 20			480	コンセント	
	②	○	2 50 20			480	コンセント	
	③	○	2 50 20			480	コンセント	



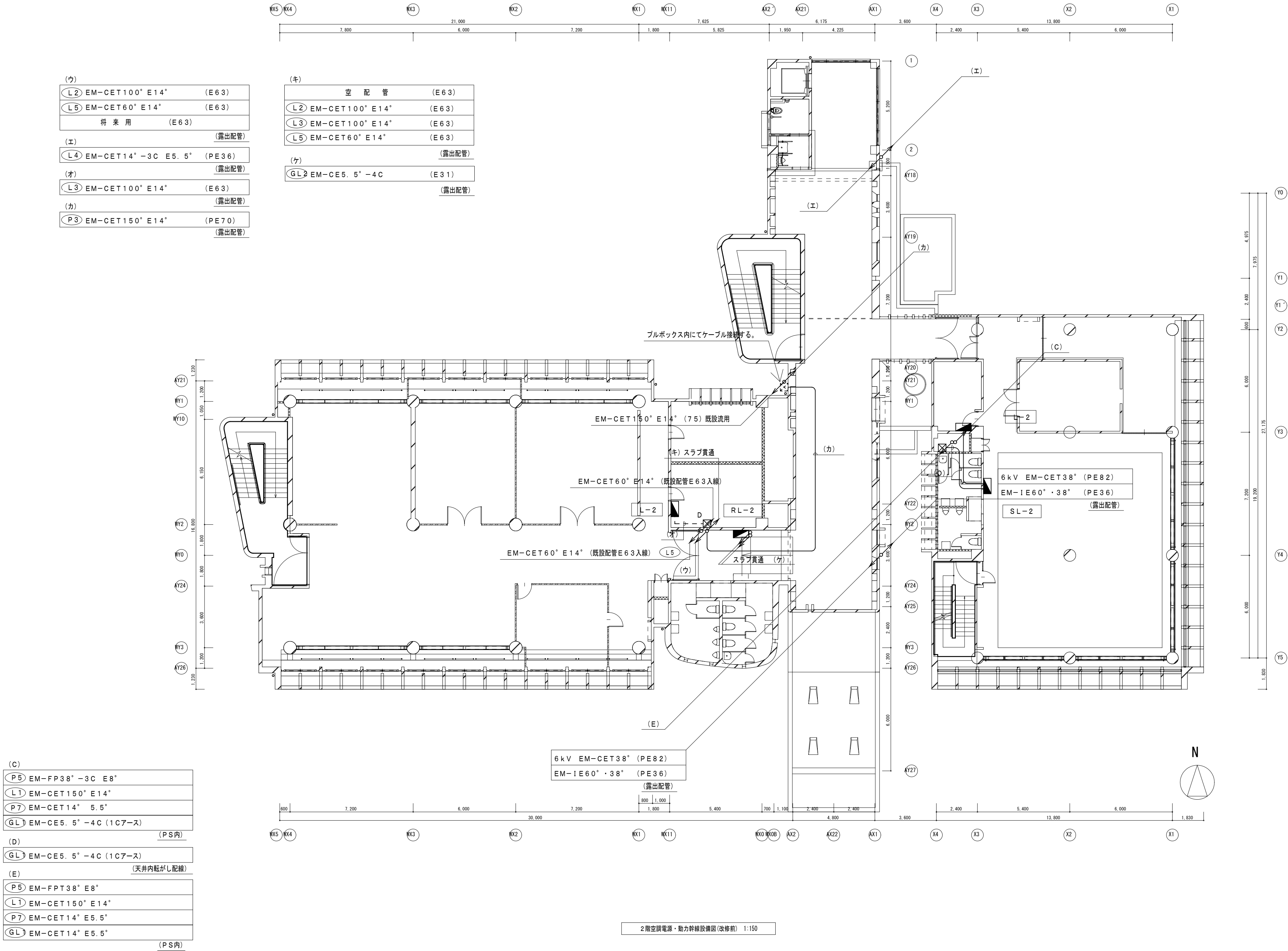
- (A)
- | | | |
|----|-----------------|-------|
| P5 | EM-FP38° E8° | (E51) |
| P7 | EM-CET14° E5.5° | (E39) |

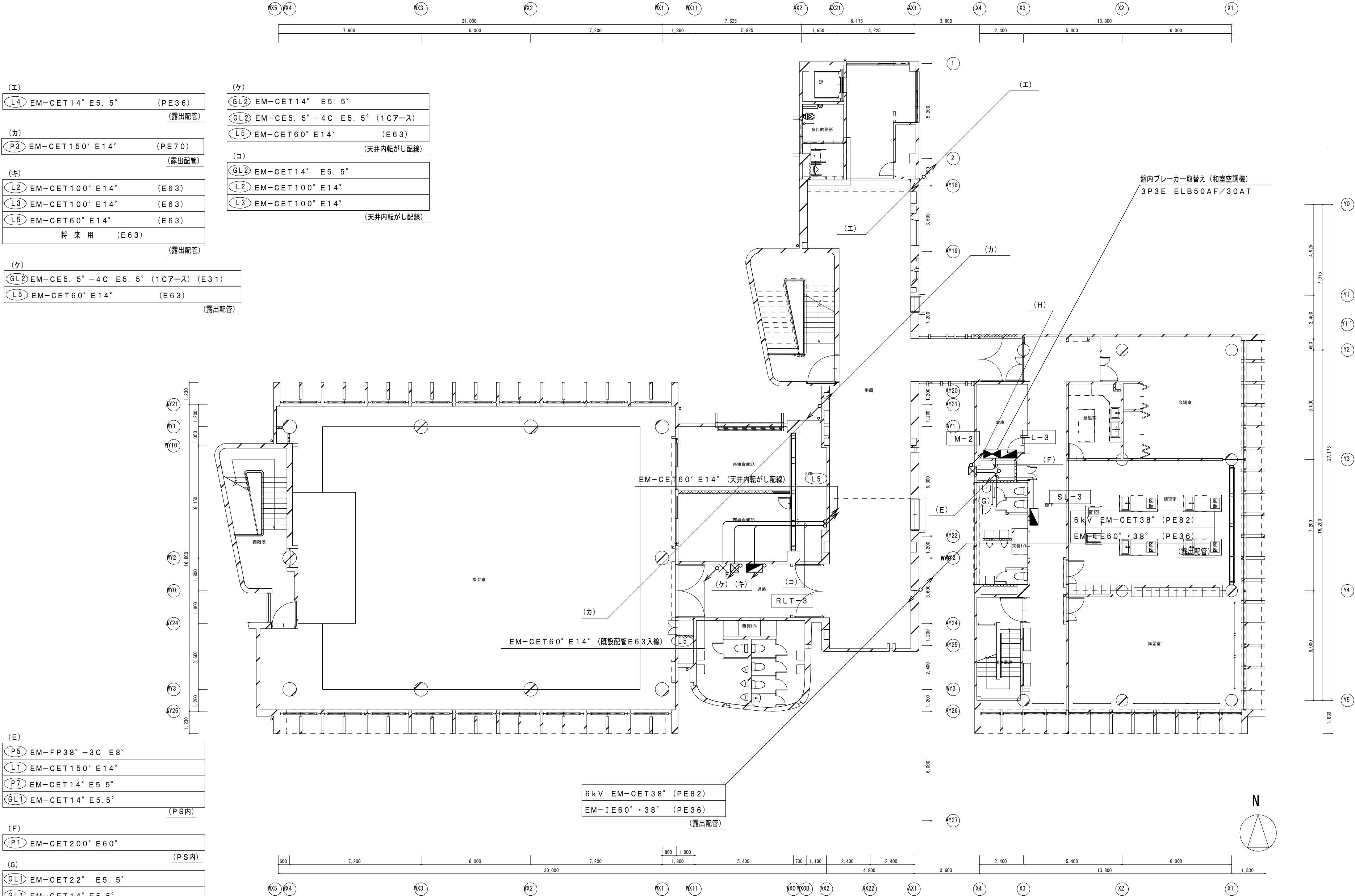
- (ア)
- | | | |
|----|--------------------|-------|
| P7 | EM-CET14° -3C E5.5 | (E39) |
|----|--------------------|-------|



1階空調電源・動力幹線設備図(改修前) 1:150

地階空調電源・動力幹線設備図(改修前) 1:150





(イ)		
L4	EM-CET14° E5.5°	(PE36)
(露出配管)		

(カ)		
P3	EM-CET150° E14°	(PE70)
(露出配管)		

(キ)		
L2	EM-CET100° E14°	(E63)
L3	EM-CET100° E14°	(E63)
L5	EM-CET60° E14°	(E63)
将来用 (E63)		
(露出配管)		

(ケ)		
GL2	EM-CE5.5°-4C E5.5° (1C7-ス)	(E31)
L5	EM-CET60° E14°	(E63)
(露出配管)		

(ケ)		
GL2	EM-CET14° E5.5°	
GL2	EM-CE5.5°-4C E5.5° (1C7-ス)	
L5	EM-CET60° E14°	(E63)
(天井内転がし配線)		

(コ)		
GL2	EM-CET14° E5.5°	
L2	EM-CET100° E14°	
L3	EM-CET100° E14°	
(天井内転がし配線)		

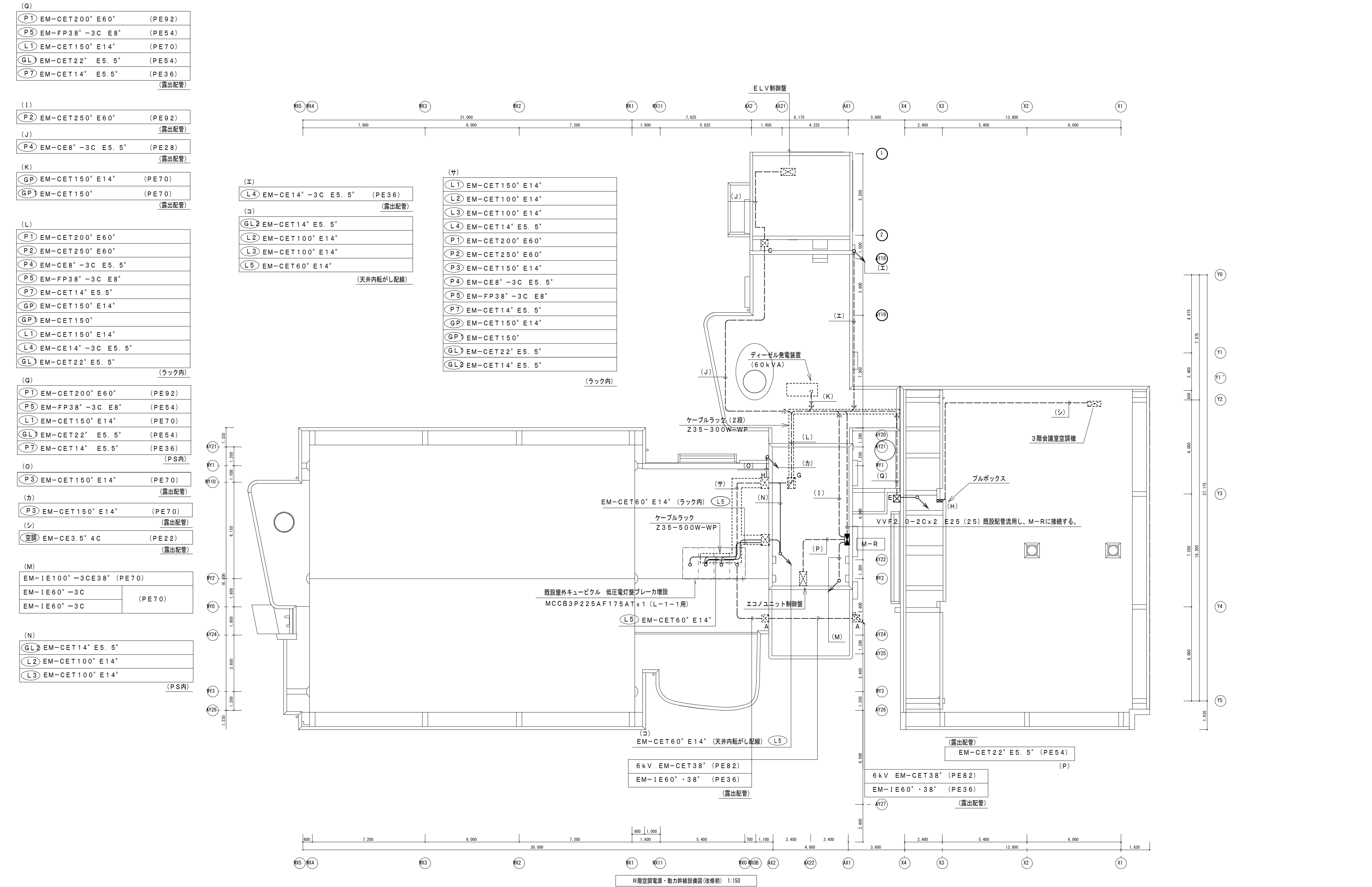
(E)		
P5	EM-FP38°-3C E8°	
L1	EM-CET150° E14°	
P7	EM-CET14° E5.5°	
GL1	EM-CET14° E5.5°	
(PS内)		

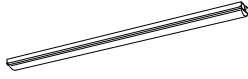
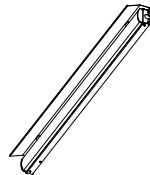
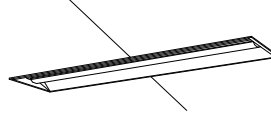
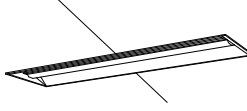


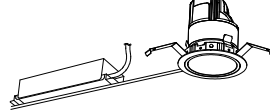
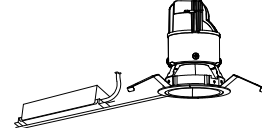
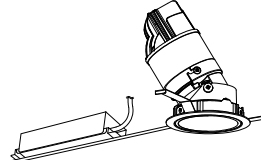
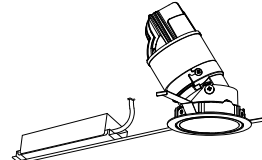
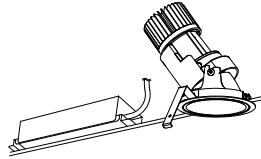
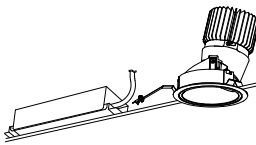


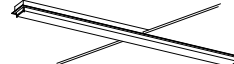
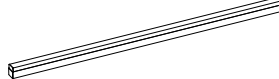




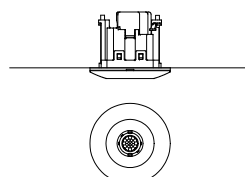
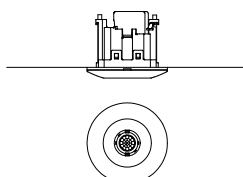

(F)		
P1	EM-CET200° E60°	
(PS内)		

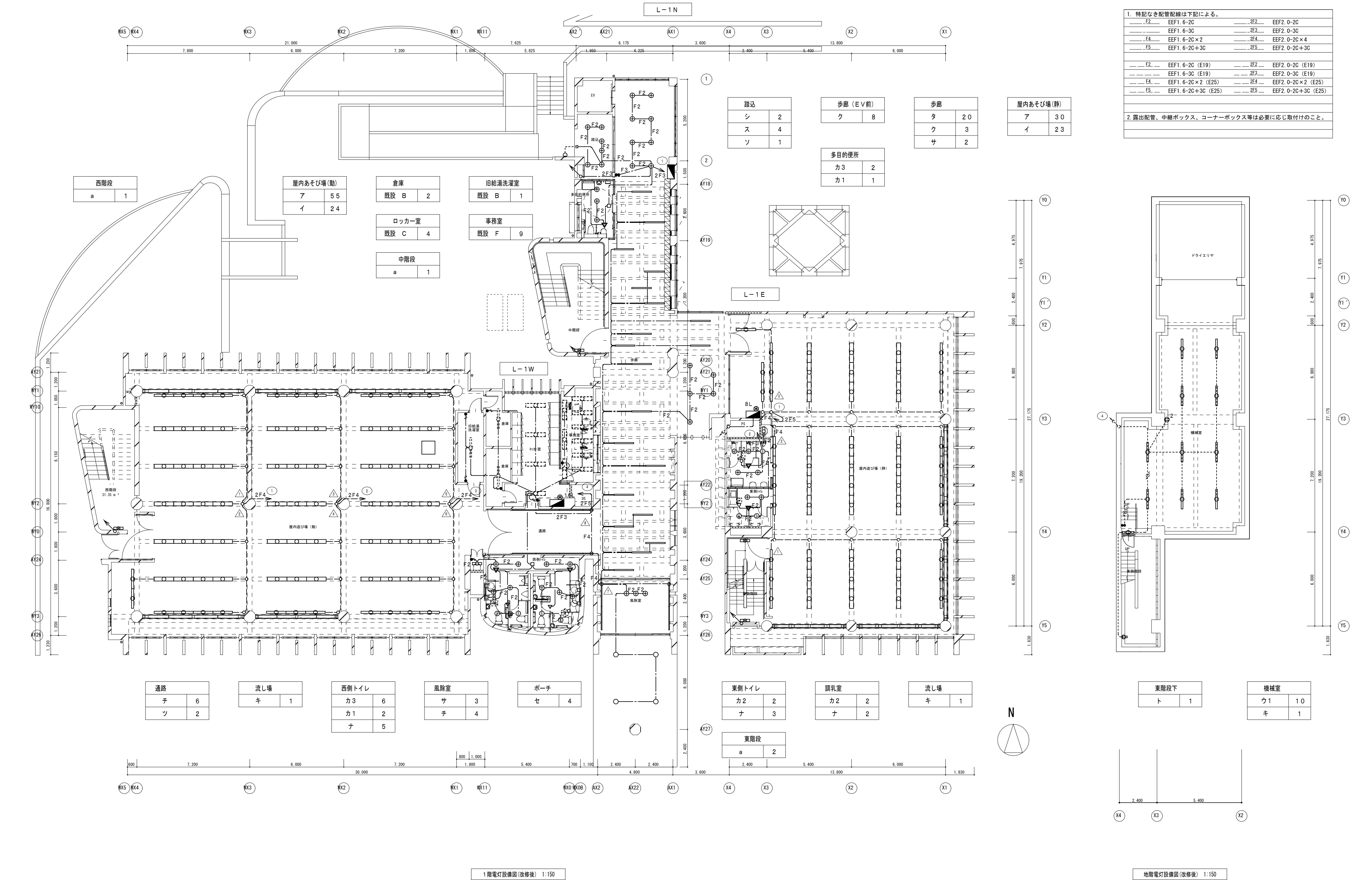
(G)		
GL1	EM-CET22° E5.5°	
GL1	EM-CET14° E5.5°	
(天井内転がし配線)		

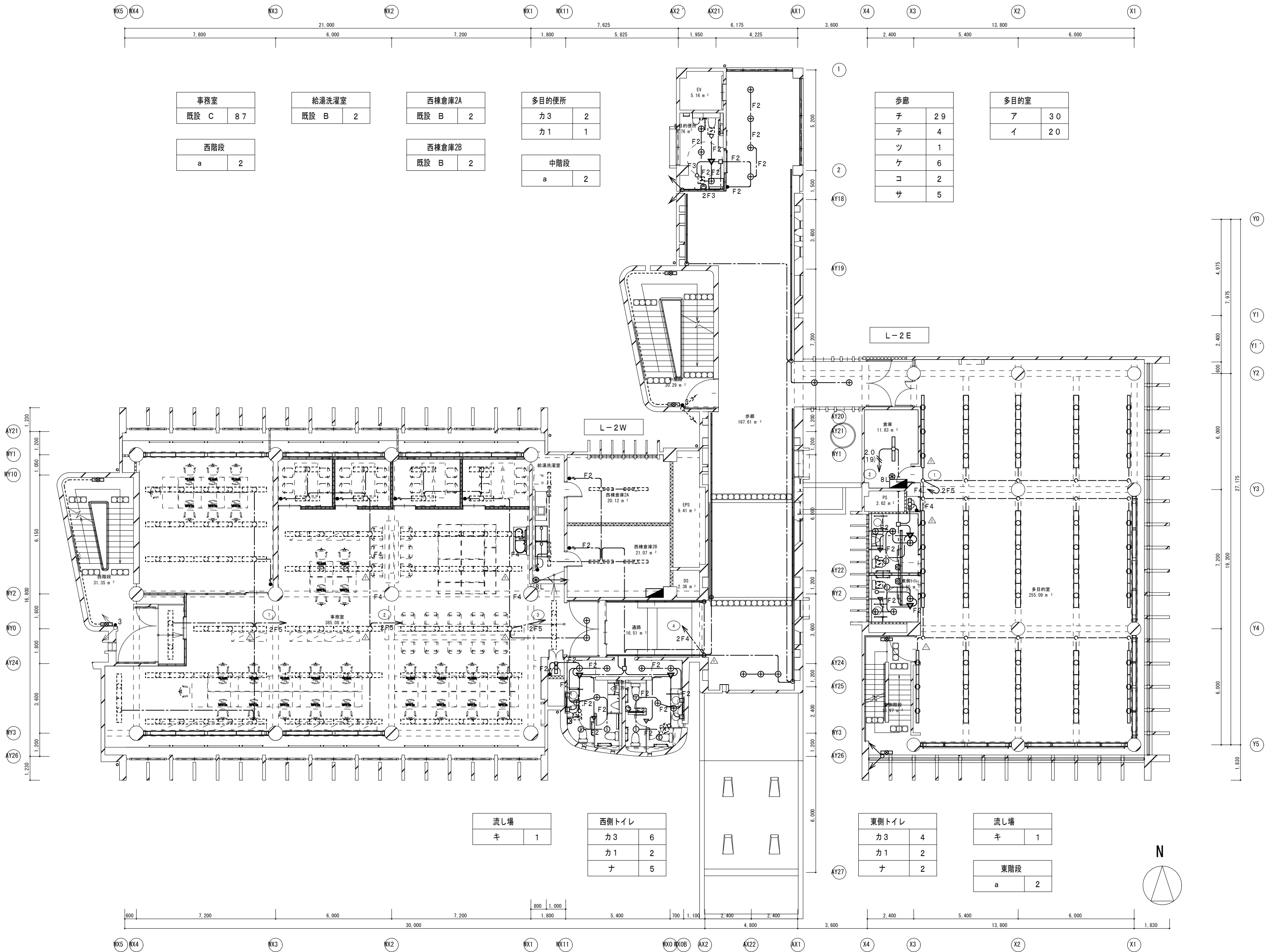
(H)		
P1	EM-CET200° E60°	
P5	EM-FPT38° E8°	
L1	EM-CET150° E14°	
GL1	EM-CET22° E5.5°	
P7	EM-CET14° E5.5°	
(PS内)		

3階空調電源・動力幹線設備図(改修前) 1:150

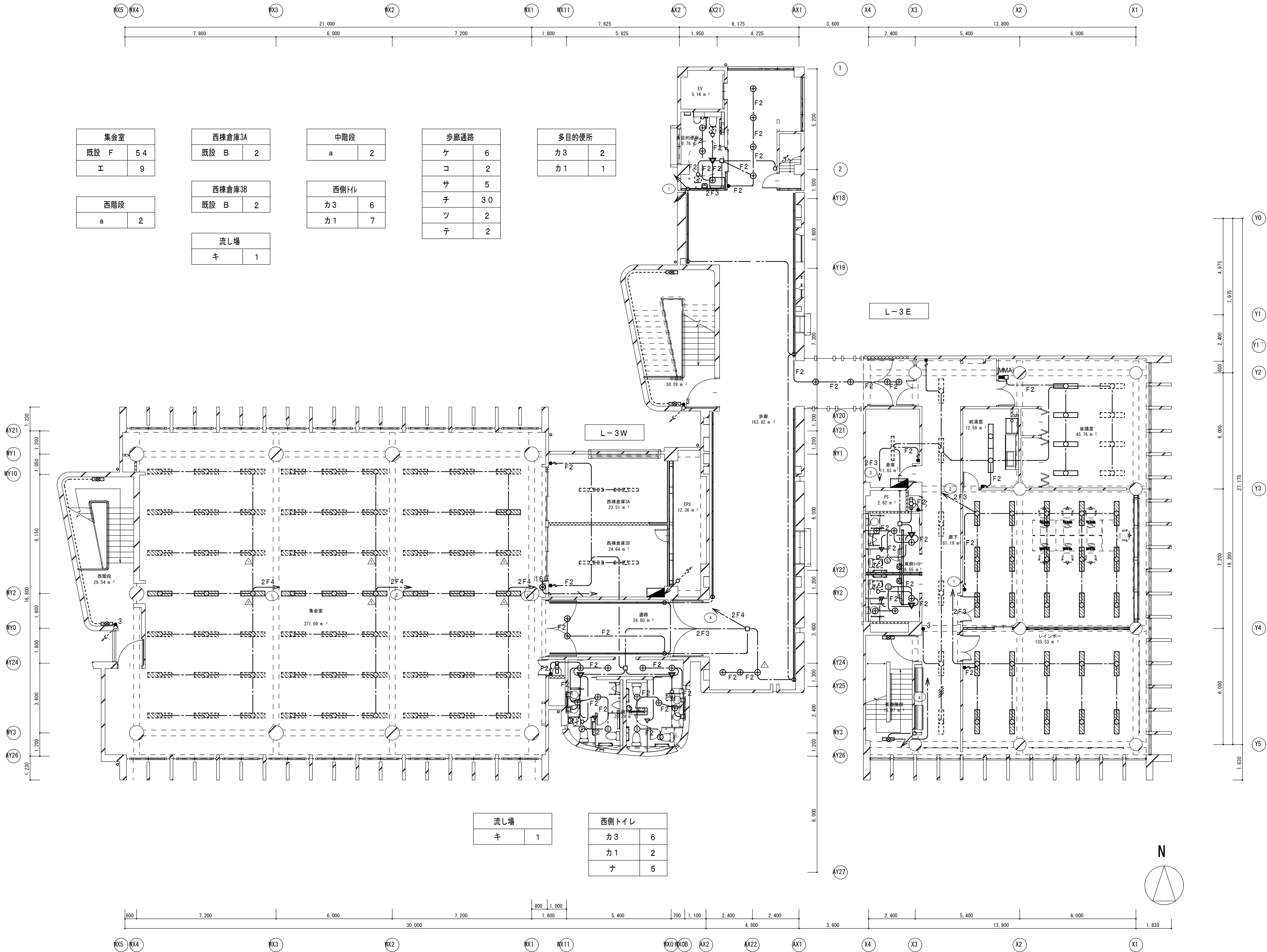


ア	直付天井灯	LSS1-4-65	イ	ブラケット (片反射笠付)	LSS1-4-65	ウ1	直付天井灯	LSS9-4-48	エ	埋込天井灯	LRS3-4-65	オ	埋込天井灯	LRS20-4-65	カ1	ダウンライト	LRS1-05-LN			
						ウ2	直付天井灯	LSS9-4-65												
キ	直付天井灯	LSS9-2-15	ク	ダウンライト	ERD7540WC+FX-392NA (遠藤照明) 相当品	ケ	ダウンライト	ERD5383WD+FX-391NA (遠藤照明) 相当品	コ	アジャスタブルダウンライト	ERD5442WD+FX-392NA (遠藤照明) 相当品	サ	アジャスタブルダウンライト	ERD5443WD+FX-392NA (遠藤照明) 相当品	シ	屋外アジャスタブルダウンライト	ERD5473WC+FX-391NA (遠藤照明) 相当品			
																				
900TYPE LEDモジュール 電球色 (3000K) 消費電力 15.0W ■無線調光タイプ 枠：アルミダイキャスト (白艶消) コーン：アルミ (鏡面仕上)			電源ユニット別売 (別置形) LED交換不可 断熱施工不可 無線モジュール付 重：0.5kg <無線調光タイプ>調光率：5-100%			600TYPE LEDモジュール 電球色 (3000K) 消費電力 10.4W 無線調光タイプ 枠：アルミダイキャスト (白艶消) コーン：アルミ (鏡面仕上)			900/600TYPE LEDモジュール 電球色 (3000K) 消費電力 14.2W ■無線調光タイプ 枠：アルミダイキャスト (白艶消) コーン：アルミ (鏡面仕上)			電源ユニット別売 (別置形) LED交換不可 断熱施工不可			2400/1400/900TYPE LEDモジュール 電球色 (3000K) 枠：アルミダイキャスト (白艶消) コーン：アルミ (鏡面仕上) 樹脂 (ポリカーボネート・透明)			電源ユニット別売 (別置形) LED交換不可 断熱施工不可 重：0.7kg		
2400/1400/900TYPE LEDモジュール 電球色 (3000K) 枠：アルミダイキャスト (白艶消) コーン：アルミ (鏡面仕上) 樹脂 (ポリカーボネート・透明)			電源ユニット別売 (別置形) LED交換不可 断熱施工不可 重：0.7kg																	
ス	ウォールウォッシャー	ERD5418WC+FX-390NA (遠藤照明) 相当品	セ	ブラケット	LLK-7054LU (大光電機) 相当品	ソ	ブラケット	ERB6043SB (遠藤照明) 相当品	タ	埋込天井灯 (ライン照明)	ERK9944W+SAD402XA (遠藤照明) 相当品	チ	壁面間接照明	ERK9864SA+FAD-913LB (遠藤照明) 相当品	ツ	壁面間接照明	ERK9709SA+FAD-831LB (遠藤照明) 相当品			
																				
1400/900TYPE LEDモジュール 電球色 (3000K) 枠：アルミダイキャスト (白艶消) コーン：アルミ (鏡面仕上) ガラス：透明消ガラス			電源ユニット別売 (別置形) 断熱施工不可 LED交換不可 重：0.6kg			LEDユニット ブロック70 電球色 (3000K) 消費電力 8.0W アルミダイキャスト メタリック仕上 (シルバーメタリック)			透明消アクリル 防湿防雨形 (IP55) 調光不可 重：1.3kg			リニア50 40Wタイプ専用ユニットx1 L:1200タイプ 本体：アルミ (白) ユニット別売 重：1.9kg (ユニット込)			リニア32 L:1500タイプ専用ユニットx1 電球色 (3000K) 消費電力 21.3W PWM信号制御方式 本体：アルミ (アルマイト仕上)			リニア32 L:900タイプ専用ユニットx1 調色 (2000K-1800K相当 (12000-1800K)) 消費電力 16.9W 無線調光タイプ 本体：アルミ (アルマイト仕上) ユニット別売		
入力電圧：100-242V 給電コネクタ別売：RK-581N/566N LED交換不可 重：0.8kg (ユニット込) <無線調光タイプ>調光率：1-100%			LED6.5W 電球色 (3000K) 消費電力 6.5W 定格光束245lm 色温度2700K Ra83			LEDユニット別売 入力電圧：100-242V 給電コネクタ別売：RK-581N/566N LED交換不可 重：0.6kg (ユニット込)			ユニット別売 入力電圧：100-242V 給電コネクタ別売：RK-581N/566N 重：1.4kg (ユニット込) 調光率：5-100%											
テ	壁面間接照明	ERK9710SA+FAD-622LA (遠藤照明) 相当品	ト	ブラケットライト	LBF3MP/RP-2-13	ナ	ダウンライト (センサー付)	XAD1100K (パナソニック) 相当品	▽	天井取付熱線センサ付自動スイッチ (親器)	WTK2411K (パナソニック) 相当品	▽	天井取付熱線センサ付自動スイッチ (子器)	WTK2911K (パナソニック) 相当品						
																				
リニア32 L:600タイプ専用ユニットx1 電球色 (2700K) 消費電力 6.7W 非調光タイプ 本体：アルミ (アルマイト仕上)			ユニット別売 入力電圧：100-242V 給電コネクタ別売：RK-581N/566N LED交換不可 重：0.6kg (ユニット込)			昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束765lm、消費電力7.6W、電圧100V 電源ユニット内蔵、拡散タイプ、PaP I R s・明るさセンサ付 高気密SB形、点灯照度・点灯保持時間調整機能付 枠：アルミダイキャスト (ホワイトつや消し) 光源寿命40000時間 (光束維持率70%) 埋込穴φ100			定格3A、100V AC 動作時間約10秒~30分可変形) 換気扇負荷対応			定格5mA、12V DC 動作時間約10秒~30分可変形)								
定格3A、100V AC 動作時間約10秒~30分可変形) 換気扇負荷対応			ユニット別売 入力電圧：100-242V 給電コネクタ別売：RK-581N/566N 重：1.4kg (ユニット込) 調光率：5-100%																	
a	階段灯	NNCF23115 (パナソニック) 相当品																		
																				
ひとセンサ段調光30分、H f 16形器具1灯相当 非常時本体組込LED点灯、非常灯評定番号：L A L E - 0 1 5 本体：銅板 (白色塗装)、レンズ：ガラス 常照光ユニット (カバー)：ポリカーボネート (乳白) 電圧：100~242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池 常照光ユニット：光束維持時間40000時間 (光束維持率85%) 自己点検機能付、リモコン：FSK90910K (別売)																				





2階電灯設備図 (改修後) 1:150



倉庫	
既設 B	1

東側トイレ	
カ3	4
カ1	2
ナ	2

廊下	
既設 F	6

給湯室	
ウ1	2

会議室	
ウ2	4
既設 C2	4

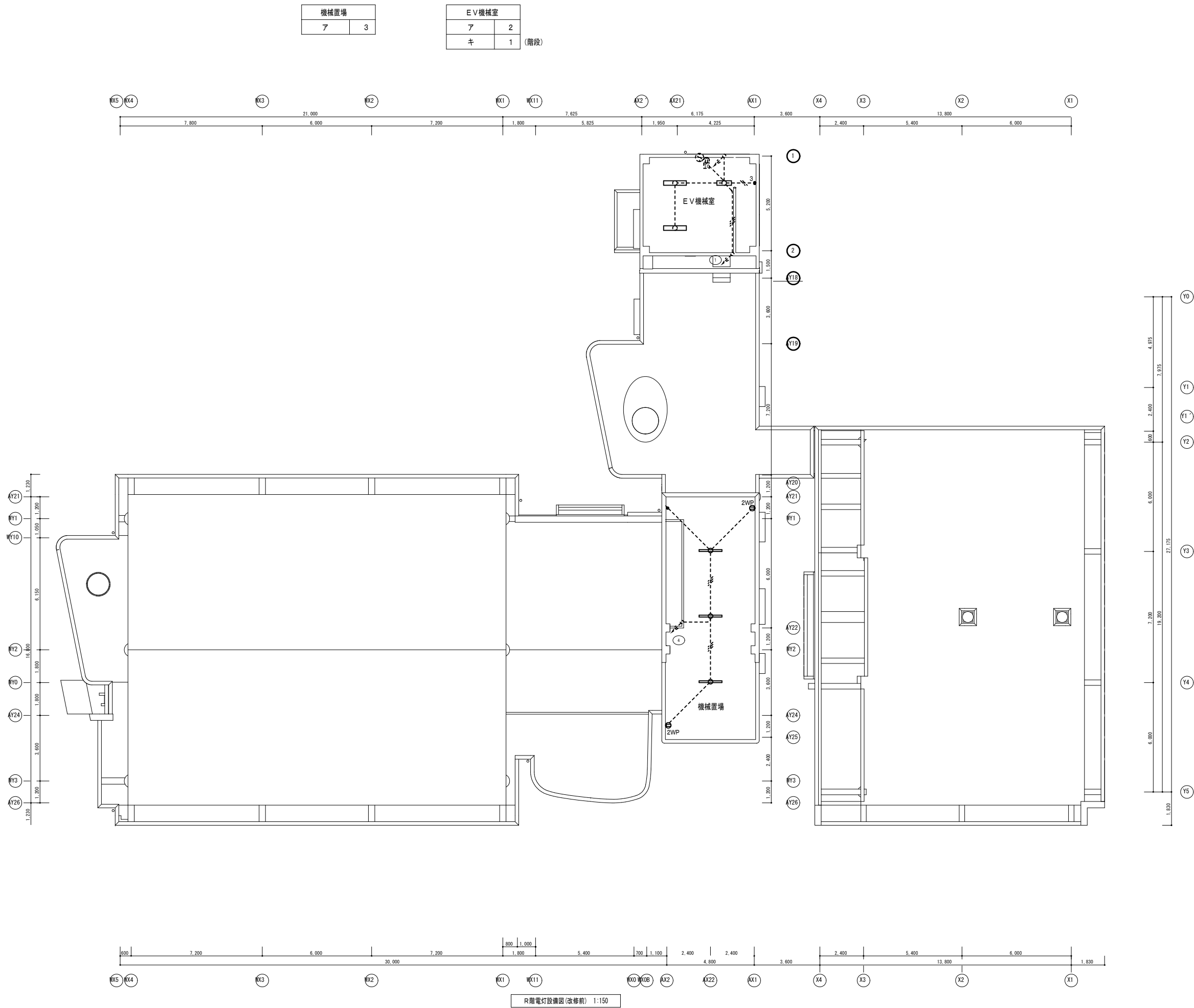
レインボー (北)	
オ	15


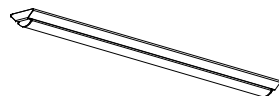
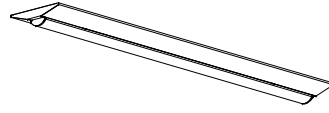
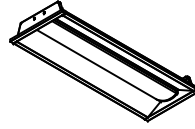
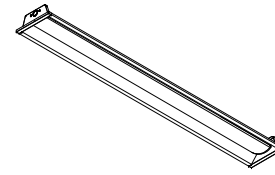
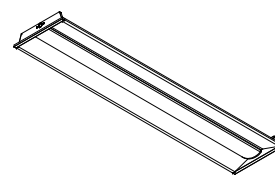
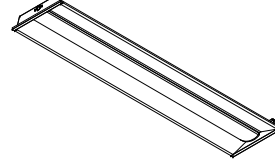
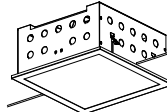

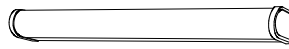
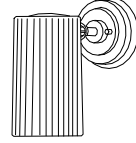
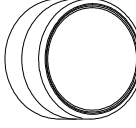
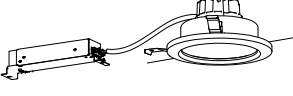

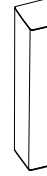
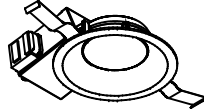
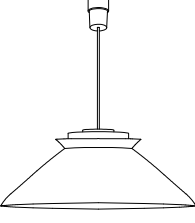
レインボー (南)	
オ	10

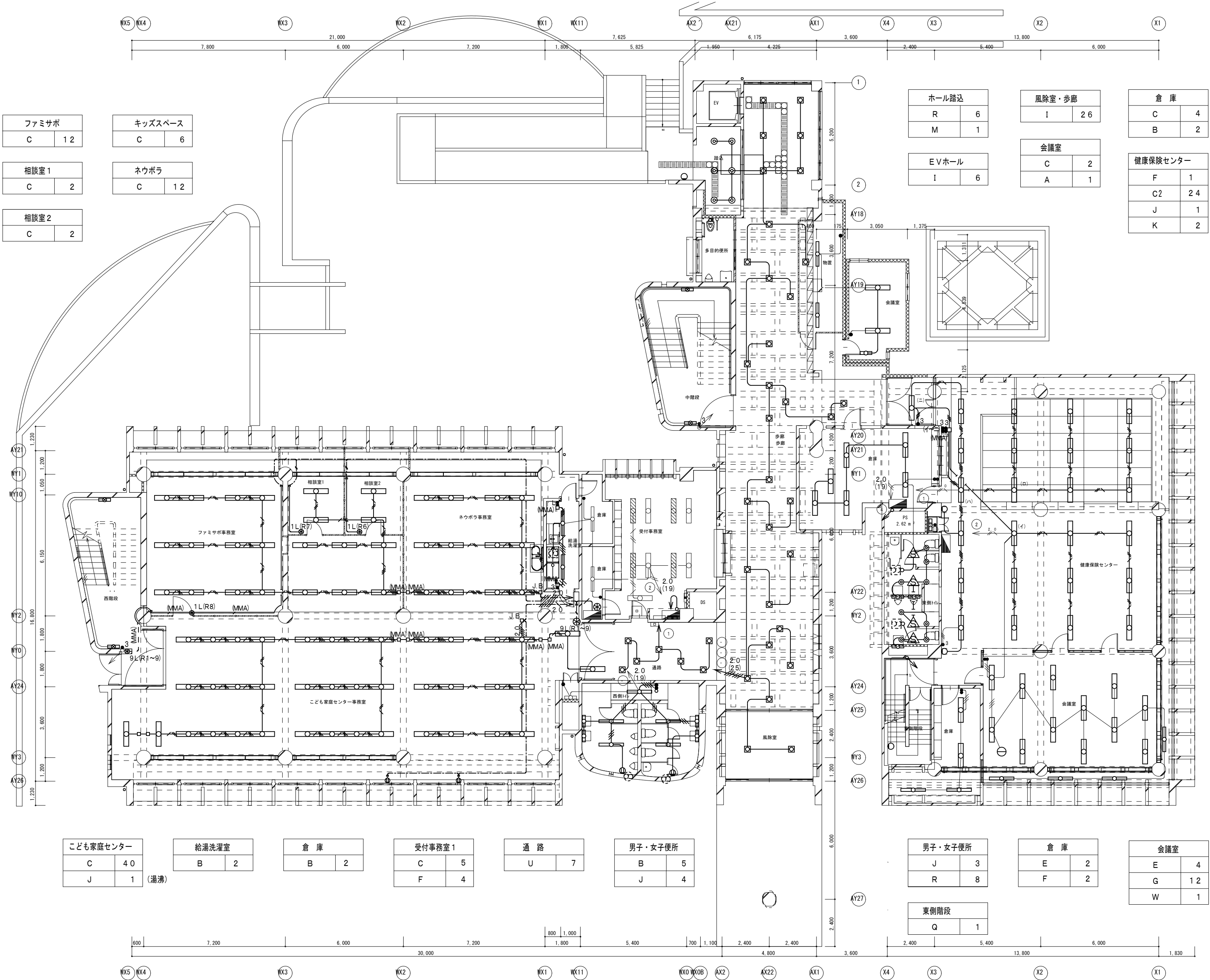
東階段	
a	2

流し場	
キ	1

3階電灯設備図 (改修後) 1:150



A	LEDベースライト FLR20 x 1形器具相当	B	LEDベースライト Hf 32 x 1形器具相当	C	LEDベースライト Hf 32 x 2形器具相当	D	LEDベースライト FHF16 x 1形器具相当	E	LEDベースライト FLR40 x 1形器具相当	F	LEDベースライト FLR40 x 2形器具相当	G	LEDベースライト FHF32 x 2形器具相当
 <p>●LED（昼白色） LED（昼白色） 寸法：幅120×632×高53 本体：銅板 白 LEDバー：ポリカーボネート 乳白 定格電圧：AC100V～242V 消費電力：6.5W（AC200V時） 器具光束：800 lm 固有エネルギー消費効率：123.1 lm/W 寿命：40,000時間（光束維持率85%） 相関色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：83 質量：1.1kg</p>		 <p>LSS9-3200LM</p>		 <p>LSS9-4900LM（C） LSS9-6800LM（C2）</p>	 <p>埋込穴寸法 220 x 625</p> <p>●LED（昼白色） ●本体：銅板 白 ●LEDバー：ポリカーボネート 乳白 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：12.5W（AC200V時） ●器具光束：1,510lm 固有エネルギー消費効率：120.8lm/W ●寿命：40,000時間（光束維持率85%） ●相関色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：83 ●調光範囲：約5%～100% ●調光器専用端子台付 ●質量：1.7kg</p>	 <p>埋込穴寸法 150 x 1250</p> <p>●LED（昼白色） ●本体：銅板 白 ●LEDバー：ポリカーボネート 乳白 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：14.5W（AC200V時） ●器具光束：1,900lm 固有エネルギー消費効率：131.0lm/W ●寿命：40,000時間（光束維持率90%） ●相関色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：83 ●非調光 ●質量：2.5kg</p>	 <p>埋込穴寸法 300 x 1250</p> <p>●LED（昼白色） ●本体：銅板 白 ●LEDバー：ポリカーボネート 乳白 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：28.5W（AC200V時） ●器具光束：3,800lm 固有エネルギー消費効率：133.3lm/W ●寿命：40,000時間（光束維持率90%） ●相関色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：83 ●非調光 ●質量：3.3kg</p>	 <p>埋込穴寸法 300 x 1250</p> <p>●LED（昼白色） ●本体：銅板 白 ●LEDバー：ポリカーボネート 乳白 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：47.5W（AC200V時） ●器具光束：6,500lm 固有エネルギー消費効率：136.8lm/W ●寿命：40,000時間（光束維持率90%） ●相関色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：83 ●非調光 ●質量：3.3kg</p>					
H	LEDベースライト 下面開放形埋込	I	LEDシーリングライト	J	LEDブラケットライト	K	LEDスポットライト 40形電球1灯器具相当			M	LED8.5W x 1 ブラケット		
 <p>埋込穴寸法 300 x 300</p> <p>●2500 TYPE LEDモジュール ●昼白色タイプ（5000K） ●消費電力 21.0W ●白 ●乳白アクリル ●重：3.0kg ●断熱施工不可 ●LED交換不可</p>		 <p>●LEDユニットフラット形16.3W以下（GX53口金） ランプ別売 ●器具寸法：径φ350 x 高110 ●本体：ポリプロピレン樹脂（ブラック） ●グローブ：アクリル樹脂（乳白） ●定格電圧：AC100V ●消費電力：16.3W ●器具光束：1,090 lm ●寿命：40,000時間 ●調光不可 ●質量：0.9kg</p>		 <p>●本体：銅板（マイルドホワイト） ●セード：アクリル樹脂（乳白） ●基板：プラスチック（ホワイト） ●定格電圧：AC100V ●消費電力：8W ●器具光束：570 lm ●固有エネルギー消費効率：71.2 lm/W ●相関色温度 5000K（昼白色） ●平均演色評価数：（Ra）83 ●光源寿命：40,000時間 ●調光不可 ●質量：0.7kg</p>		 <p>電球色（2800K）、Ra80 器具光束318lm、消費電力6.7W、電圧100V 天井直付型・壁直付型・据置取付型 セード：アクリル（透明・一部つや消し）、（クローム仕上） 可動範囲上下90度、回転方向315度 灯具部φ95 H=190 出し高188 パナソニック LGB89250</p>				 <p>工事引 電球色（2700K）Ra82 本体：75mmφ、白色塗装 質量：0.7kg 光源寿命：40,000時間 光束：495lm 消費電力：8.5W 消費効率：58.2lm/W 三菱 EL-V0408L</p>			
O	LEDダウンライト 100形	P	笠付直付天井灯 FL40W x 1	Q	蛍光灯ブラケット FL20W x 1	R	LEDダウンライト					W	LEDコードペンダント
 <p>LED<ワンコア（ひと粒）タイプ> 和風タイプ、3000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束785lm、消費電力7.9W、電圧100～242V 反射板：アルミ（ホワイトつや消し仕上） 枠：本製（白木） 40000時間（光束維持率85%） 光源光束角15度、埋込穴φ150、埋込高79 パナソニック ダウンライトXNDN1068JLLE9</p>		 <p>P2 笠付直付天井灯 FL20W x 1</p>		 <p>●LED（昼白色） ●器具寸法：径φ137（化粧枠） x 埋込高80 ●本体：アルミダイカスト ●枠：アルミダイカスト 白 ●前面カバー：アクリル樹脂 乳白 ●定格電圧：AC100V ●消費電力：6.8W ●器具光束：490 lm ●固有エネルギー消費効率：72.1 lm/W ●色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：83 ●光源寿命：40,000時間 ●調光対応不可 ●質量：0.5kg</p>		 <p>埋込穴寸法 125φ</p> <p>●LED（昼白色） ●器具寸法：径φ137（化粧枠） x 埋込高80 ●本体：アルミダイカスト ●枠：アルミダイカスト 白 ●前面カバー：アクリル樹脂 乳白 ●定格電圧：AC100V ●消費電力：6.8W ●器具光束：490 lm ●固有エネルギー消費効率：72.1 lm/W ●色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：83 ●光源寿命：40,000時間 ●調光対応不可 ●質量：0.5kg</p>						 <p>●LEDユニットフラット形用（ランプ別売） ●寸法：φ500 x 高200 全長400～1000 ●セード：アクリル 乳白 ●筐り：銅板 マイルドホワイト</p>	



ファミサポ	
C	12

キッズスペース	
C	6

相談室 1	
C	2

ネウボラ	
C	12

相談室 2	
C	2

ホール踏込	
R	6
M	1

風除室・歩廊	
I	26

倉庫	
C	4
B	2

E Vホール	
I	6

会議室	
C	2
A	1

健康保険センター	
F	1
C2	24
J	1
K	2

(湯沸)

こども家庭センター	
C	40
J	1

給湯洗濯室	
B	2

倉庫	
B	2

受付事務室 1	
C	5
F	4

通路	
U	7

男子・女子便所	
B	5
J	4

男子・女子便所	
J	3
R	8

倉庫	
E	2
F	2

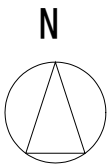
会議室	
E	4
G	12
W	1

東側階段	
Q	1

機械室	
P	10

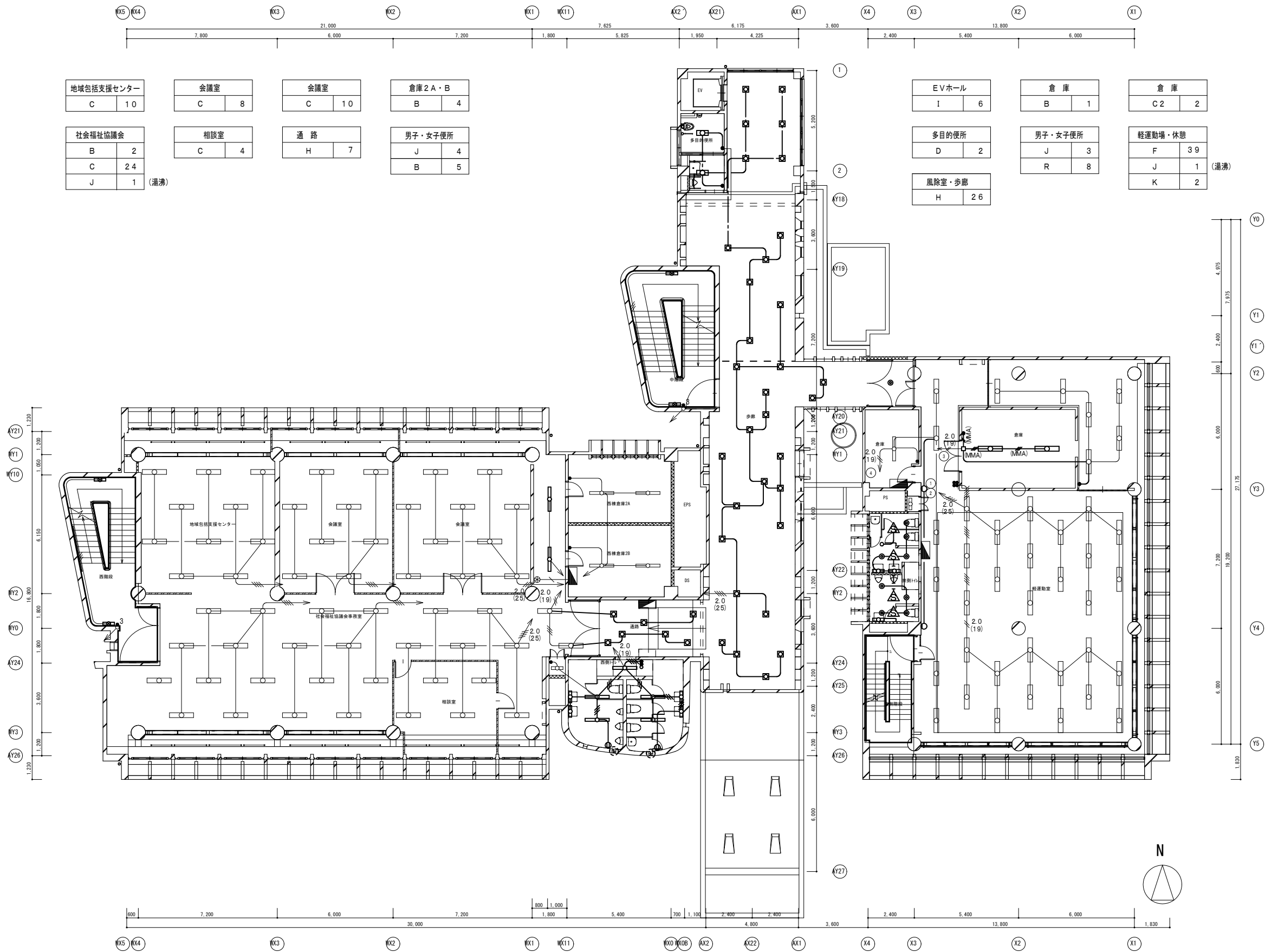
東側階段	
P 2	1

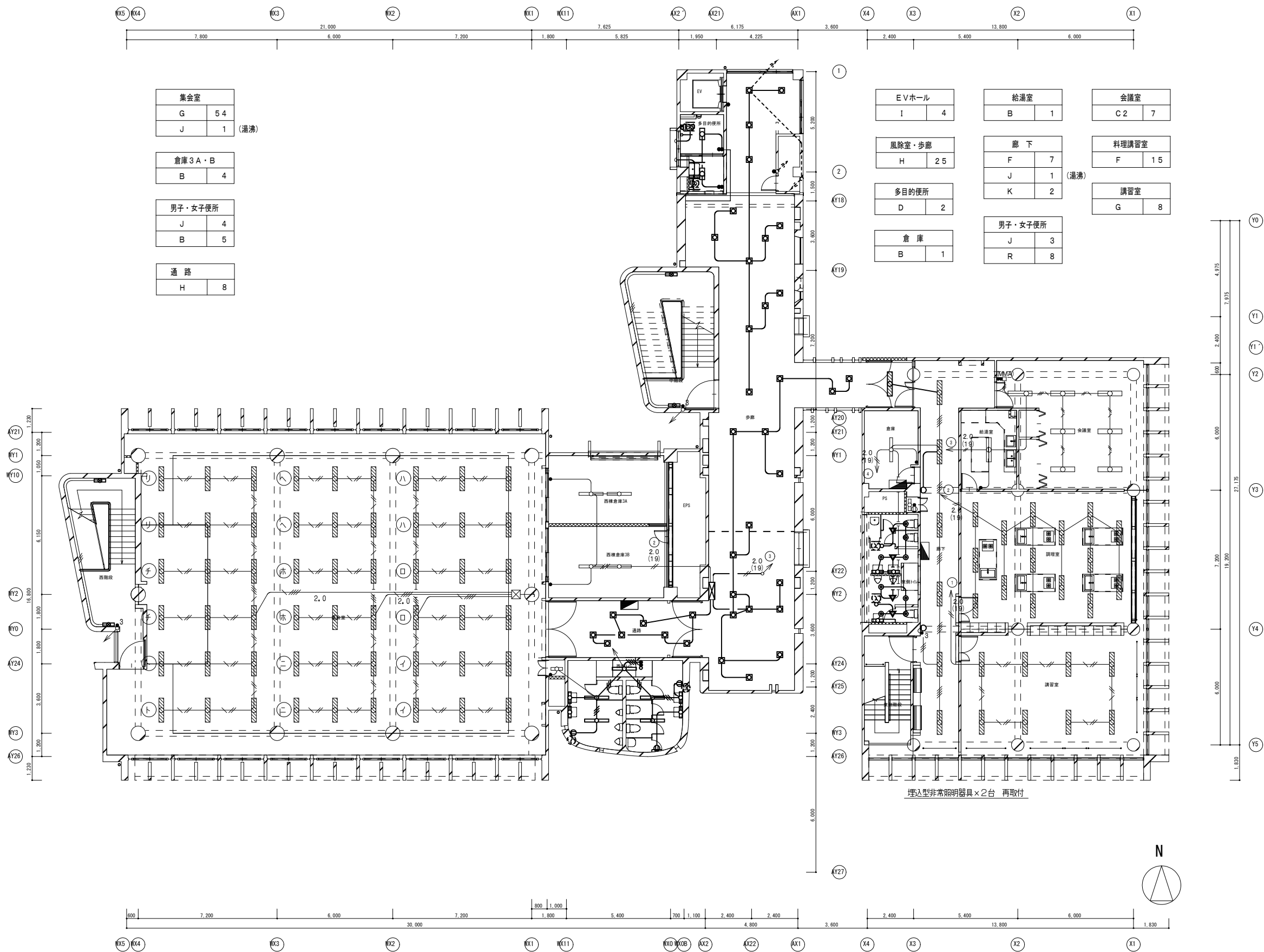
1. 特記なき配管配線は下記による。
IV1.6×2 (19)
IV1.6×3 (19)
IV1.6×4 (25)
IV1.6×5 (25)
IV2.0×2 (19)



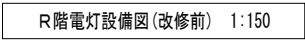
1階電灯設備図 (改修前) 1:150

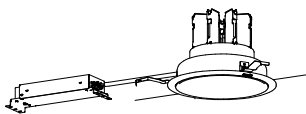
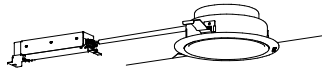
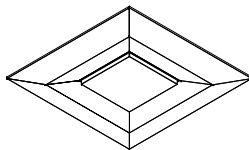
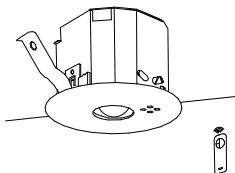
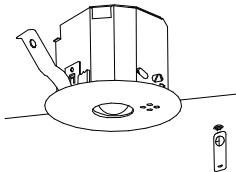
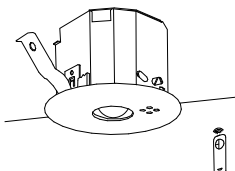

地階電灯設備図 (改修前) 1:150

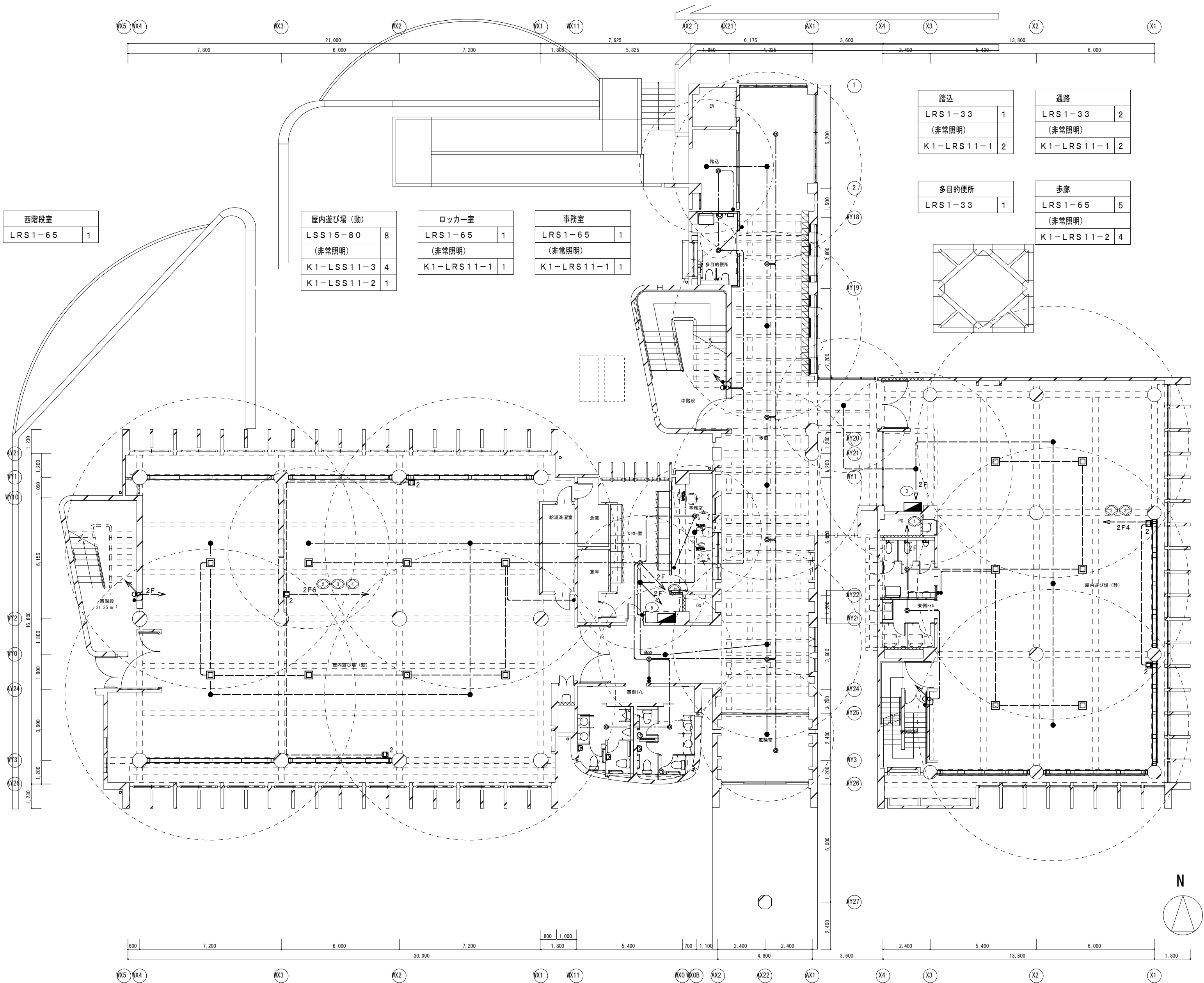




E V機械室	
C	2
A	1



●	非常回路埋込天井灯	LRS1-65	●	非常回路埋込天井灯	LRS1-33		□	非常回路埋込天井灯	LSS15-80	
										
●9	非常用照明器具（天井埋込電池内蔵）	K1-LRS11-1	●13	非常用照明器具（天井埋込電池内蔵）	K1-LRS11-2	●30	非常用照明器具（天井埋込電池内蔵）	K1-LRS11-3	●	壁付照明器具
										
天井無部分は直付タイプK1-LSS11-1に読み替える			天井無部分は直付タイプK1-LSS11-2に読み替える			天井無部分は直付タイプK1-LSS11-3に読み替える			LGB51603 LB1(パナソニック)相当品 昼白色(5000K)、Ra83 器具光束805lm、消費電力9.2、電圧100V 天井面・壁面取付専用 カバー・プラスチック(ホワイト) 送り用端子台付、位相制御式(2線式)	



西階段室	
LRS1-65	1

屋内遊び場 (動)	
LSS15-80	8
(非常照明)	
K1-LSS11-3	4
K1-LSS11-2	1

ロッカー室	
LRS1-65	1
(非常照明)	
K1-LRS11-1	1

事務室	
LRS1-65	1
(非常照明)	
K1-LRS11-1	1

踏込	
LRS1-33	1
(非常照明)	
K1-LRS11-1	2

通路	
LRS1-33	2
(非常照明)	
K1-LRS11-1	2

多目的便所	
LRS1-33	1

歩廊	
LRS1-65	5
(非常照明)	
K1-LRS11-2	4

西側H/L	
LRS1-33	2

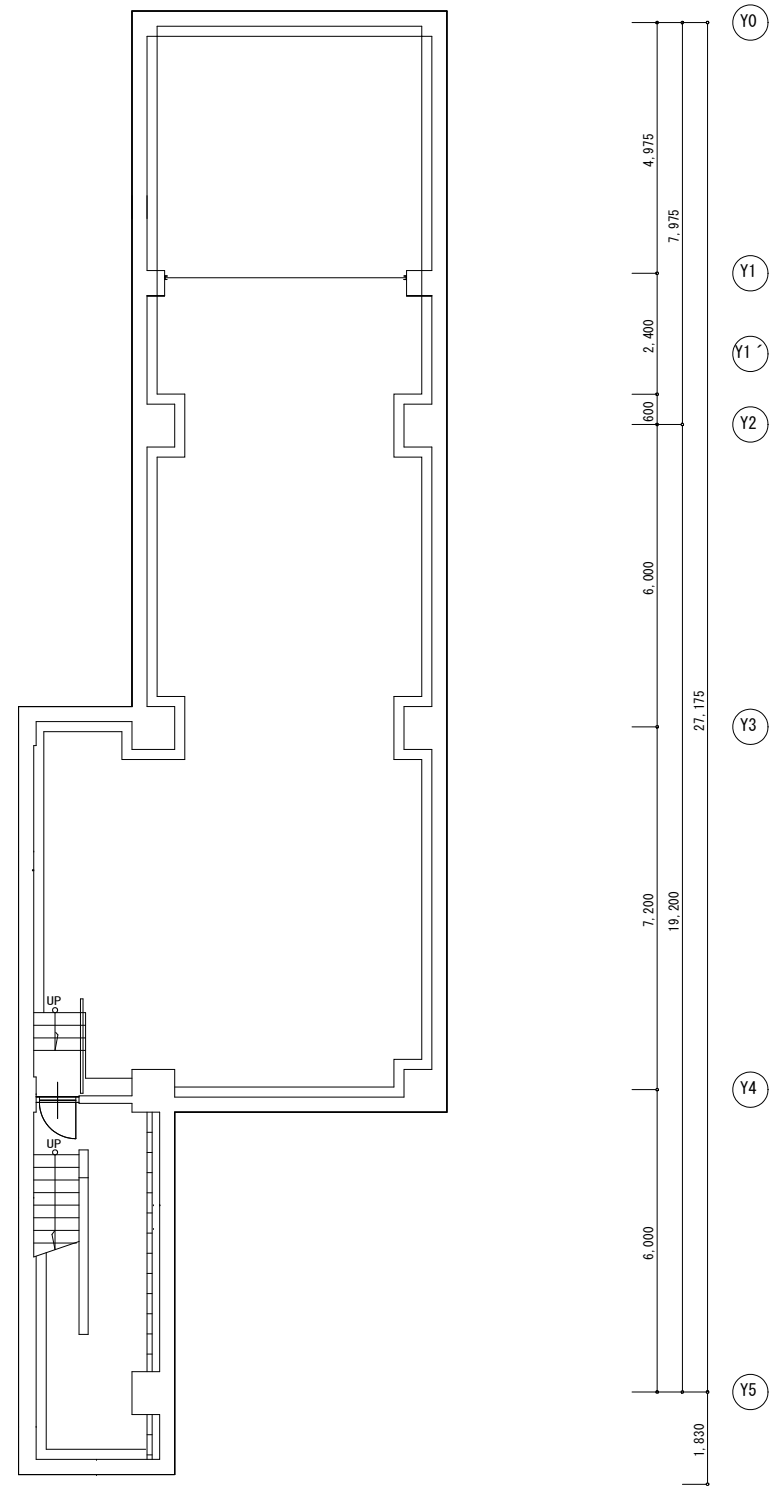
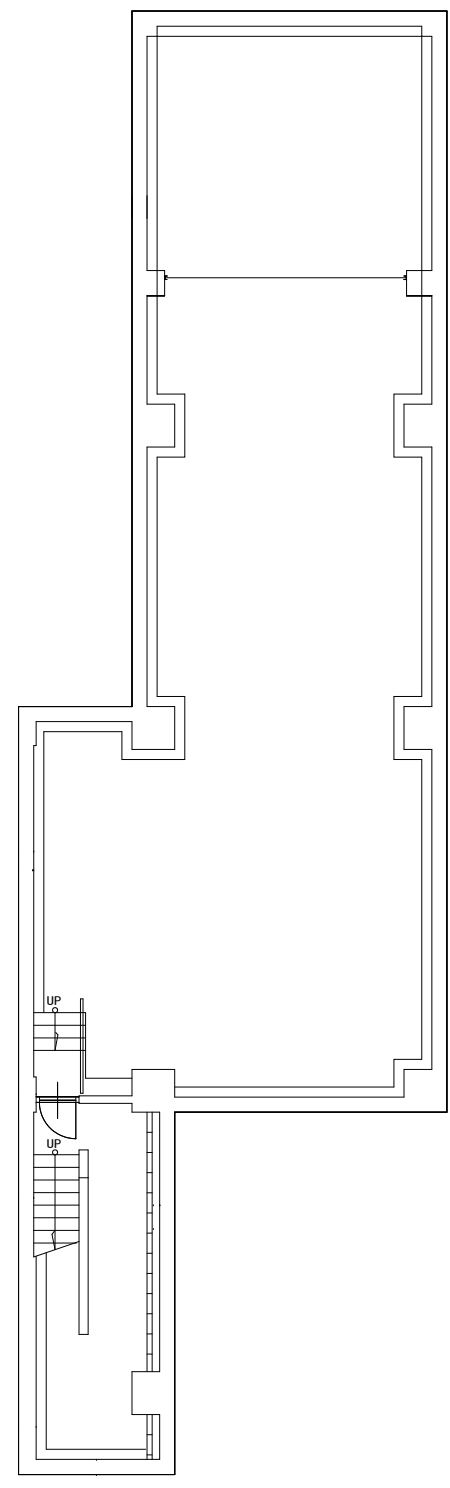
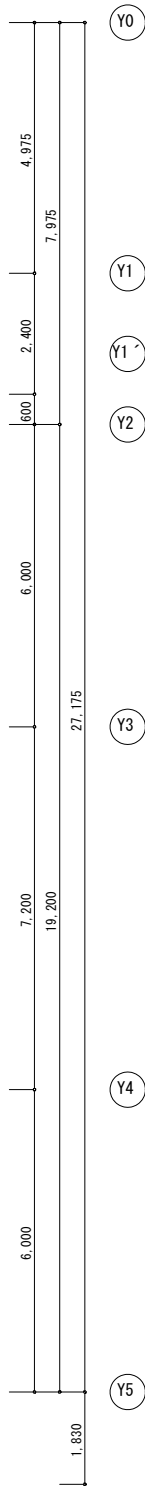
風除室	
LRS1-33	1
(非常照明)	
K1-LRS11-1	1

東側H/L	
LRS1-33	2

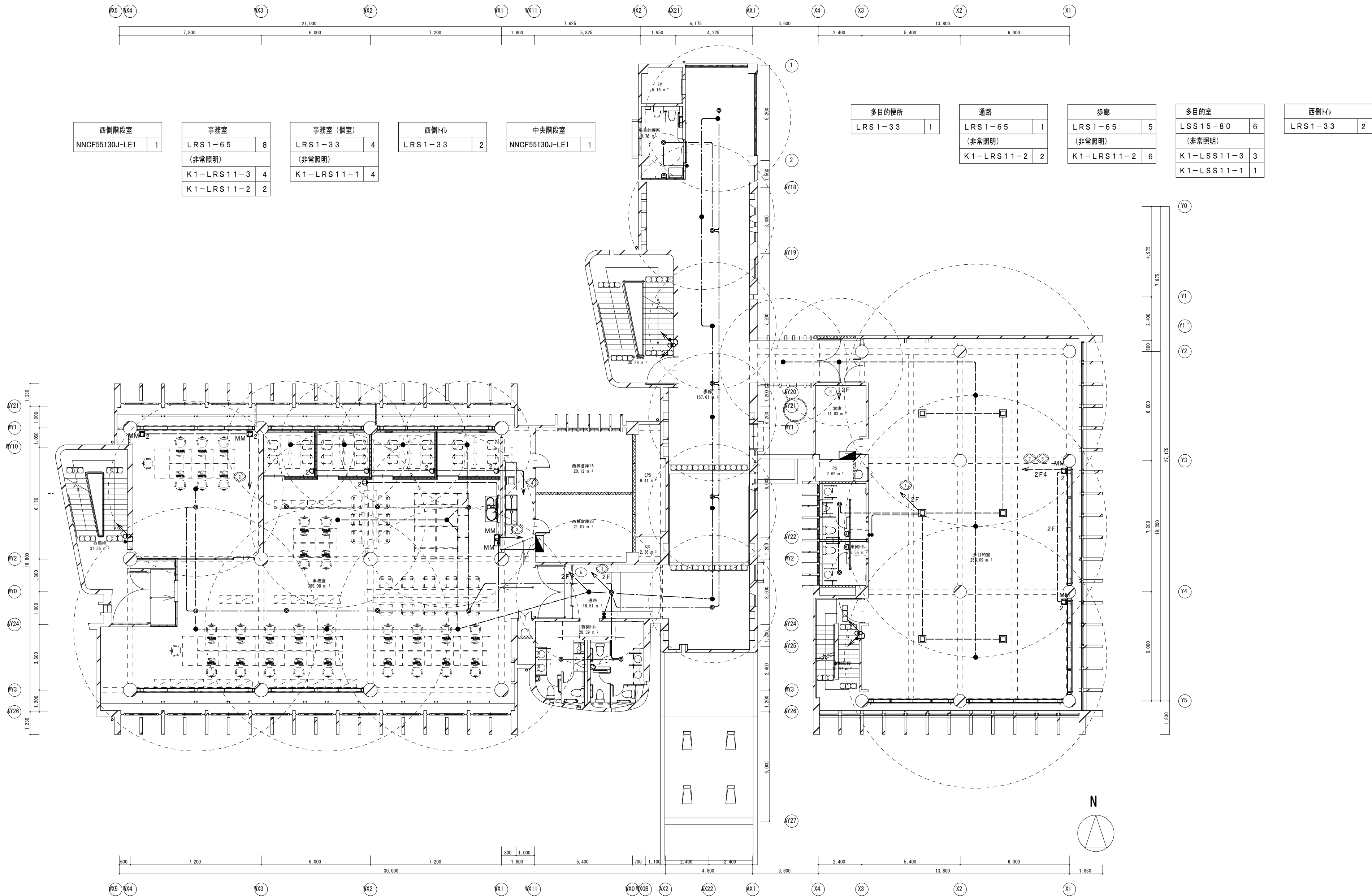
屋内遊び場 (静)	
LSS15-80	6
(非常照明)	
K1-LSS11-3	3
K1-LSS11-1	1

1階非常照明設備図 (改修後) 1:150

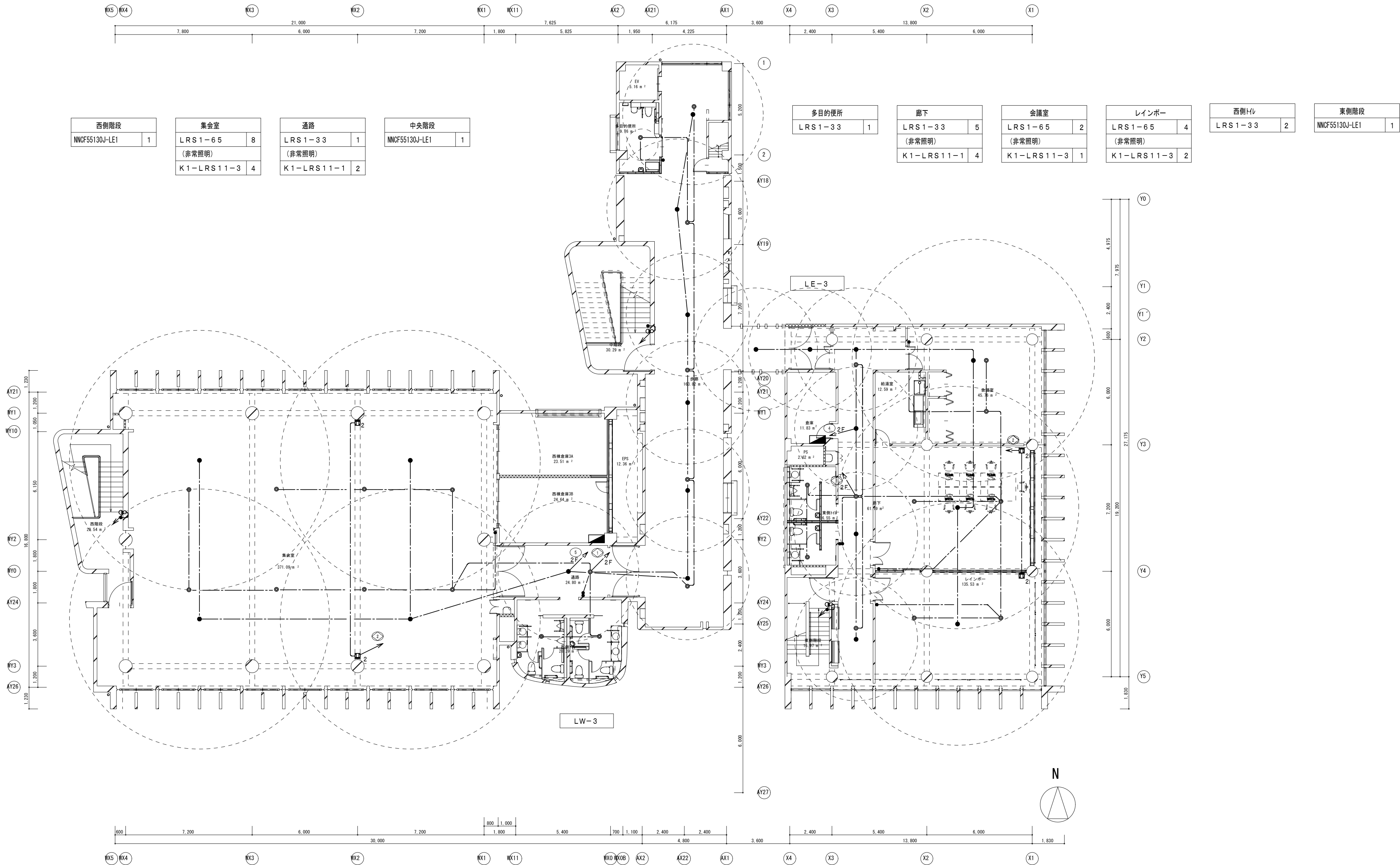
1. 特記なき配管配線は下記による。
・非常用照明、非常回路照明
--- EF1. 6-2C
--- 2F EF2. 0-2C
--- EF1. 6-2C (E19)
--- 2F EF2. 0-2C (E19)
・非常回路コンセント
--- EF2. 0-2C
--- 2F4 EF2. 0-2C×2
--- 2F6 EF2. 0-2C×6
--- EF2. 0-2C (E19)
--- 2F4 EF2. 0-2C×2 (E25)
--- 2F6 EF2. 0-2C×6 (E31)
2. 露出配管、中継ボックス、コーナボックス等は必要に応じ取付けのこと。



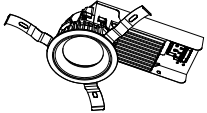
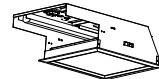

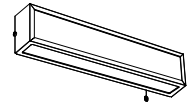
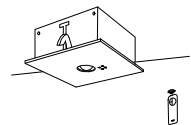
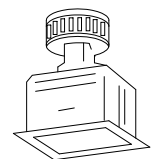
地階非常照明設備図 (改修後) 1:150

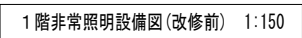


2階非常照明設備図(改修後) 1:150

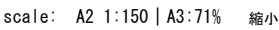


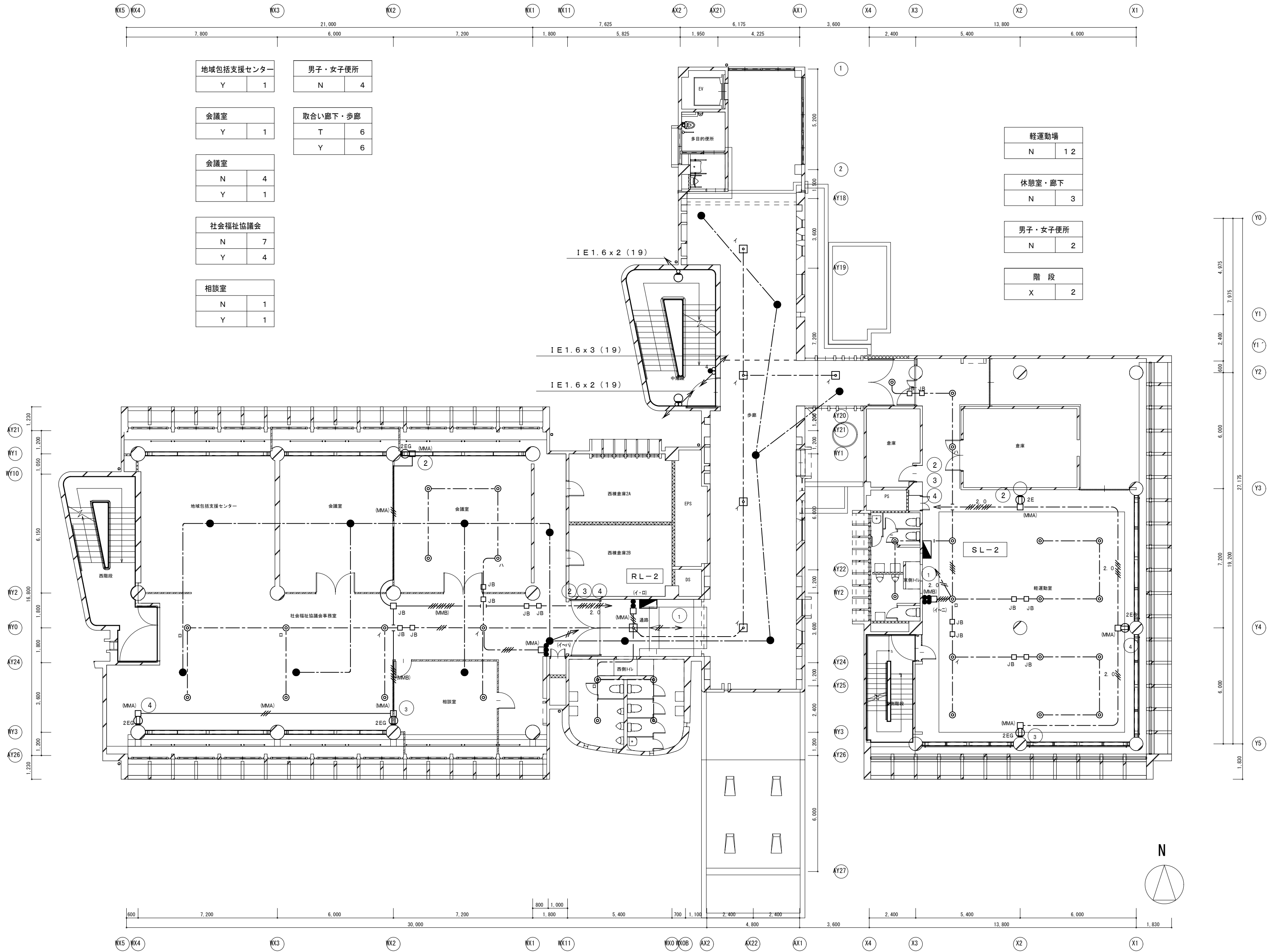
3階非常照明設備図(改修後) 1:150

N	LEDダウンライト			T	LEDベースライト			V	LEDシーリングライト
<div></div> <div>●LED（昼白色） ●本体：アルミダイカスト ●枠：プラスチック / パージンホワイト ●下面カバー：アクリル 透明 ●定格電圧：AC100～242V ●消費電力：14.8W（AC100V時） 14.6W（AC200V時） ●器具光束：1,610lm 寿命：40,000時間（光束維持率70%） ●固有エネルギー消費効率：110.3lm/W ●相関色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：70 ●調光不可 ●質量：0.7kg</div>				<div></div> <div>●LED（昼白色） ●本体：SGC t0.8 白 ●枠：PC 白 ●カバー：アクリル 乳白 ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：55W（100V）53W（200V）平均消費電力：47W ●器具光束：4,770lm 固有エネルギー消費効率：89.9lm/W ●寿命：40,000時間 ●相関色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：70 ●照光範囲：約5～100% 初期照度補正機能付 ●質量：2.3kg</div>				<div></div> <div>●LED（電球色） ●寸法：径φ110×高70 ●本体：アルミダイカスト 白 ●カバー：アルミダイカスト シルバー ●前面カバー：アクリル樹脂 乳白 ●定格電圧：AC100V ●消費電力：9.5W ●器具光束：450lm ●固有エネルギー消費効率：47.4lm/W ●相関色温度：2700K 平均演色評価数：（Ra）83 ●光源寿命：40,000時間 ●調光対応不可 ●質量：0.6kg</div>	
X	FL20Wx1 階段通路誘導灯（非常電源内蔵）	Y	LED非常照明（非常電源内蔵）	Z	ダウンライト（非常電源別置）				
<div></div> <div>階段通路誘導灯 Ra83 初期照度補正 本体：銅板 ライトグレー仕上 反射板：銅板 白色仕上 質量：6.5kg 光源寿命：40,000時間（光束維持率90%） 光束：1000lm 消費電力：16W 消費効率：62.5lm/W</div>		<div></div> <div>LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 非常灯評定番号：D-LALH-41 レンズ：ガラス、カバー：銅板：クールホワイトつや消し仕上 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売）</div>		<div></div> <div>非常時1L20W点灯</div>					

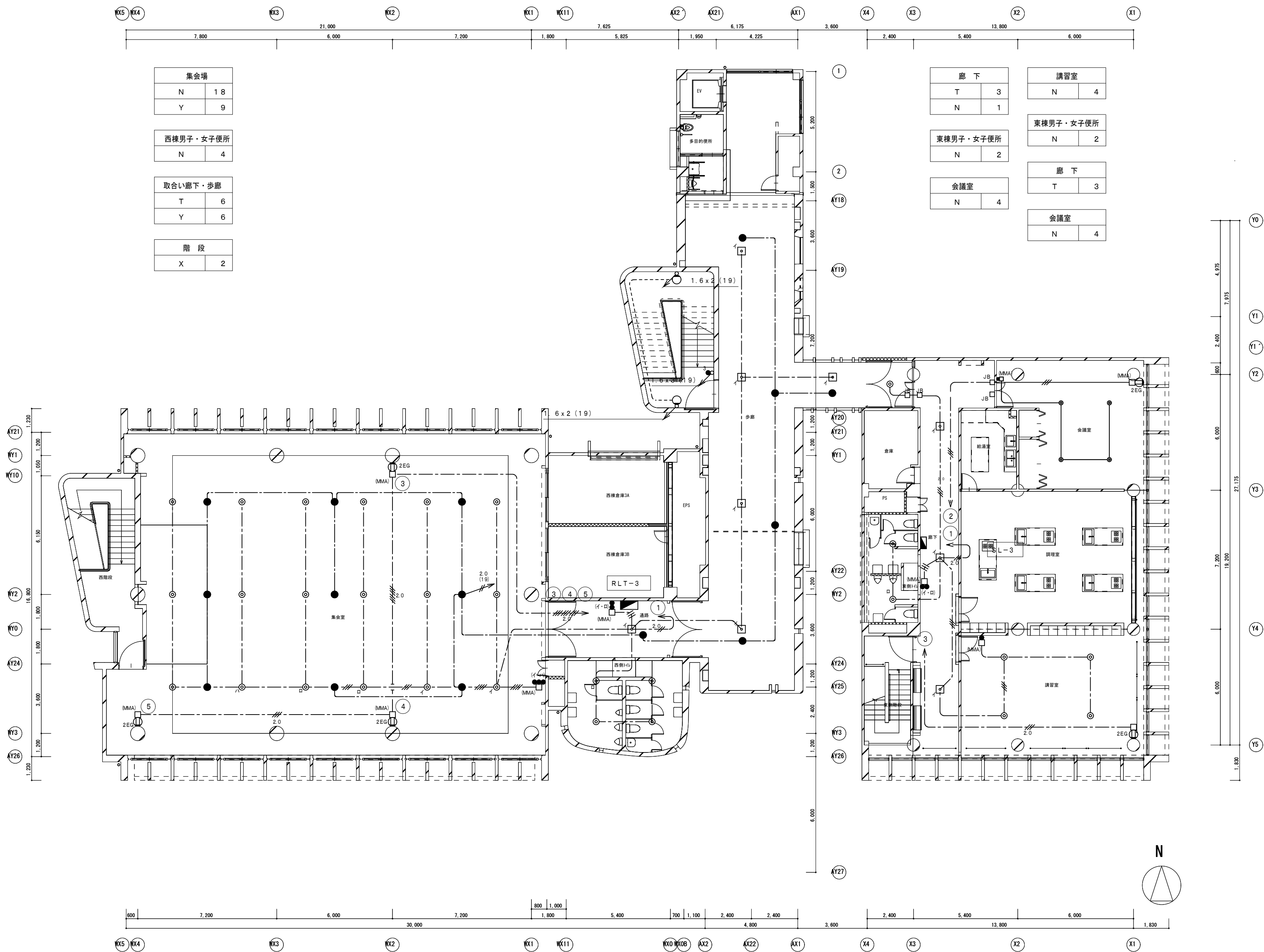


地階非常照明設備図(改修前) 1:150

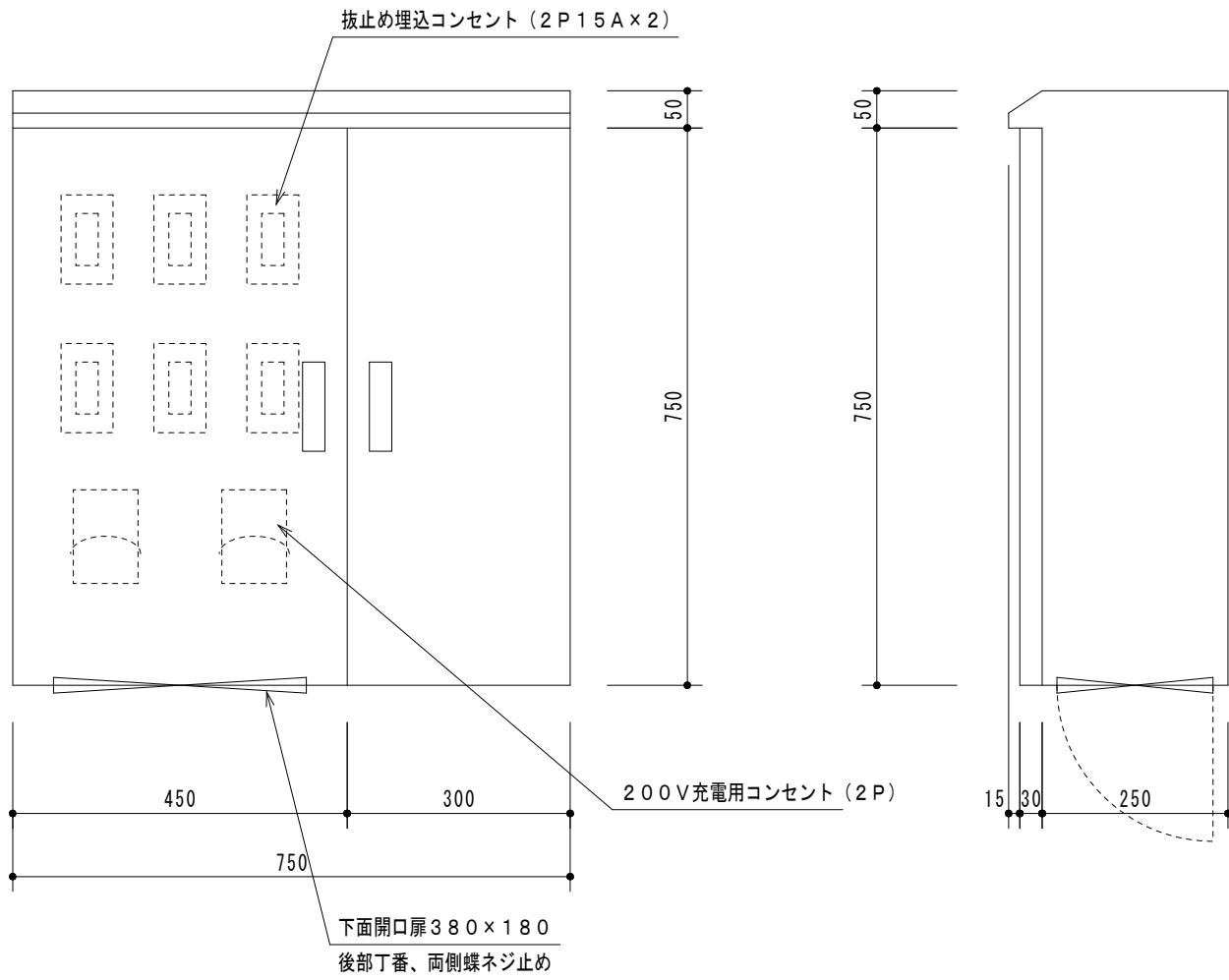
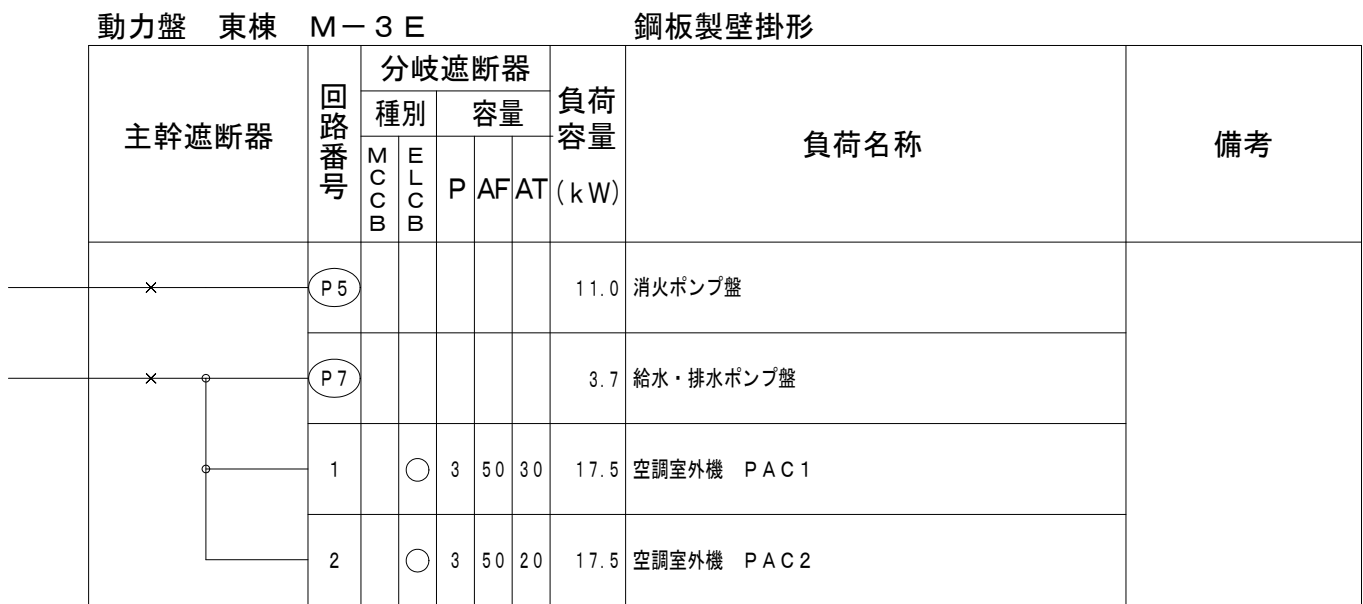
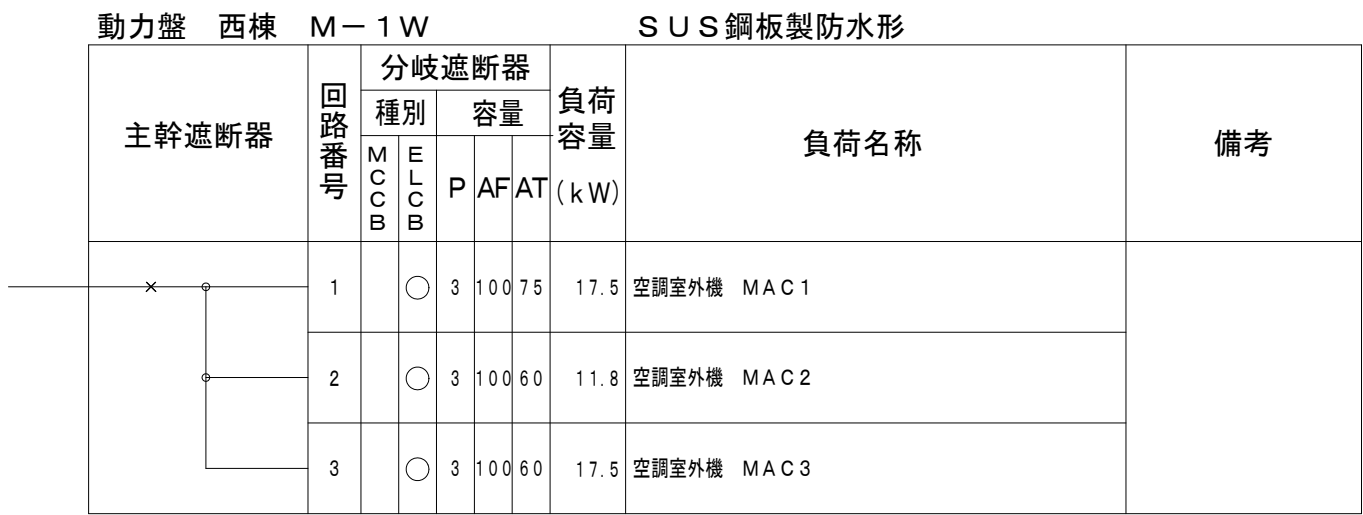


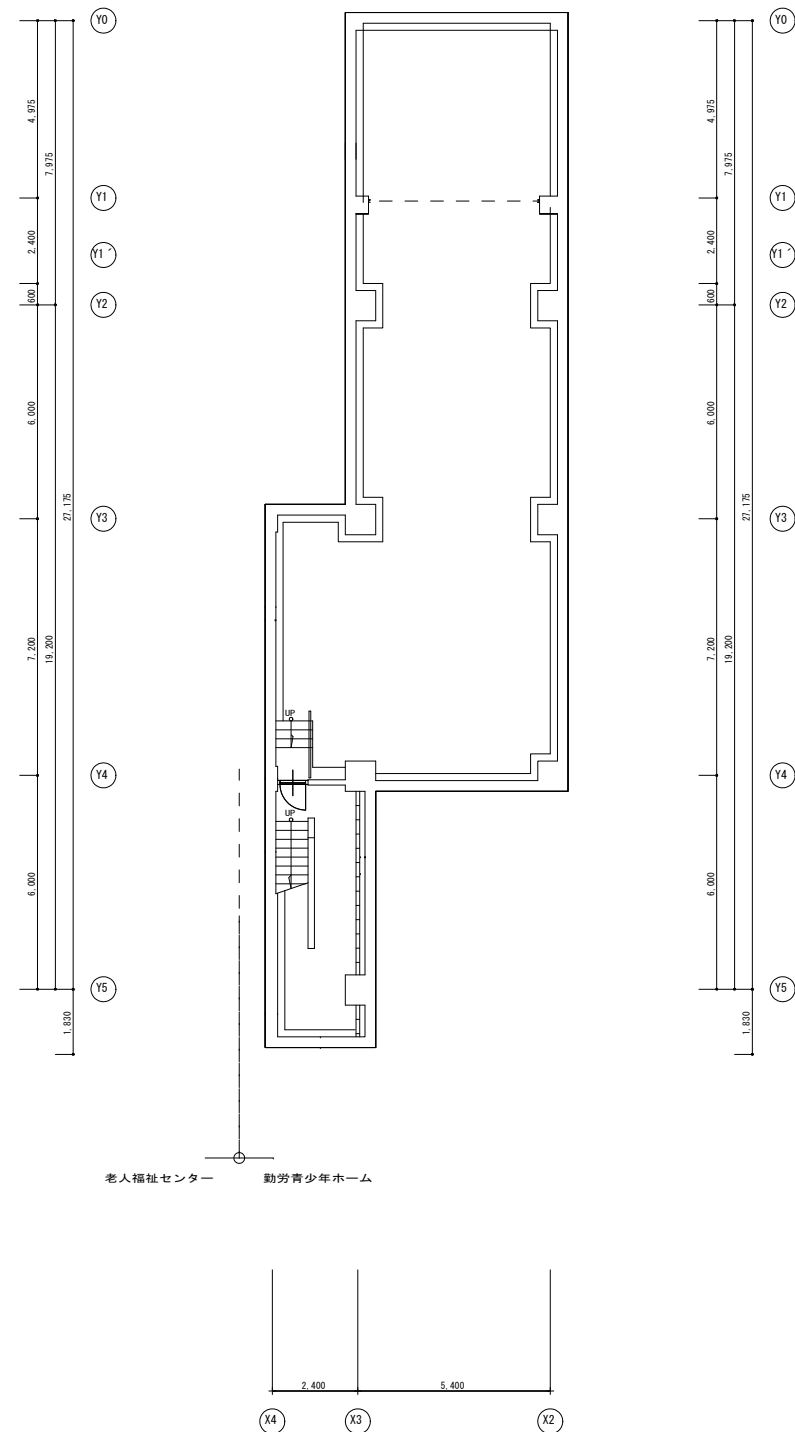


2階非常照明設備図 (改修前) 1:150



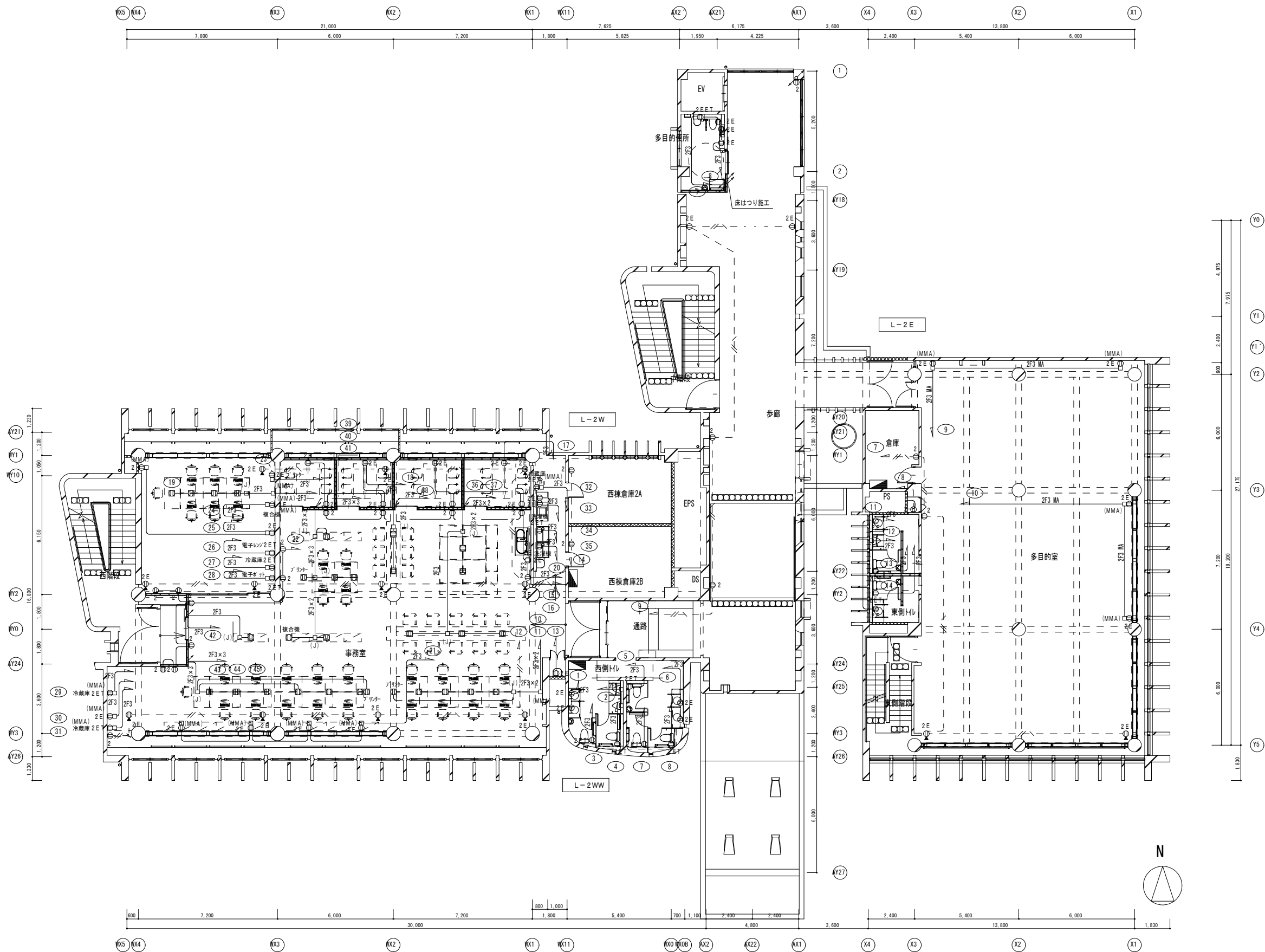
3階非常照明設備図(改修前) 1:150



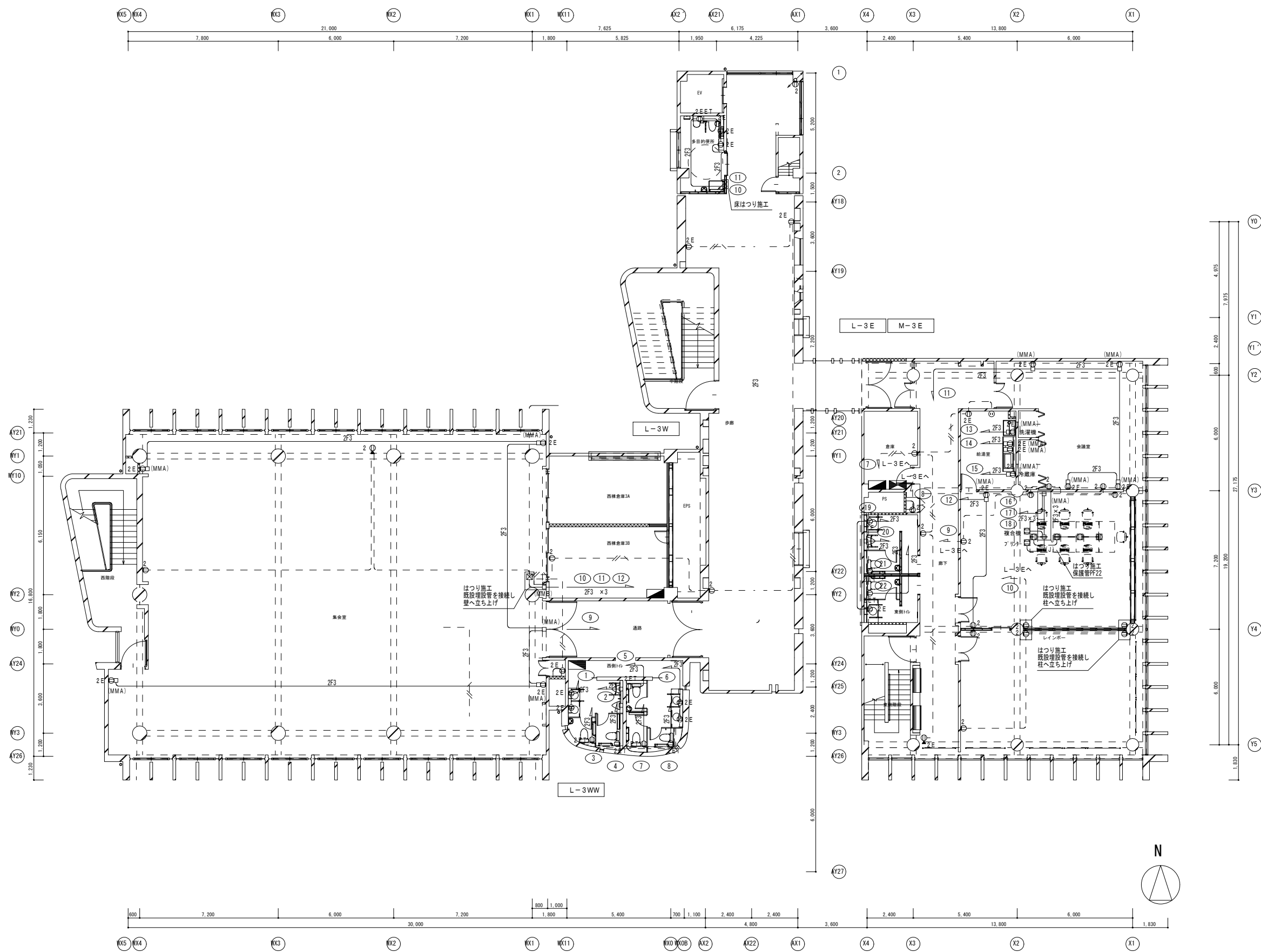


1階コンセント設備図(改修後) 1:150

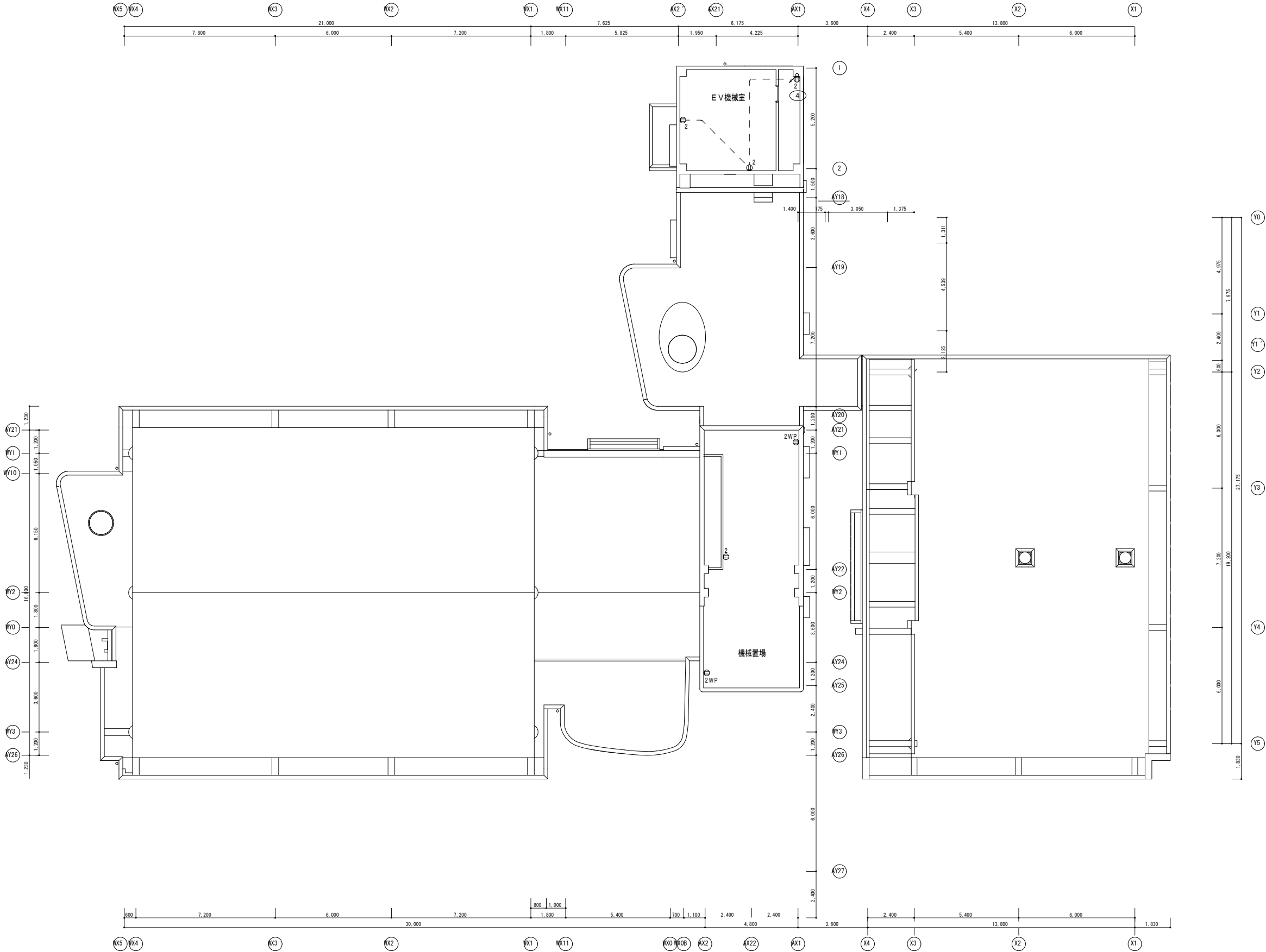
地階コンセント設備図(改修後) 1:150



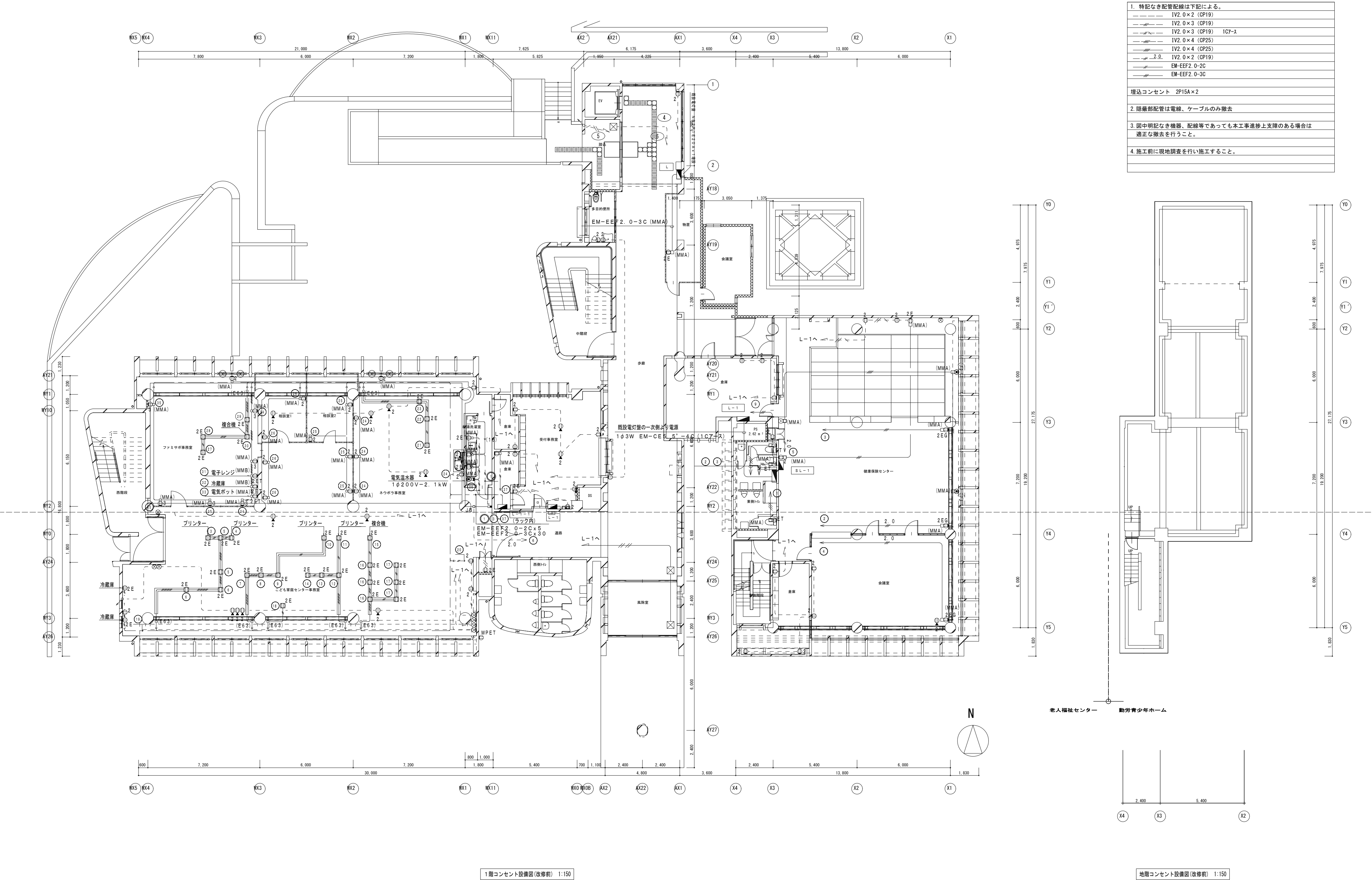
2階コンセント設備図(改修後) 1:150



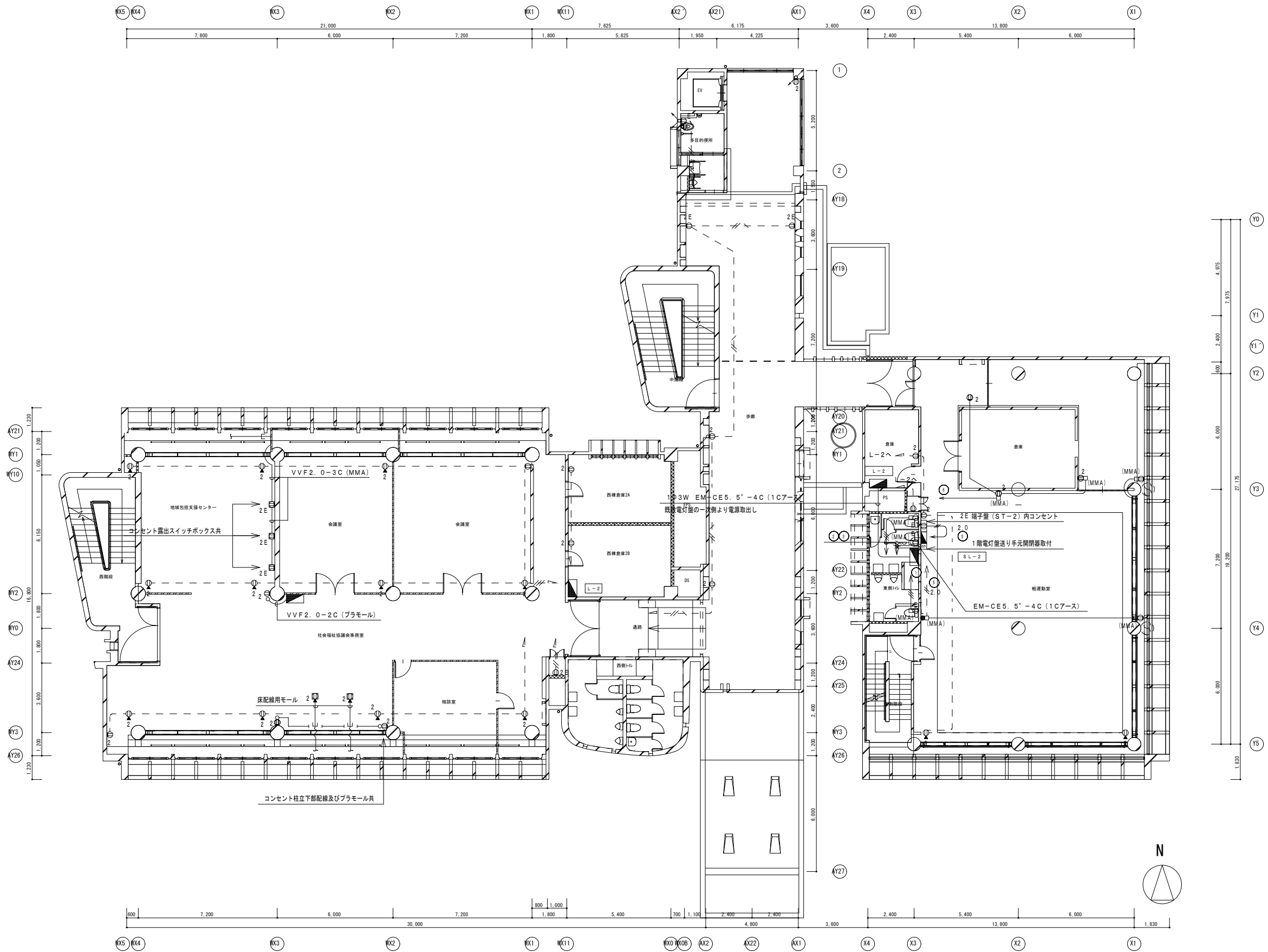
3階コンセント設備図(改修後) 1:150



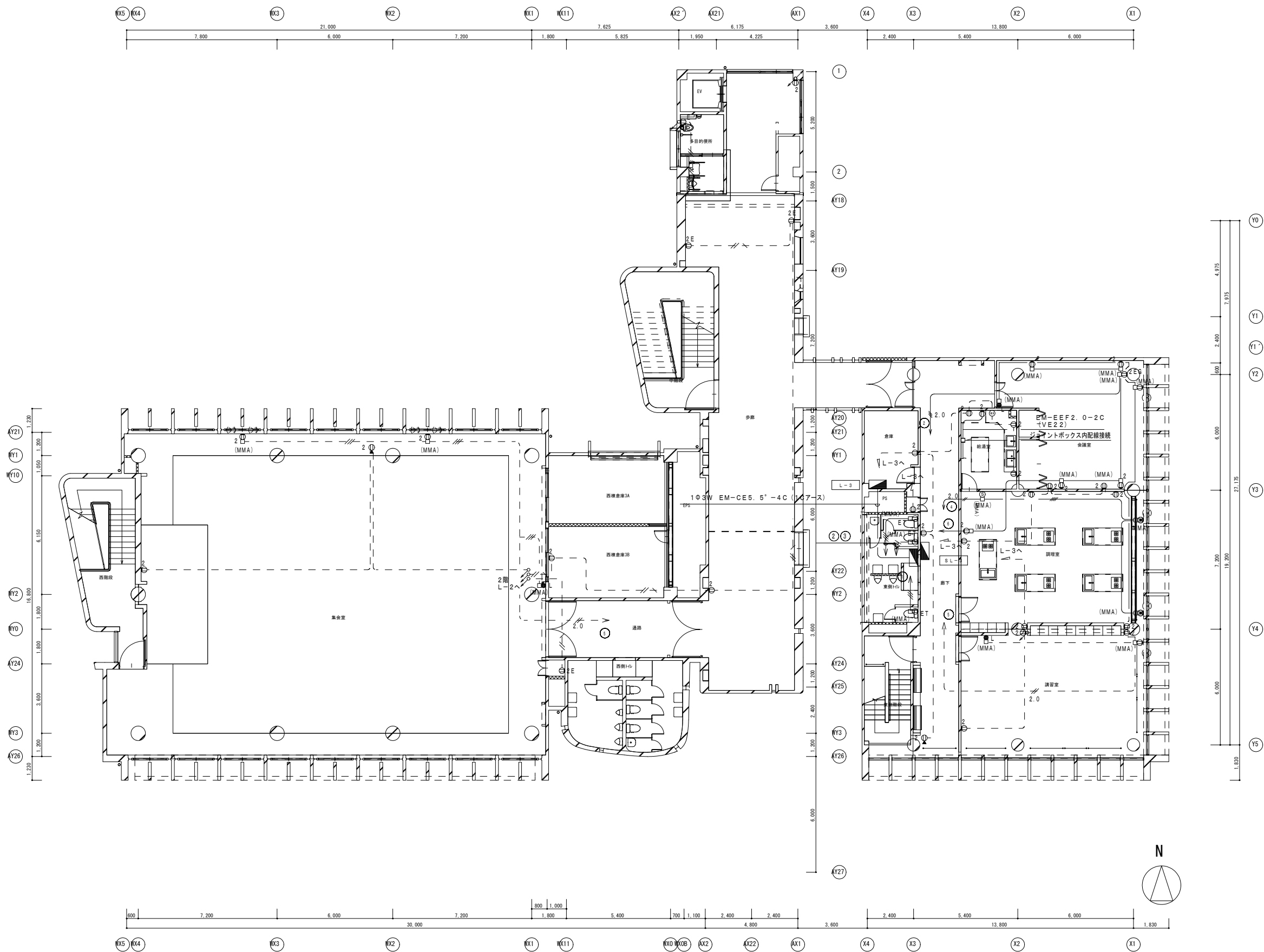
R階コンセント設備図 (改修後) 1:150



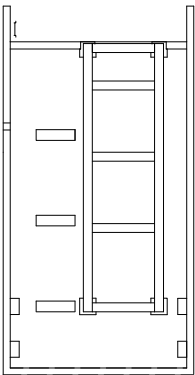
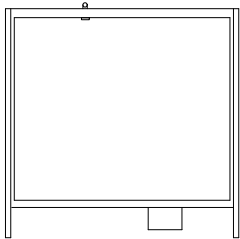
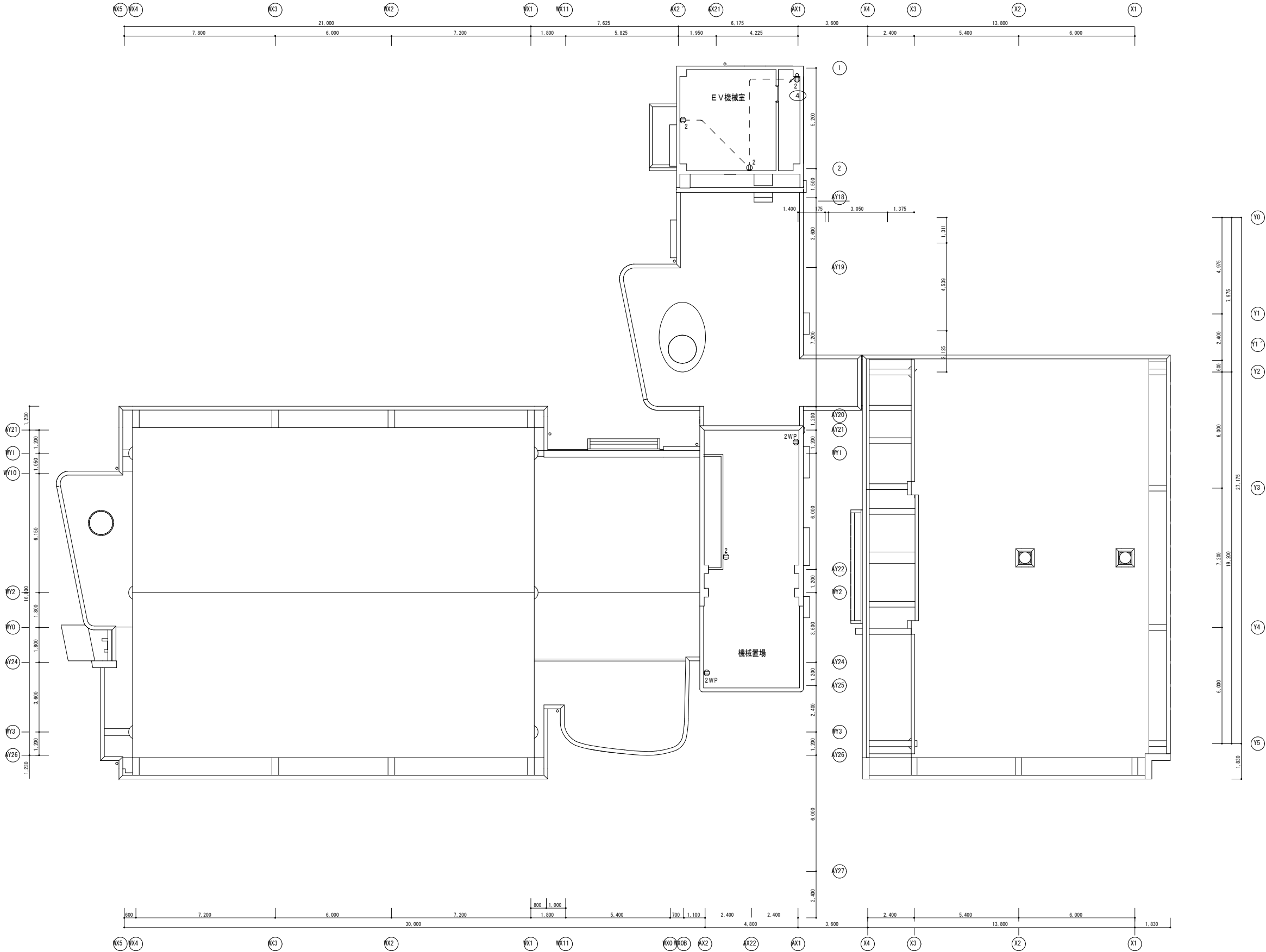
1. 特記なき配管配線は下記による。
----- IV2.0×2 (CP19)
----- IV2.0×3 (CP19)
----- IV2.0×3 (CP19) 1C7-ス
----- IV2.0×4 (CP25)
----- IV2.0×2 (CP19)
----- 2.0 IV2.0×2 (CP19)
----- EM-EEF2.0-2C
----- EM-EEF2.0-3C
埋込コンセント 2P15A×2
2. 隠蔽部配管は電線、ケーブルのみ撤去
3. 図中明記なき機器、配線等であっても本工事進捗上支障のある場合は適正な撤去を行うこと。
4. 施工前に現地調査を行い施工すること。



2階コンセント設備図 (改修前) 1:150

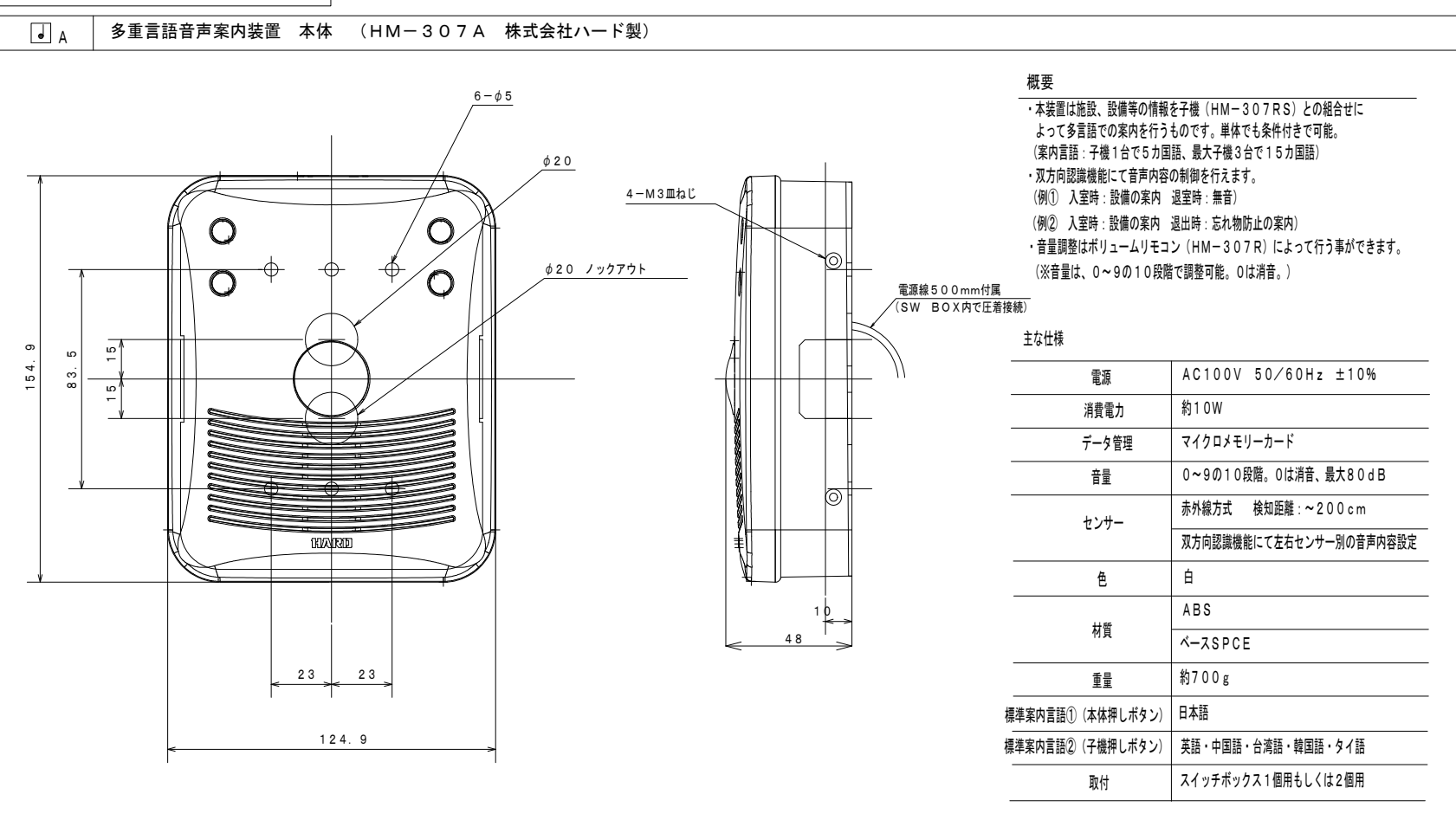


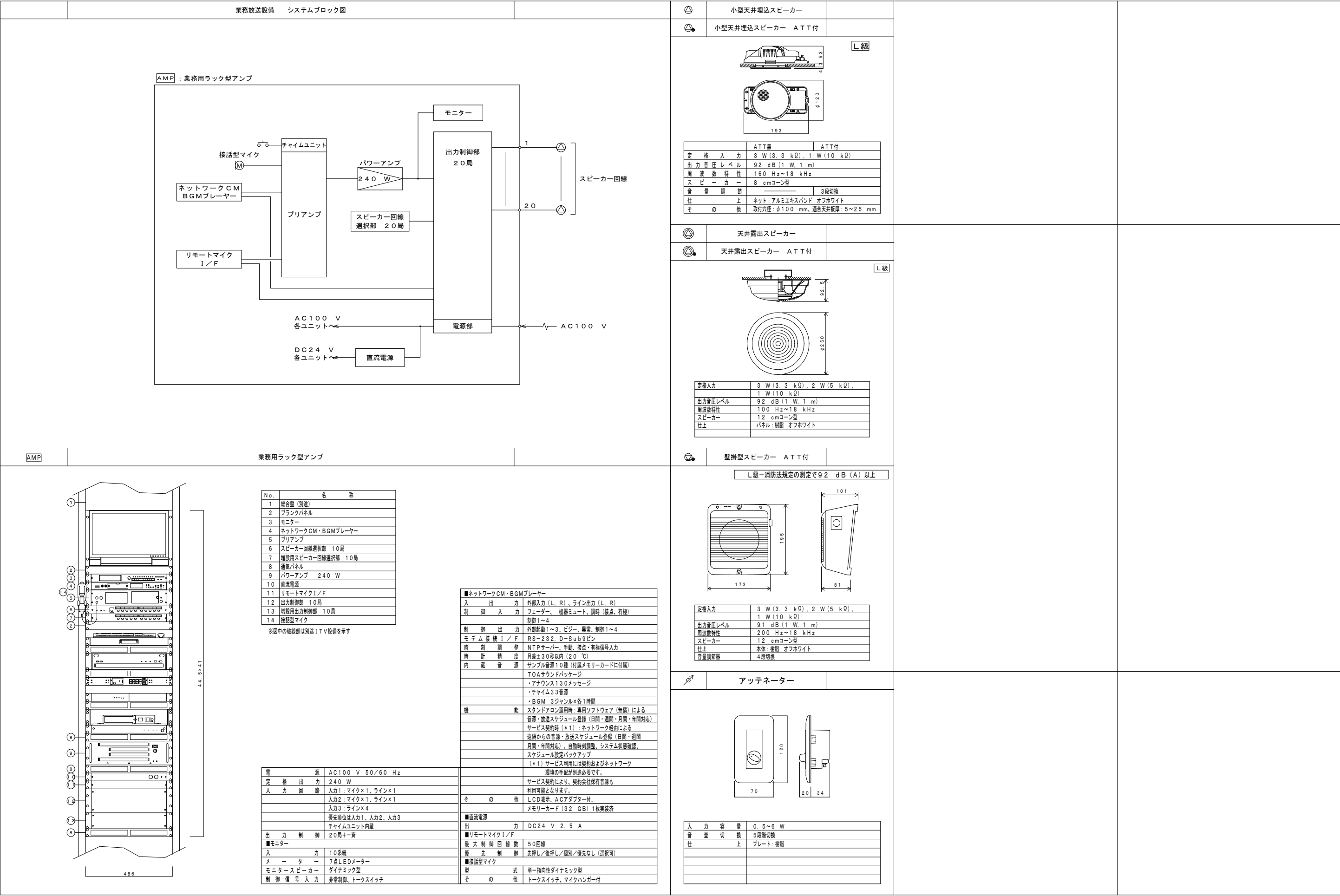
3階コンセント設備図 (改修前) 1:150

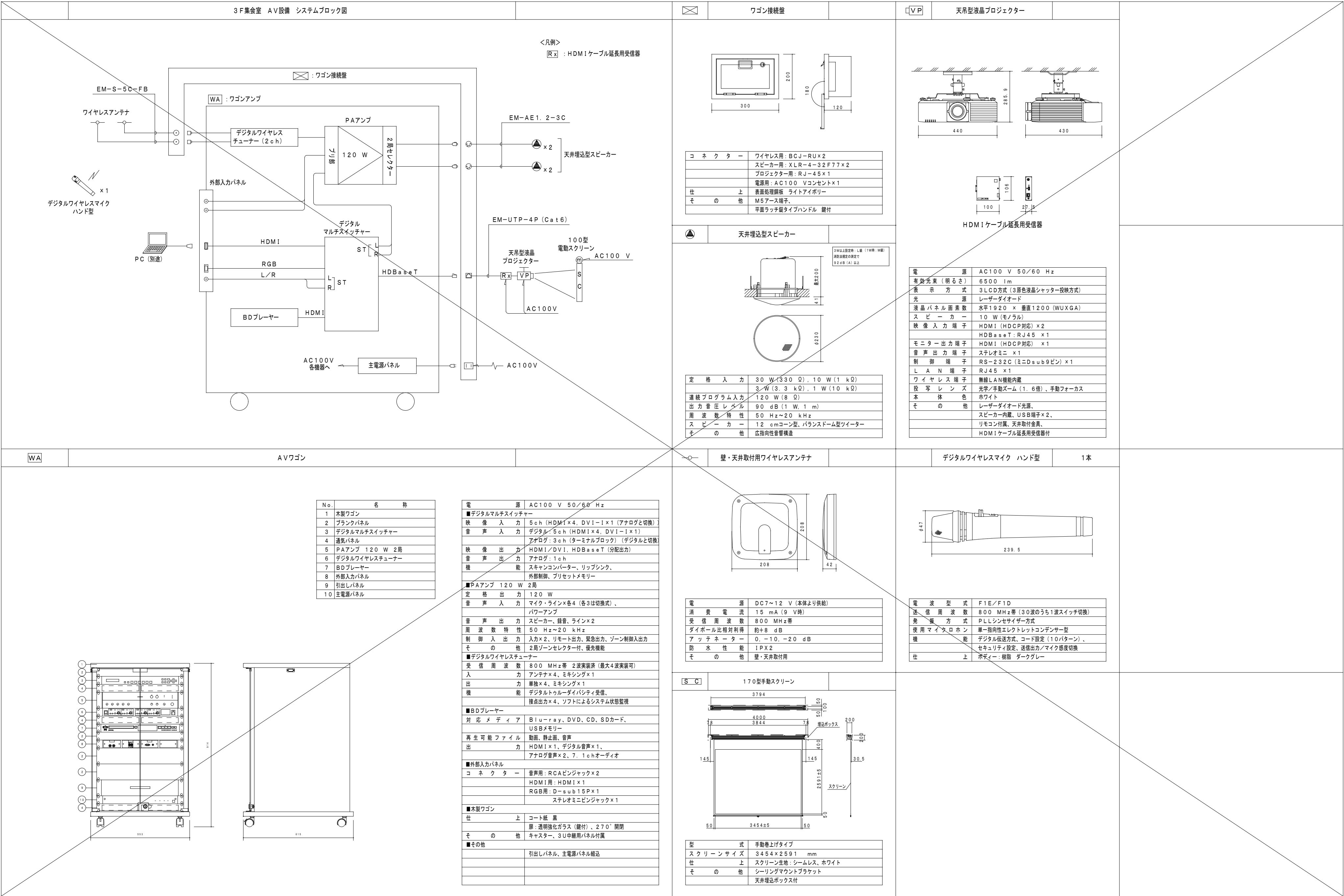


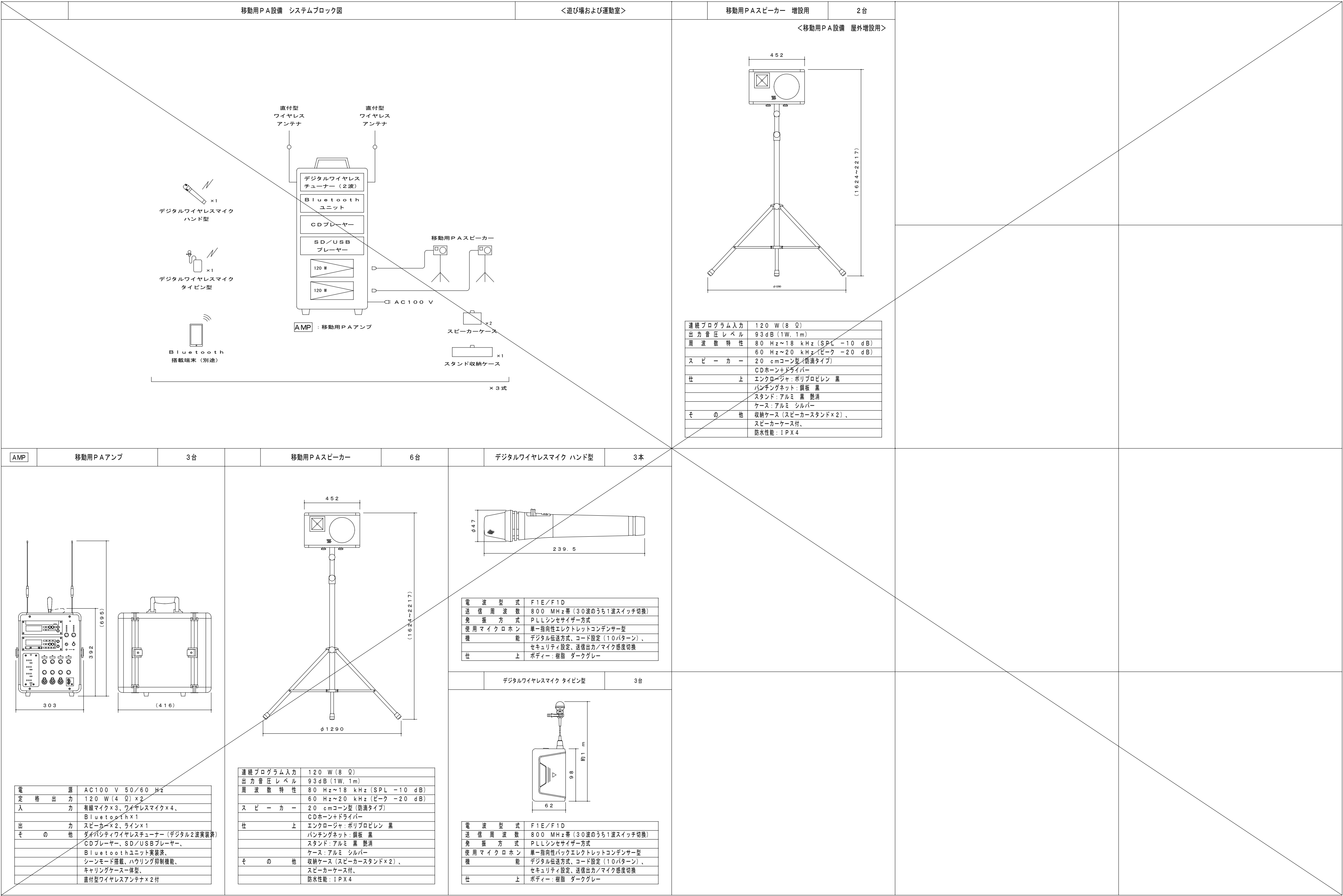
R階コンセント設備図 (改修前) 1:150

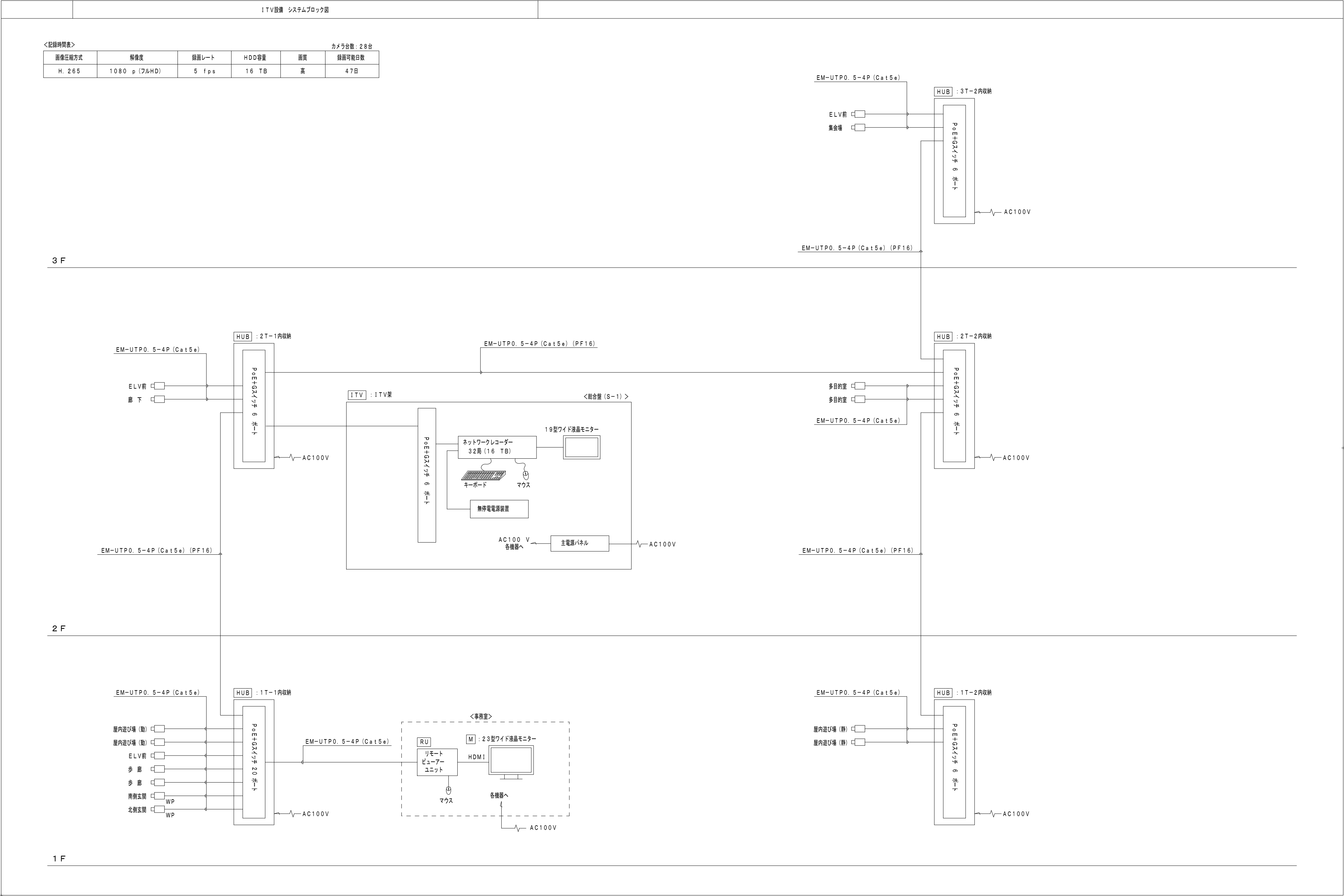
EV・トイレ音声案内呼出装置機器姿図





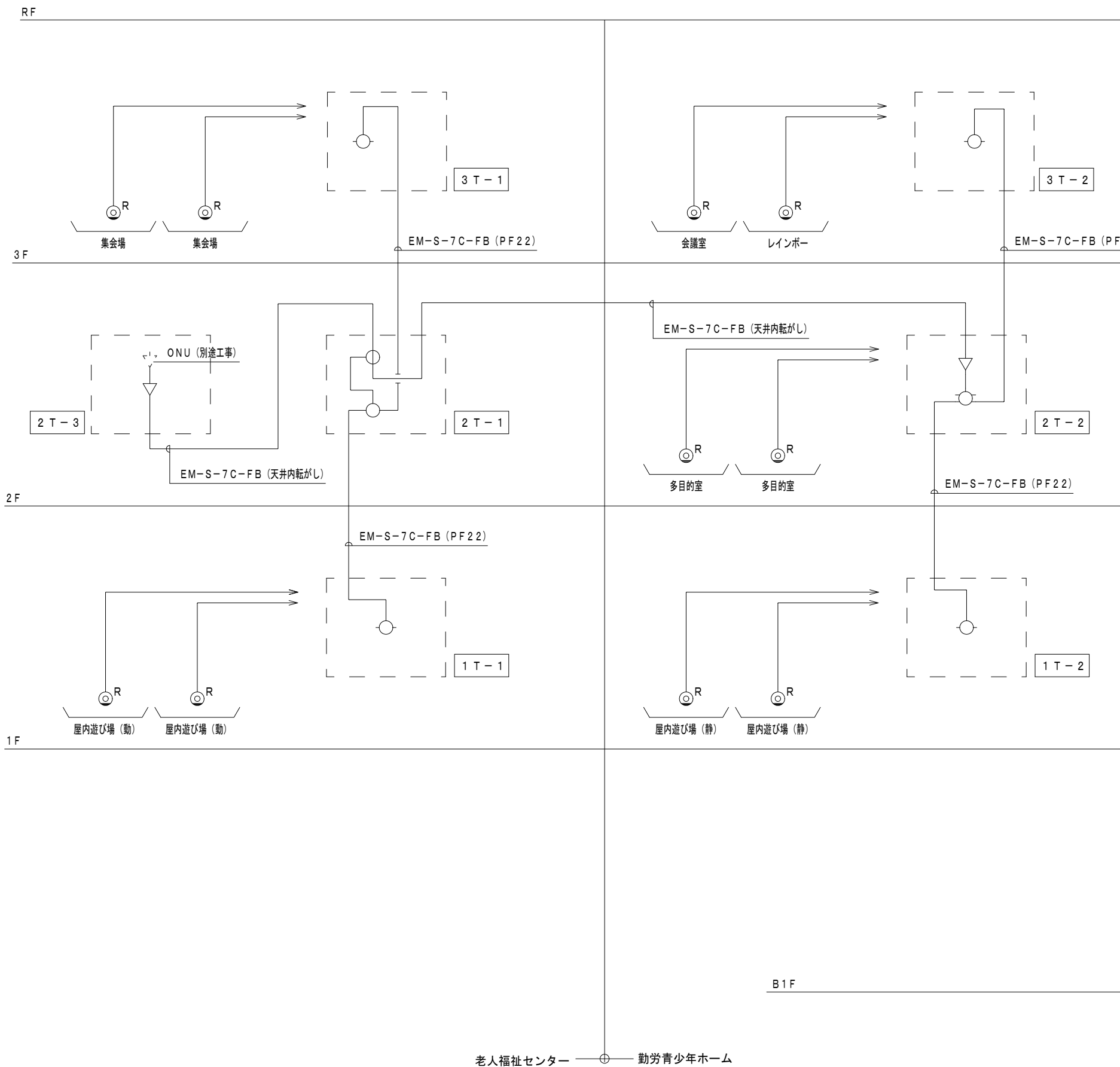






凡 例		
記 号	名 称	仕 様
▽	CATVブースター	CATV-1E
40dB		
分岐器		SH-C1
1分岐器		
分配器		SH-D2
2分配器		
分配器		SH-D4
4分配器		
直列ユニット		SH-7F
端末		

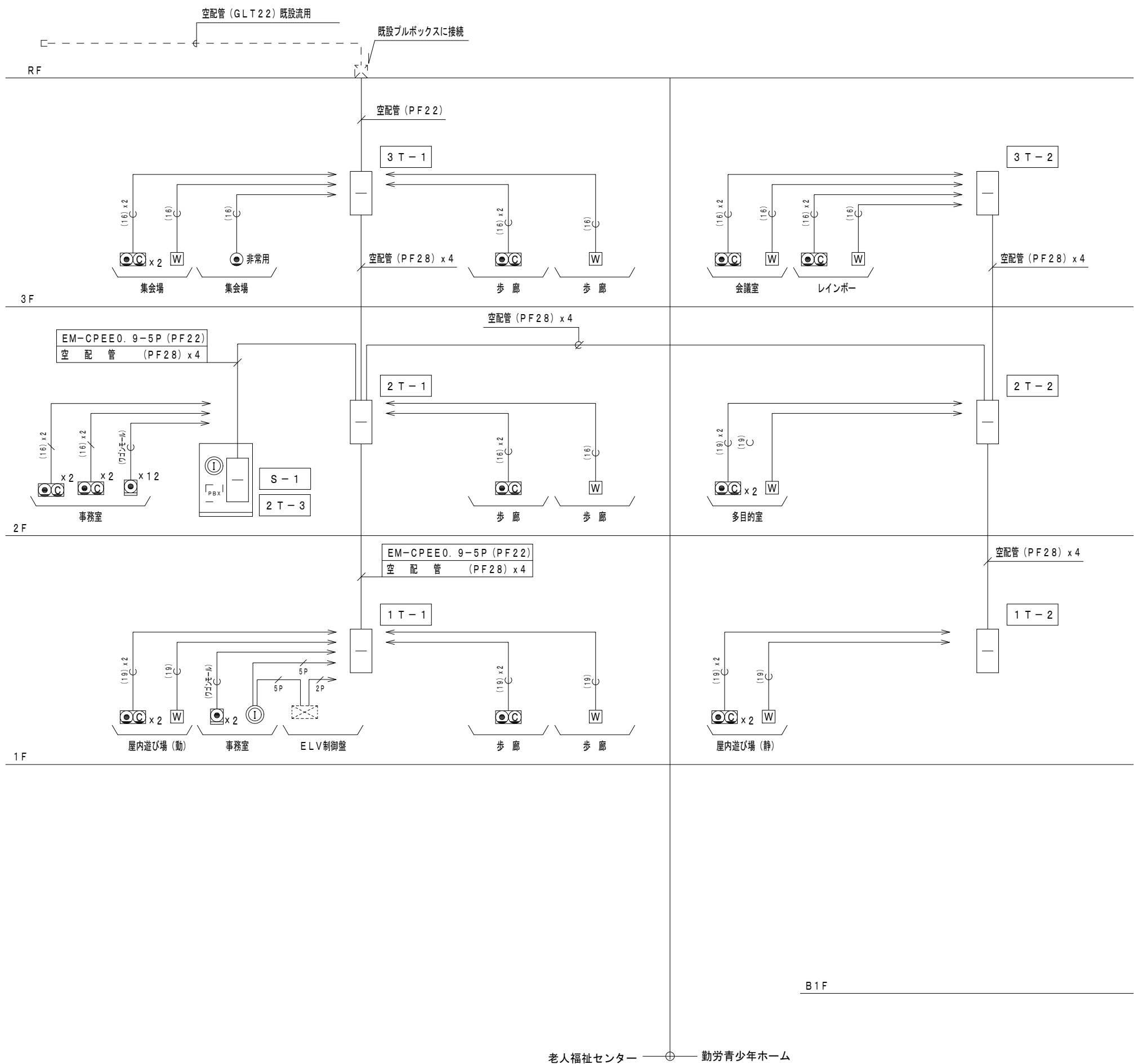
1・図中の表現は下記とする。
S-5C-FB (PF16)
S-7C-FB (PF22)
但し、二重天井内は転がし配線



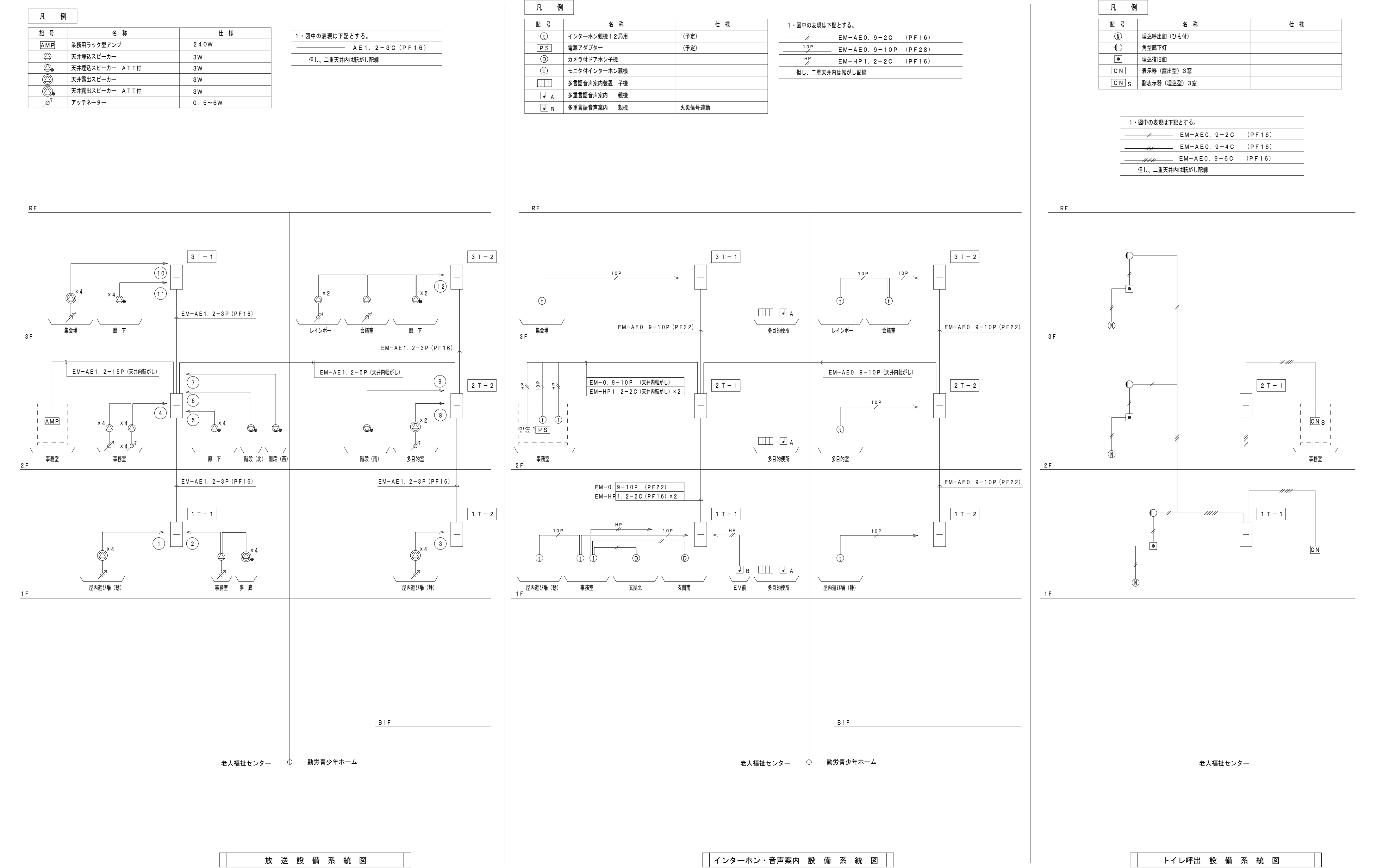
T V 共 聴 設 備 系 統 図

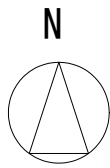
凡 例		
記 号	名 称	備 考
電話用アウトレット (6極4芯)		埋込型
情報用アウトレット (Cat5e)		埋込型
電話用アウトレット (6極4芯)		埋込型
Wifi		別途工事
ワゴンモール配線取出しボックス		DZM500KH (パナソニック参考品番)
電話主装置		既設品移設
ELVインターホン		ELV工事

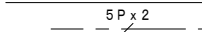
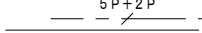


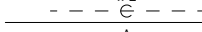


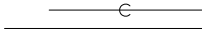
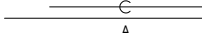


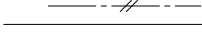

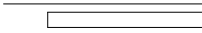

1・図中の表現は下記とする。
(16) 空 配 管 (PF16)
(16) x 2 空 配 管 (PF16) x 2
隠蔽配管
(19) 空 配 管 (E19)
(19) x 2 空 配 管 (E19) x 2
露出配管
(ワゴンモール) ワゴンモール 床配線
5P EM-CPEE0. 9-5P
2P EM-ET10. 4-2P

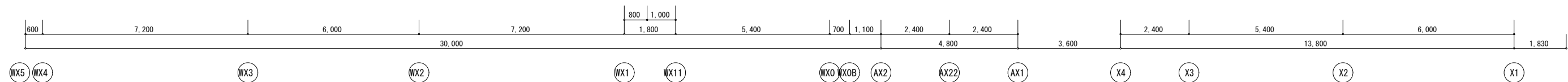
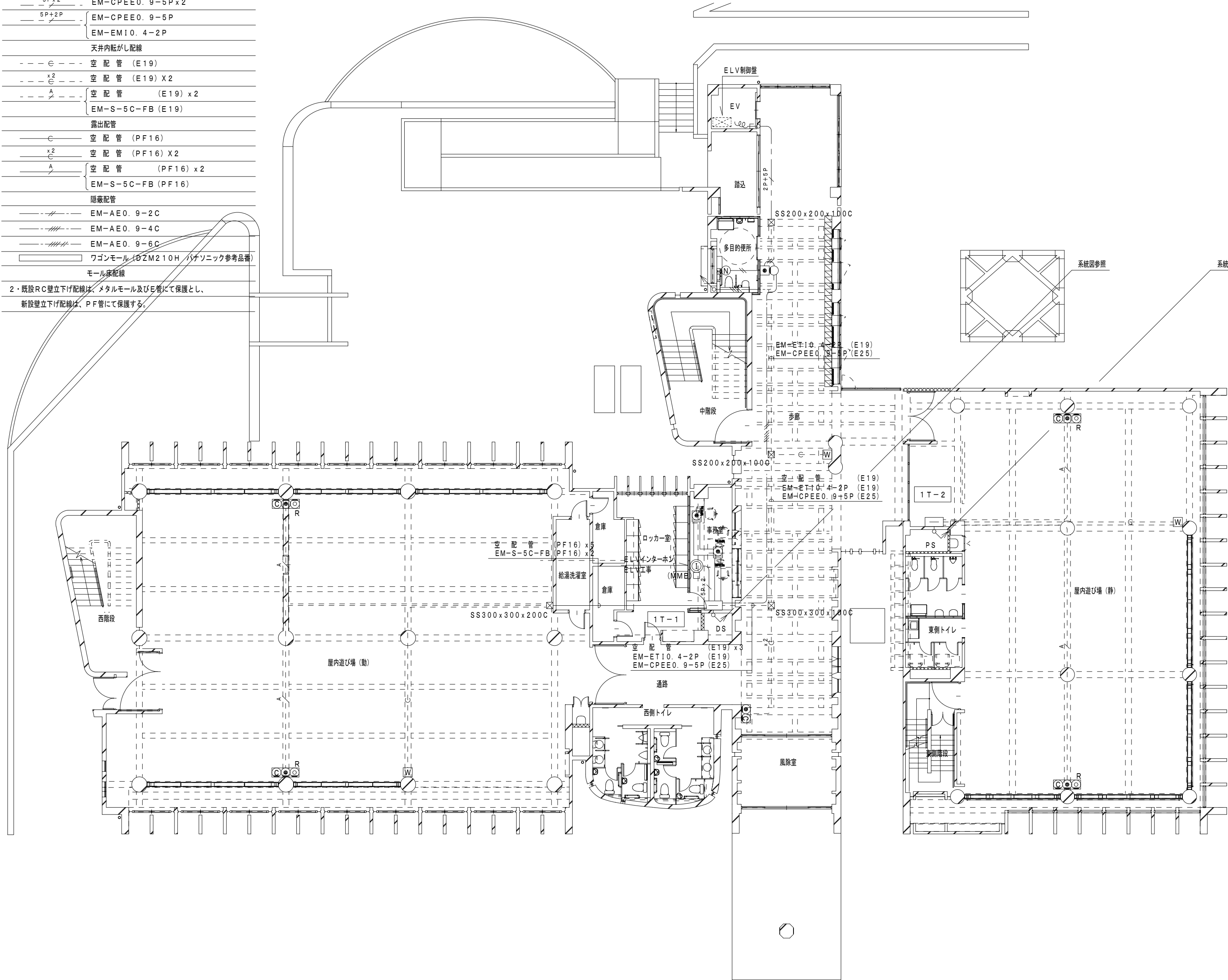


電 話 情 報 設 備 系 統 図

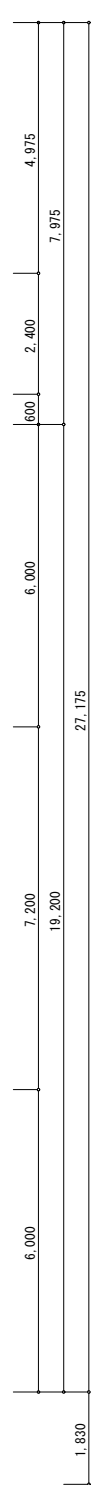




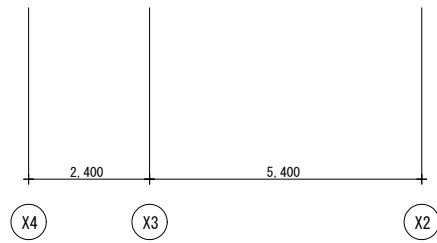
(特記事項)	
1・図中の表現は下記による	
	EM-CPEE0. 9-5P x 2
	EM-CPEE0. 9-5P
	EM-EMI0. 4-2P
天井内転がし配線	
	空 配 管 (E19)
	空 配 管 (E19) X2
	空 配 管 (E19) x 2
	EM-S-5C-FB (E19)
露出配管	
	空 配 管 (PF16)
	空 配 管 (PF16) X2
	空 配 管 (PF16) x 2
	EM-S-5C-FB (PF16)
隠蔽配管	
	EM-AE0. 9-2C
	EM-AE0. 9-4C
	EM-AE0. 9-6C
	ワゴンモール (BZM210H パナソニック参考品番)
モール内配線	
2・既設RC壁立下げ配線は、メタルモール及びF管にて保護とし、 新設壁立下げ配線は、PF管にて保護する。	



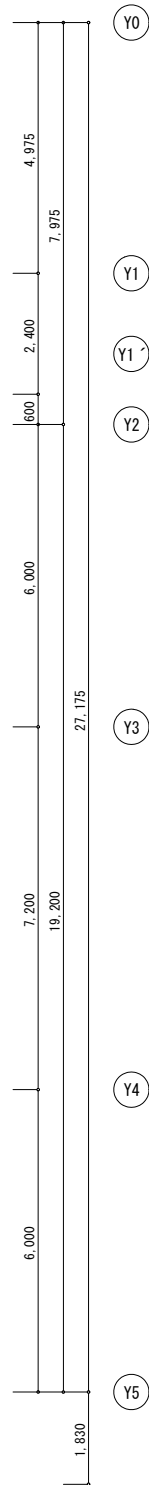
1階 電話情報・TV共聴設備図(改修後) 1:150

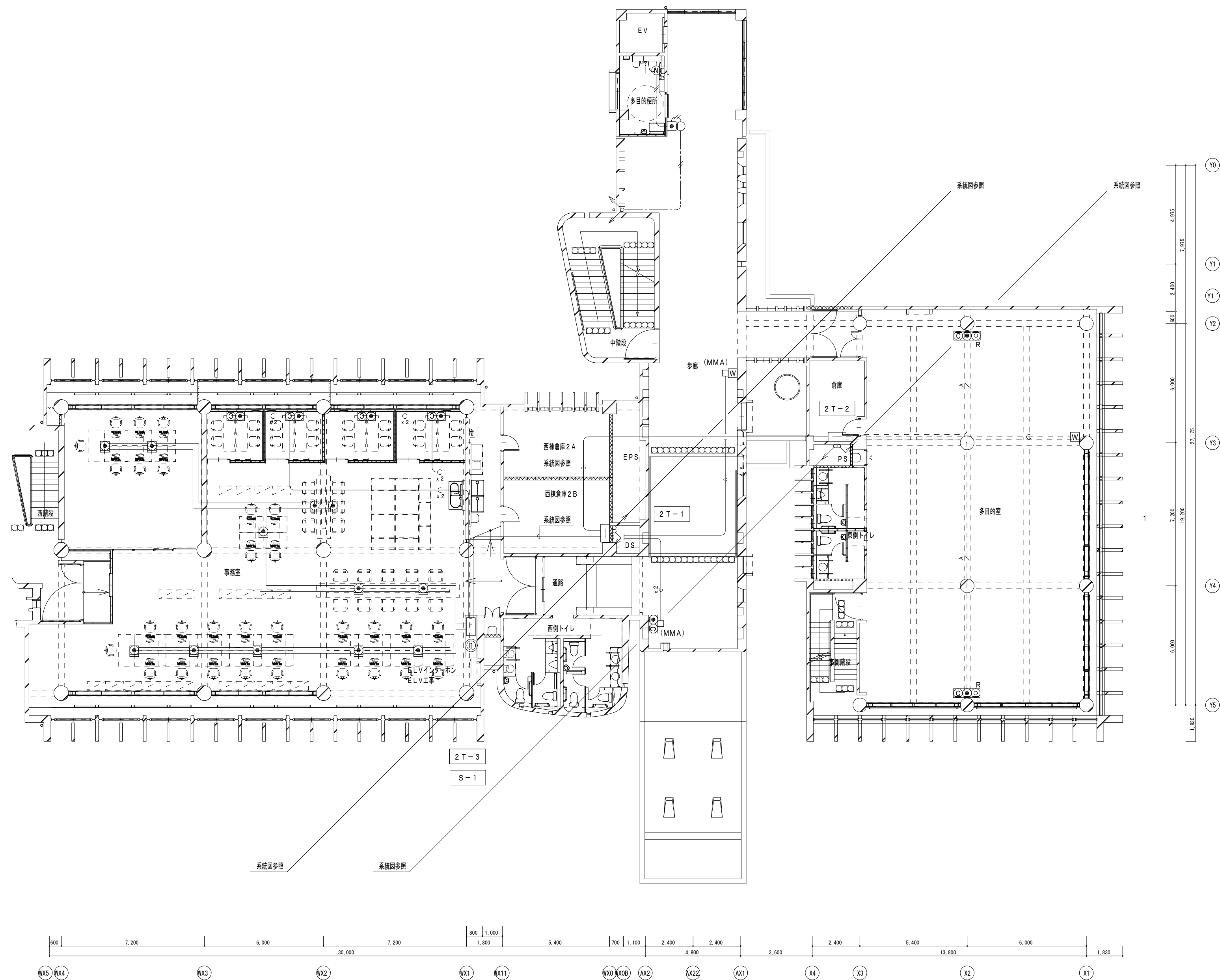


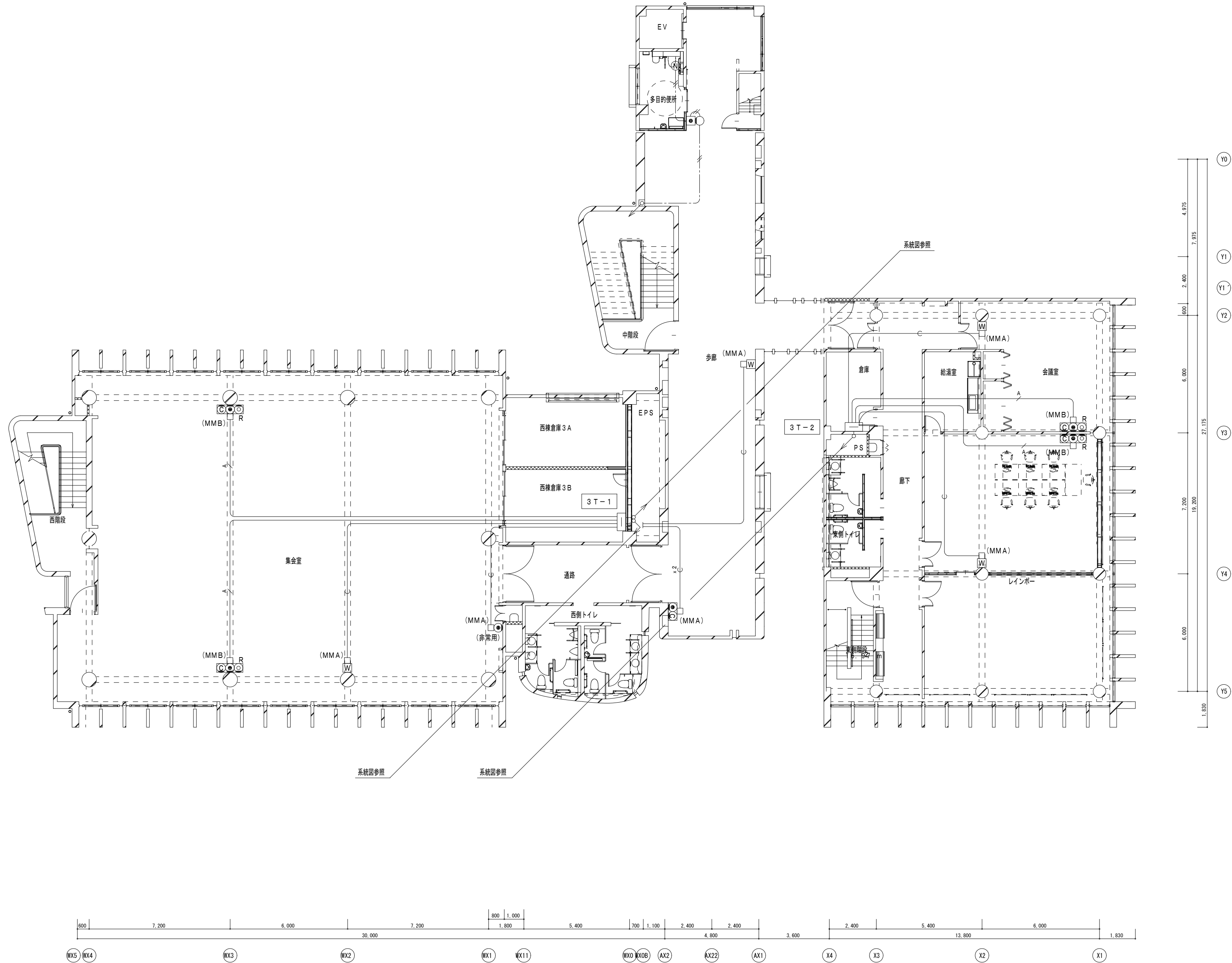
老人福祉センター 勤労青少年ホーム



B1階 電話情報・TV共聴設備図(改修後) 1:150

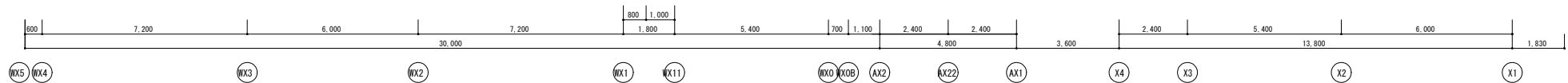
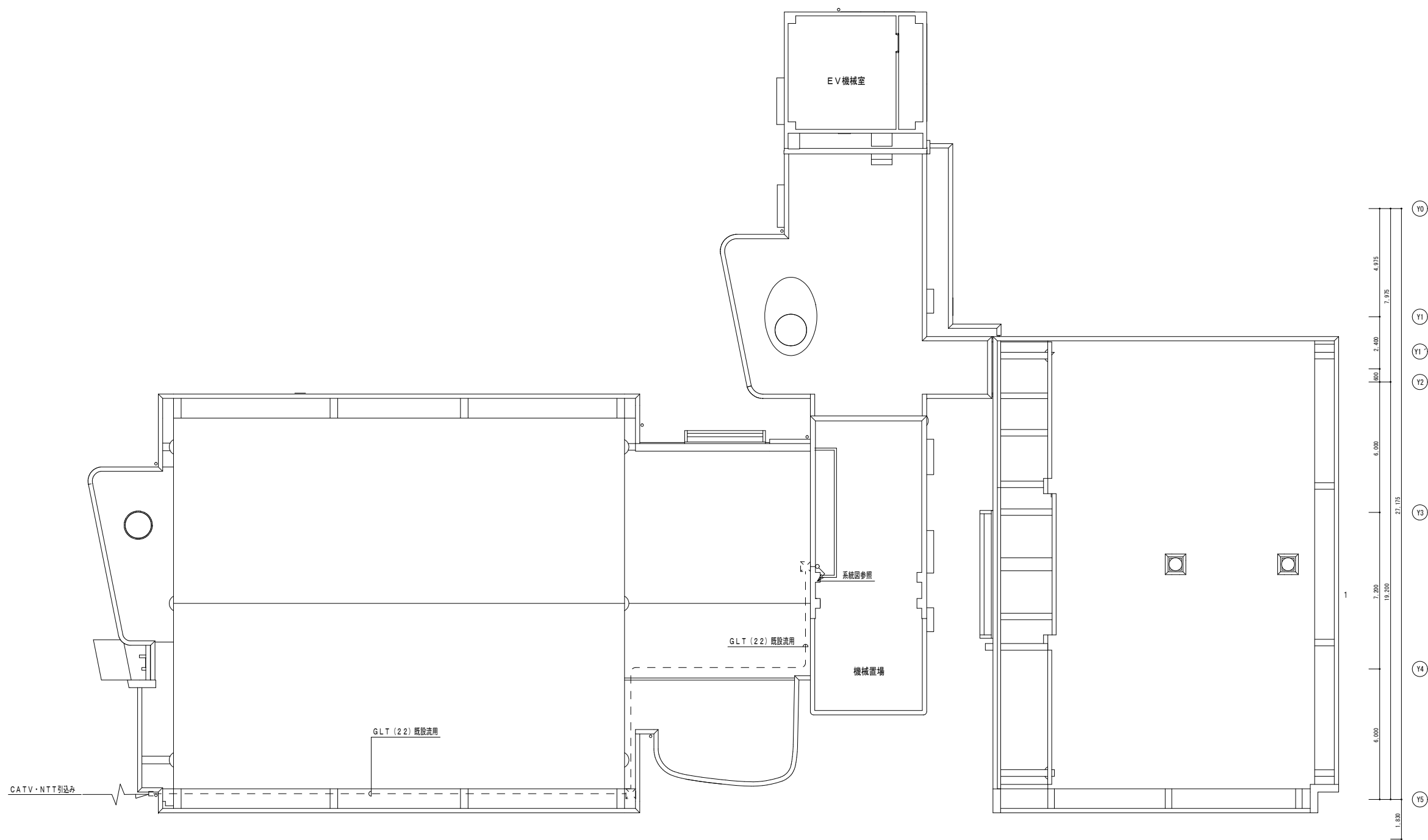




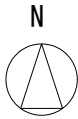


3階 電話情報・TV共聴設備図(改修後) 1:150

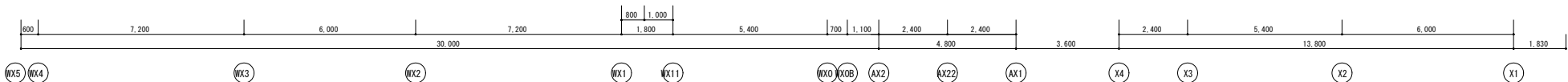
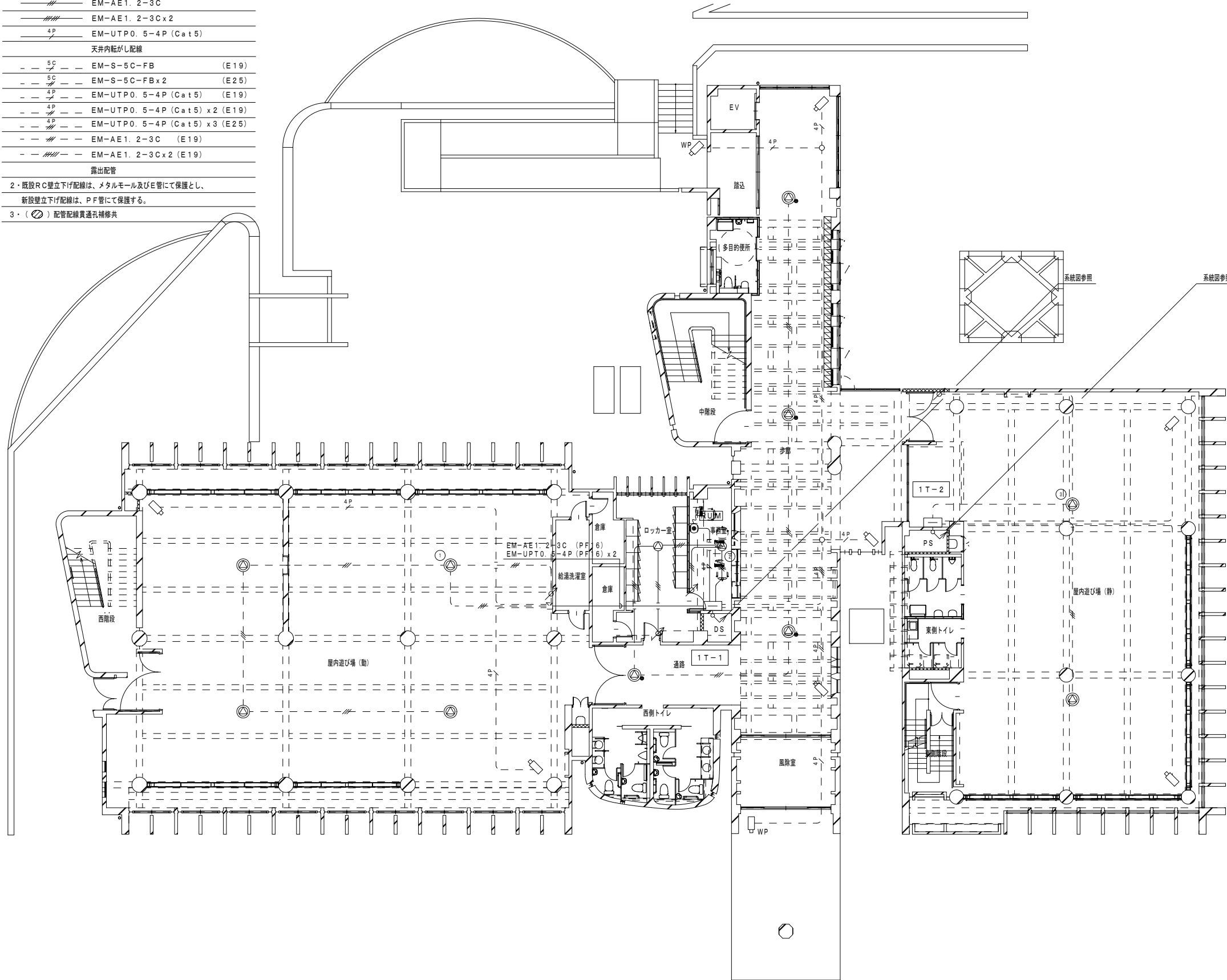
	設計 香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事	E-59
		一級建築士 第289714号 奥谷川祥久	date: 2025. 03	
			3 階 電話情報・T V 共聴設備図 (改修後) scale: A2 1:150 A3: 71% 縮小	



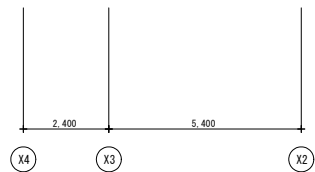
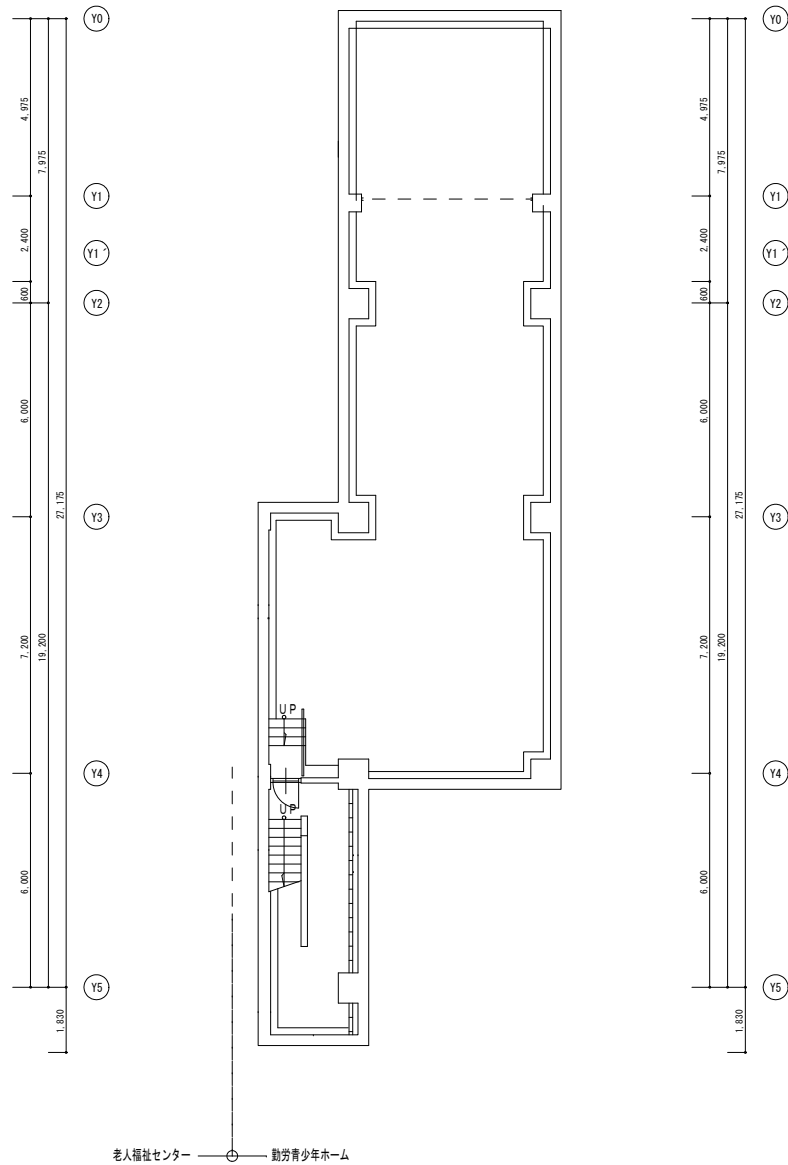
R階 電話情報・TV共聴設備図(改修後) 1:150



(特記事項)		
1・図中の表現は下記による		
	EM-AE1, 2-3C	
	EM-AE1, 2-3Cx2	
	EM-UTP0, 5-4P (Cat 5)	
天井内転がし配線		
	EM-S-5C-FB	(E19)
	EM-S-5C-FBx2	(E25)
	EM-UTP0, 5-4P (Cat 5)	(E19)
	EM-UTP0, 5-4P (Cat 5) x2	(E19)
	EM-UTP0, 5-4P (Cat 5) x3	(E25)
	EM-AE1, 2-3C	(E19)
	EM-AE1, 2-3Cx2	(E19)
露出配管		
2・既設RC壁立下げ配線は、メタルモール及びE管にて保護とし、 新設壁立下げ配線は、PF管にて保護する。		
3・() 配管配線貫通孔補修共		

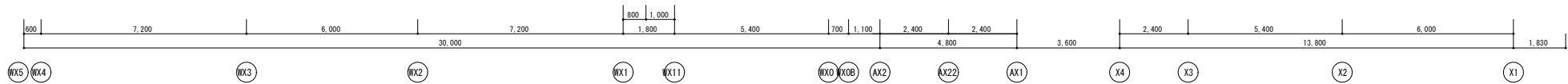
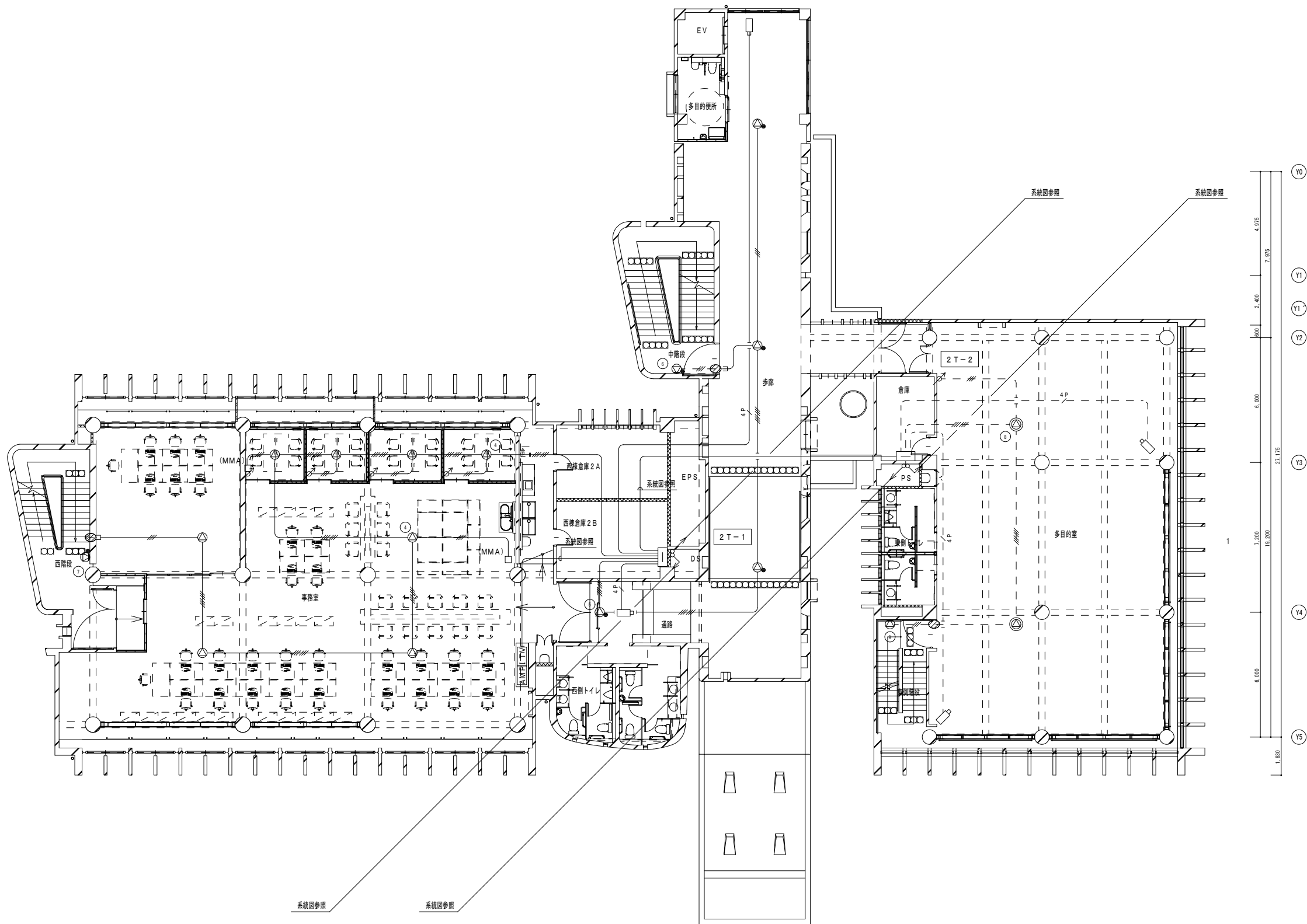
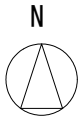


1階 放送・I T V設備図(改修後) 1:150

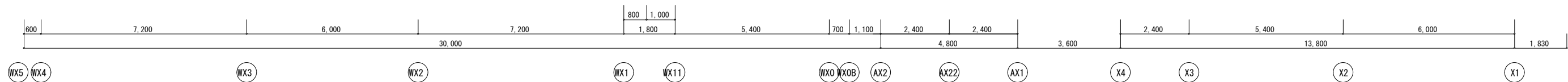
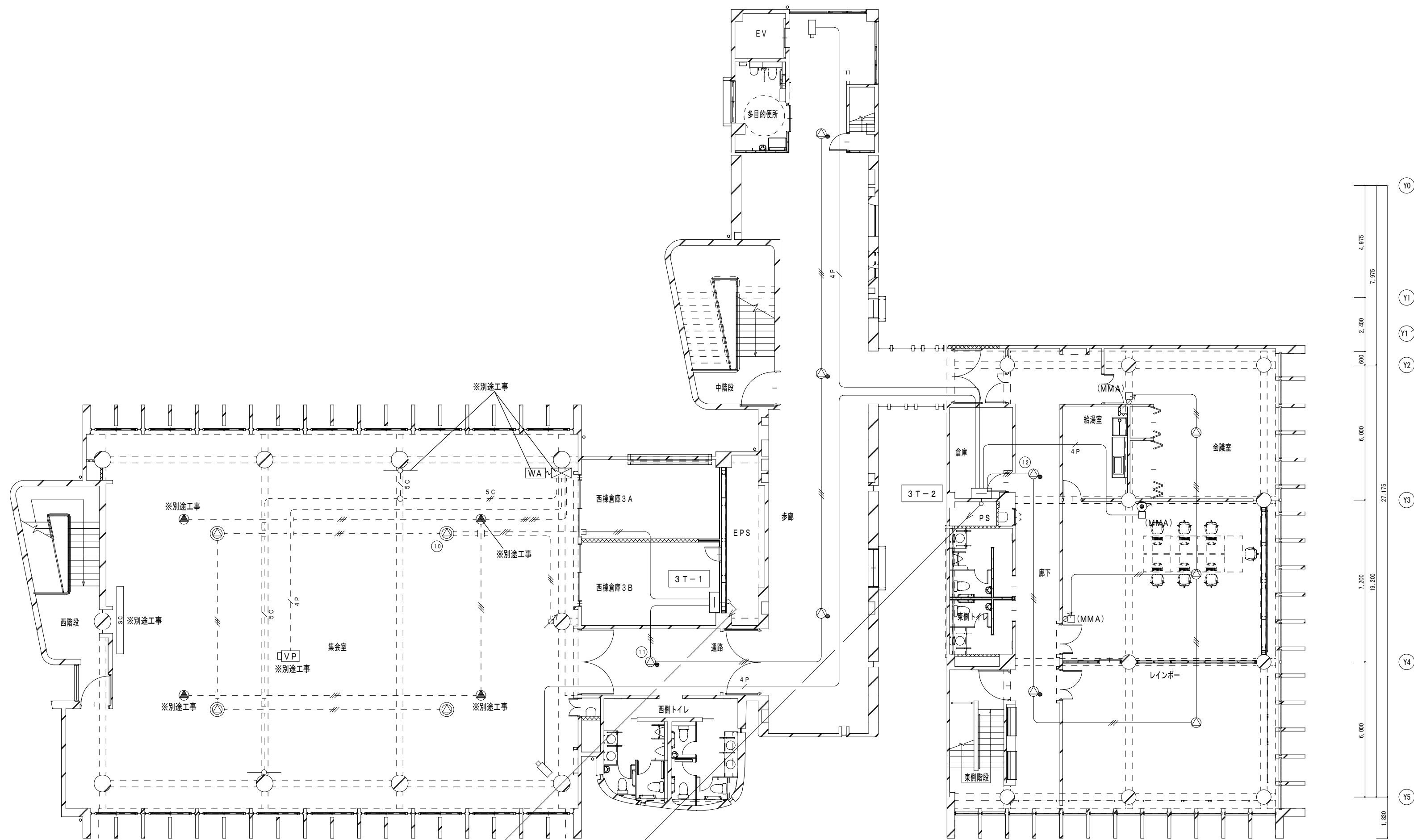
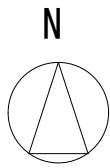


B 1階 放送・I T V設備図(改修後) 1:150

設計 香山・タニ設計業務共同企業体		一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事	E-61
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	地階・1階 放送・I T V設備図(改修後)	
			date:2025.03 scale: A2 1:150 A3:71% 縮小	

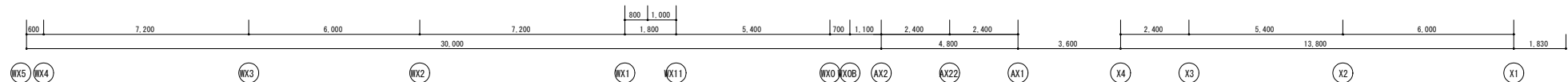
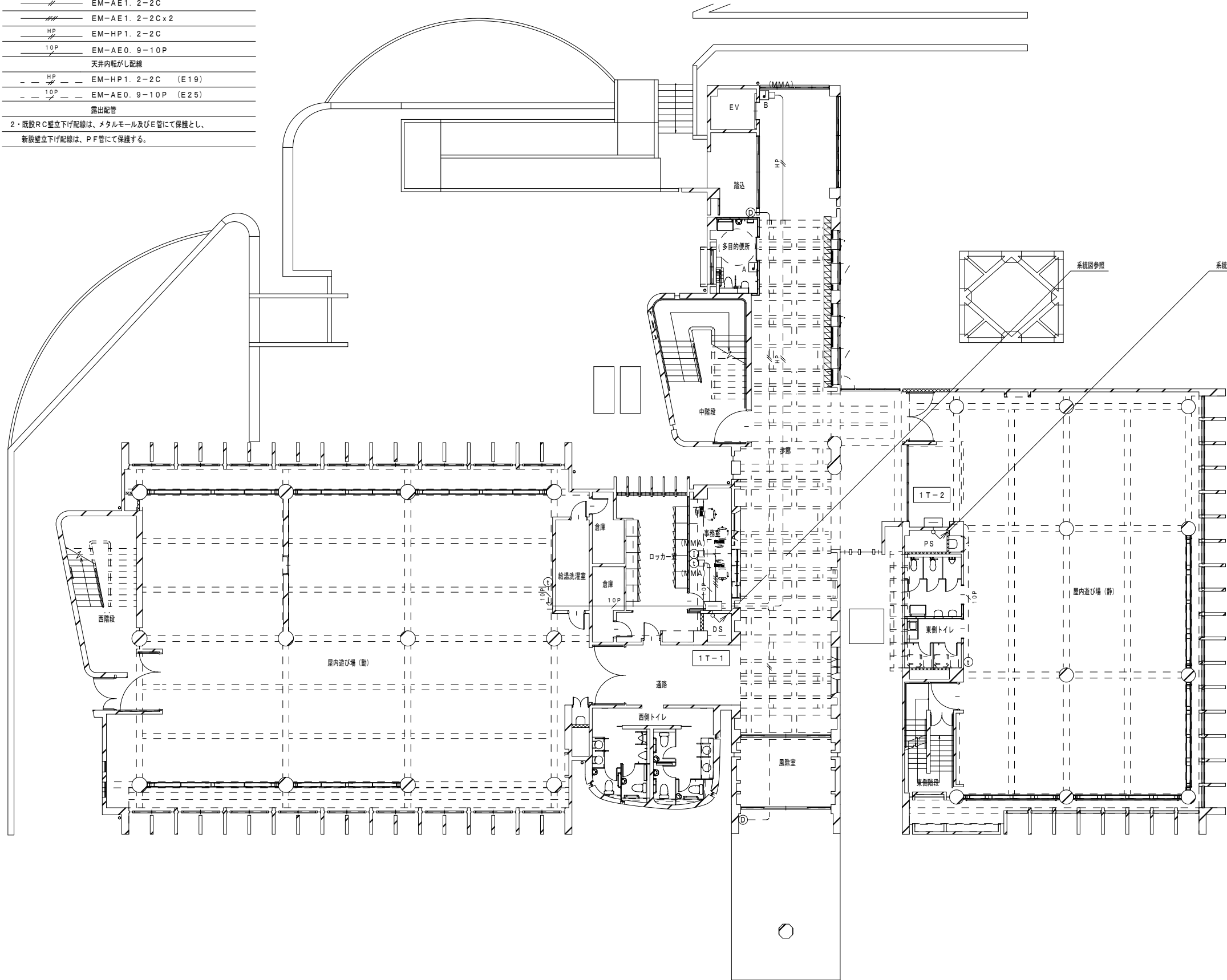


2階 放送・I T V設備図(改修後) 1:150



3階 放送・I T V設備図(改修後) 1:150

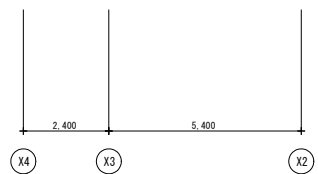
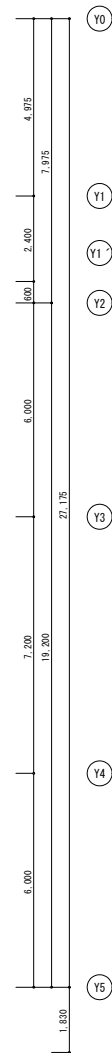
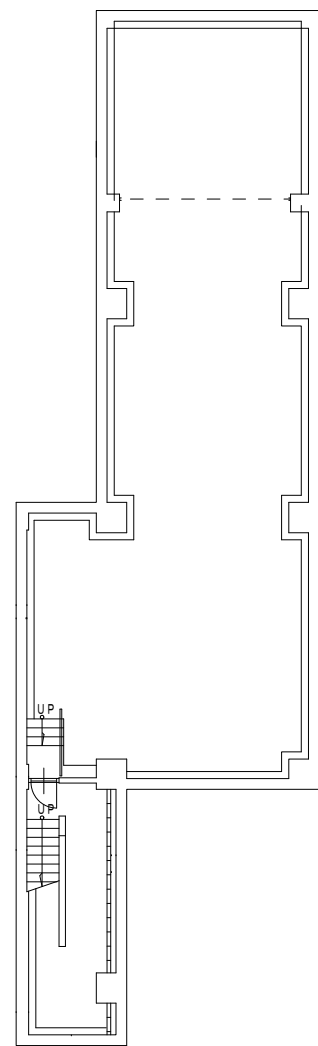
(特記事項)	
1・図中の表現は下記による	
	EM-AE1. 2-2C
	EM-AE1. 2-2Cx2
	EM-HP1. 2-2C
	EM-AE0. 9-10P
天井内転がし配線	
	EM-HP1. 2-2C (E19)
	EM-AE0. 9-10P (E25)
露出配管	
2・既設RC壁立下げ配線は、メタルモール及びE管にて保護とし、	
新設壁立下げ配線は、P.F管にて保護する。	



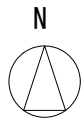
1階 放送・インターホン・音声案内聴設備図(改修後) 1:150



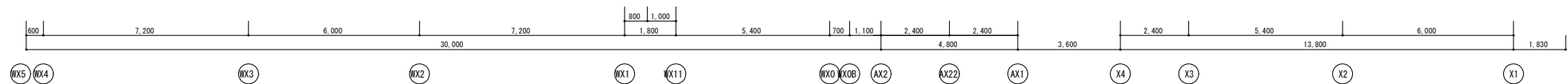
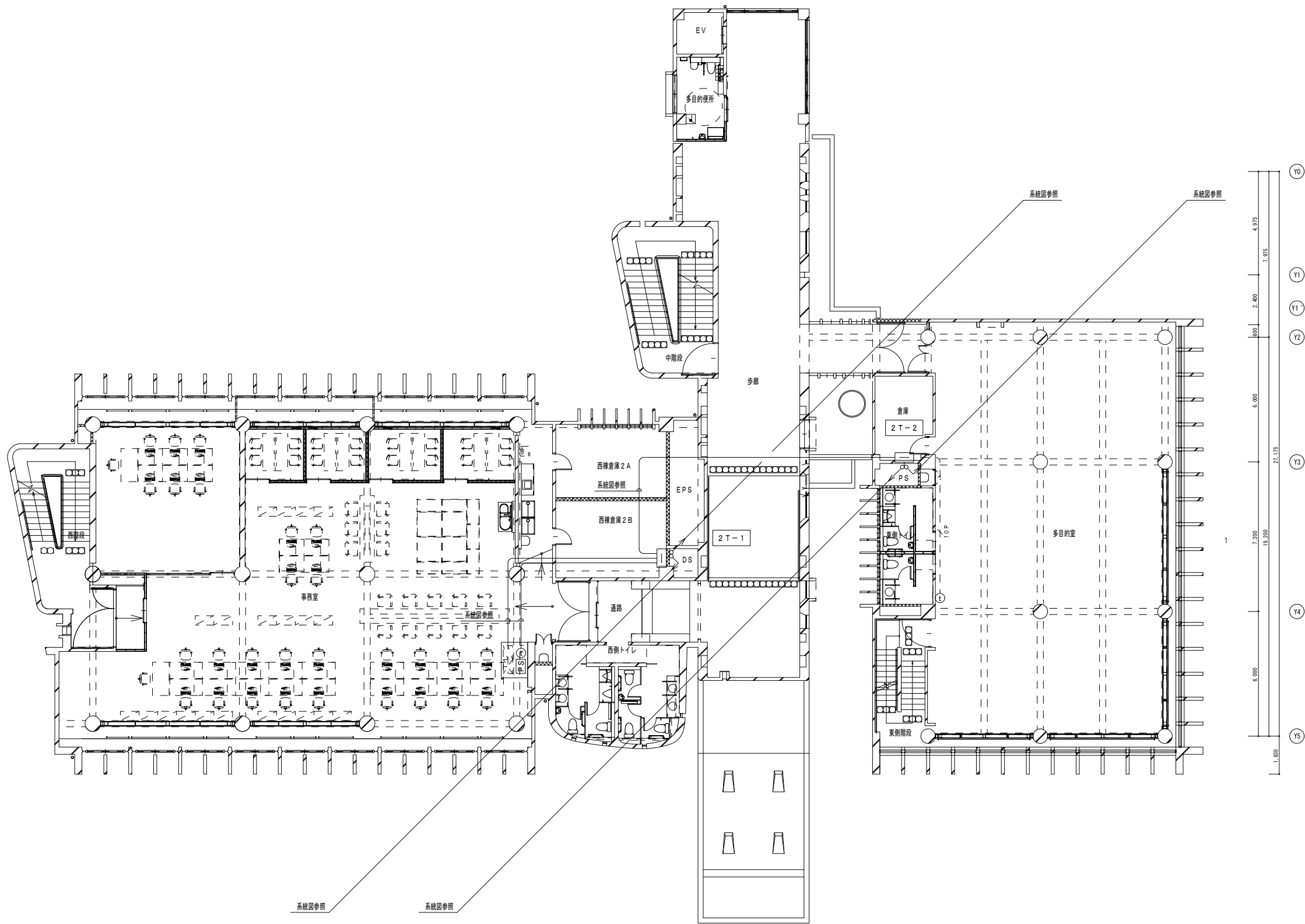
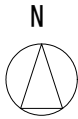
老人福祉センター 勤労青少年ホーム



B 1階 放送・インターホン・音声案内聴設備図(改修後) 1:150

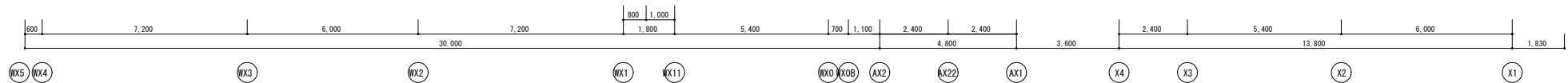
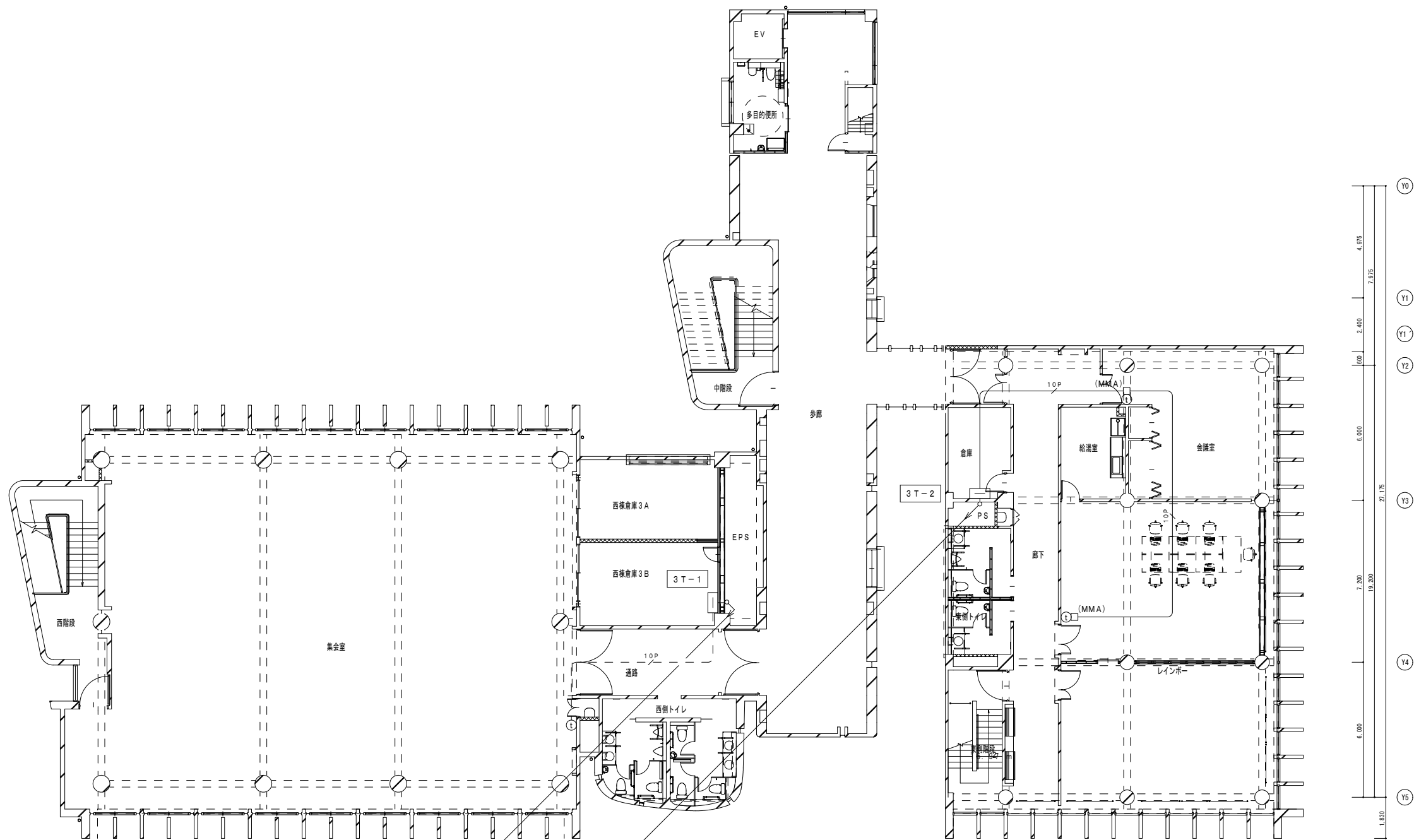
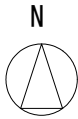


設計 香山・タニ設計業務共同企業体		一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事		E-64
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.03	地階・1階 放送・インターホン・音声案内設備図(改修後)	
				scale: A2 1:150 A3:71% 縮小	



2階 放送・インターホン・音声案内聴設備図(改修後) 1:150

設計 香山・タニ設計業務共同企業体		一級建築士事務所 東京都知事 第12299号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事	E-65
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	2階 放送・インターホン・音声案内設備図(改修後)	
		date:2025.03	scale: A2 1:150 A3:71% 縮小	

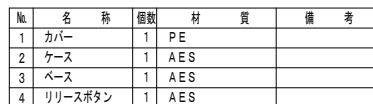


3階 放送・インターホン・音声案内設備図(改修後) 1:150

非常通報装置



⑤ 熱線センサ 立体警戒型



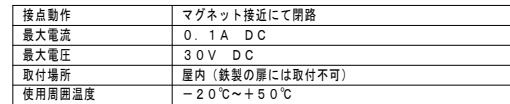
RC	カラーLCD非接触マルチリモコン
----	------------------








	警備用電源装置
---	---------



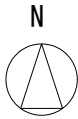
④ ドアスイッチ



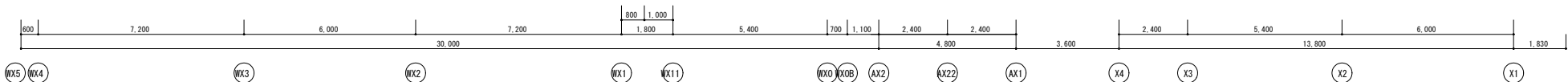
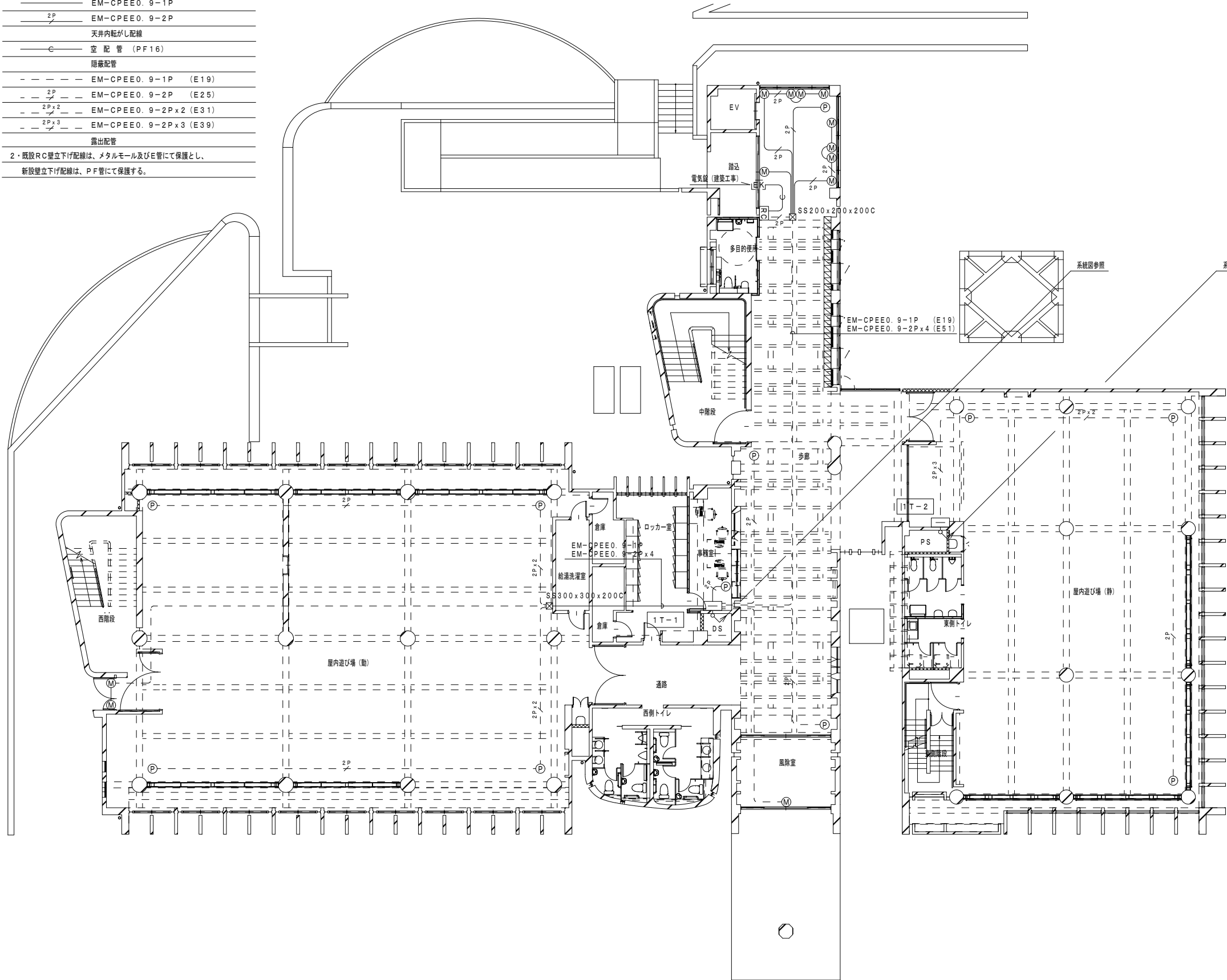
No.	名 称	個数	材 質	備 考
1	スイッチ部	1	ABS	
2	マグネット部	1	ABS	

記 号	名 称	備 考
	非常通報装置	弱電総合盤取付
	警備用電源装置	弱電総合盤取付
	熱センサ（立体警戒型）	
	ドアスイッチ	
	カラーＬＣＤ非接触マルチリモコン	

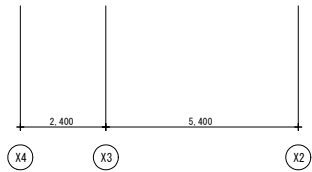
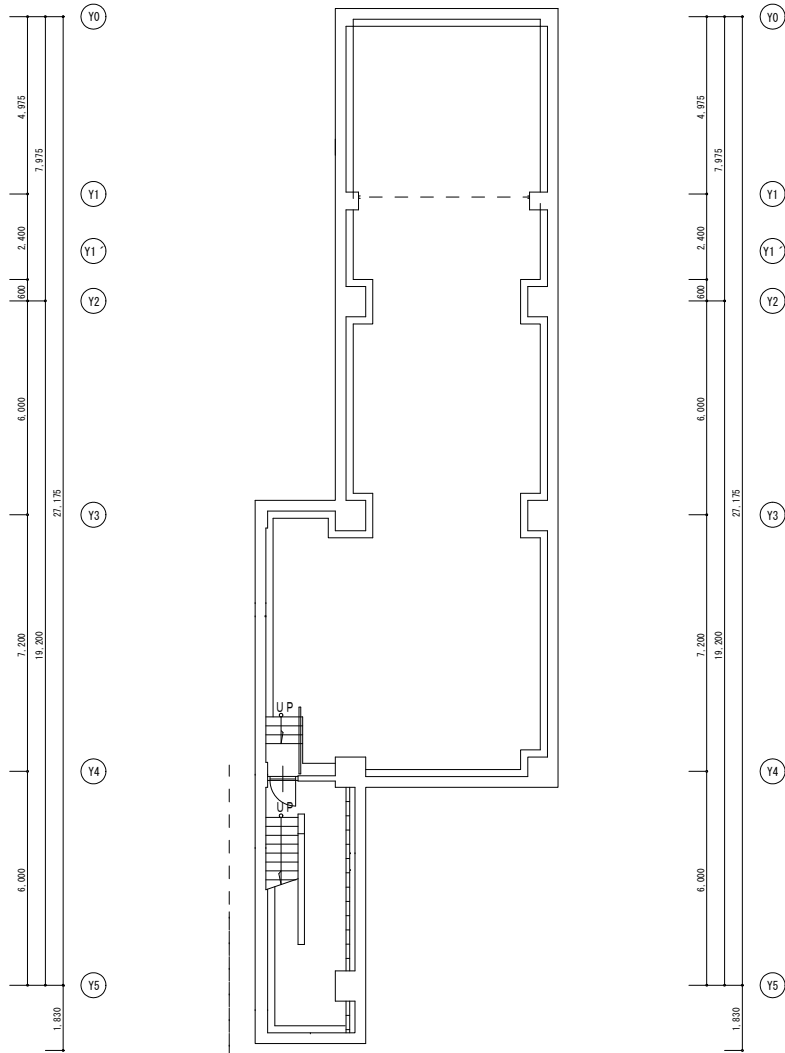




(特記事項)	
1・図中の表現は下記による	
	EM-CPEE0. 9-1P
	EM-CPEE0. 9-2P
	天井内転がし配線
	空 配 管 (PF16)
	隠蔽配管
	EM-CPEE0. 9-1P (E19)
	EM-CPEE0. 9-2P (E25)
	EM-CPEE0. 9-2P x 2 (E31)
	EM-CPEE0. 9-2P x 3 (E39)
	露出配管
2・既設RC壁立下げ配線は、メタルモール及びE管にて保護とし、 新設壁立下げ配線は、P F 管にて保護する。	

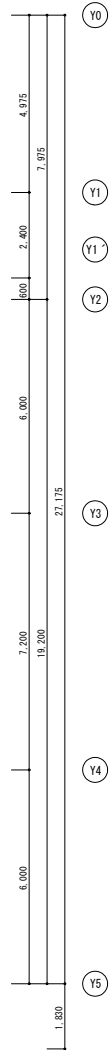
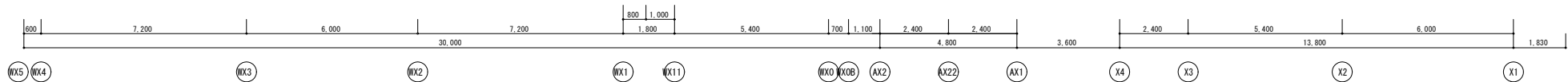
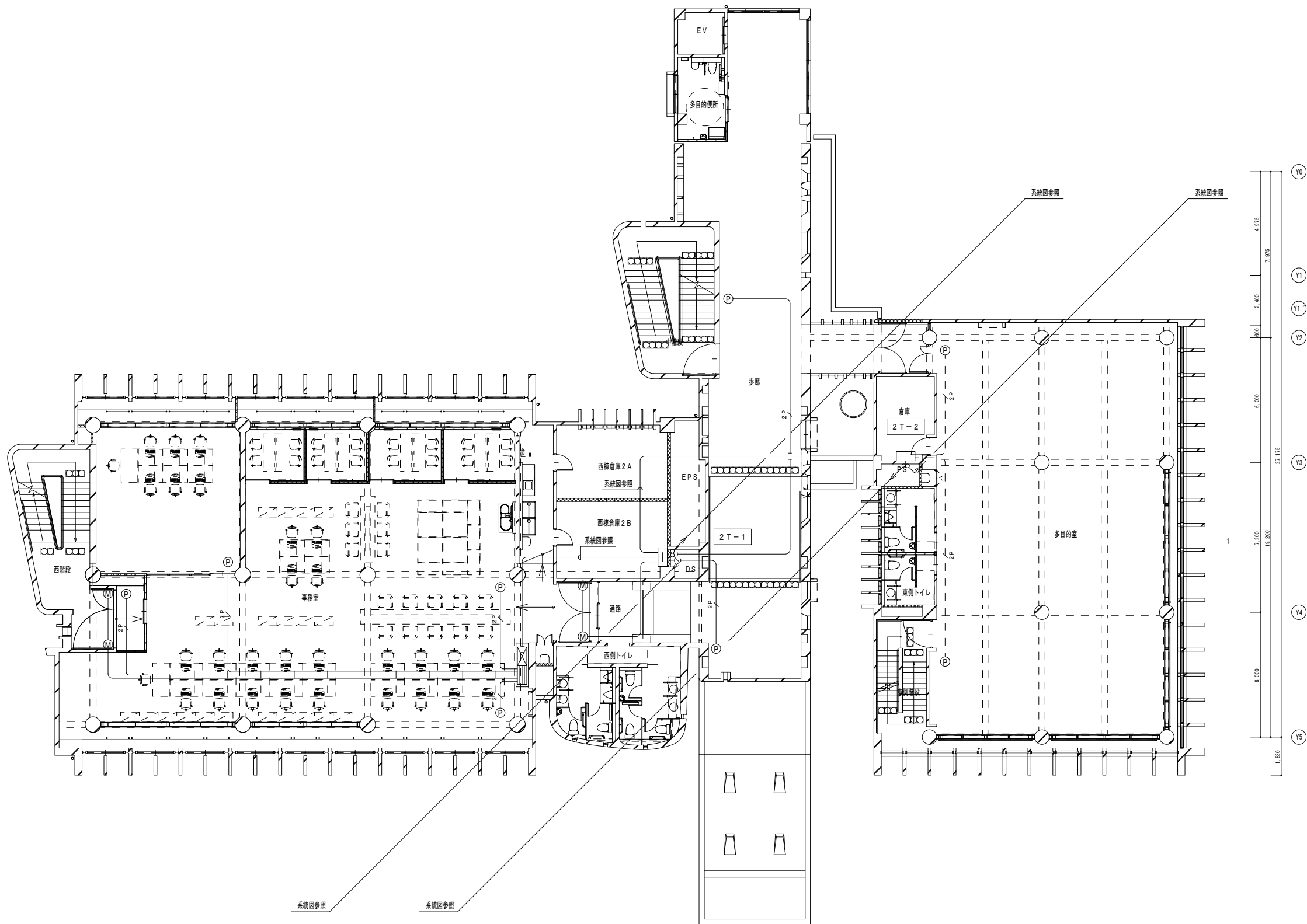
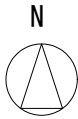


1 階 警備保障設備図 (改修後) 1:150

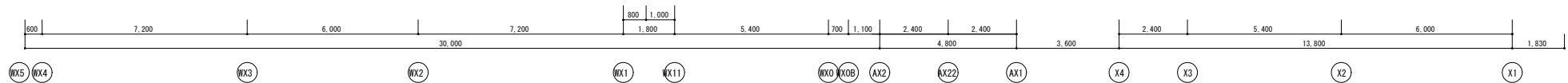
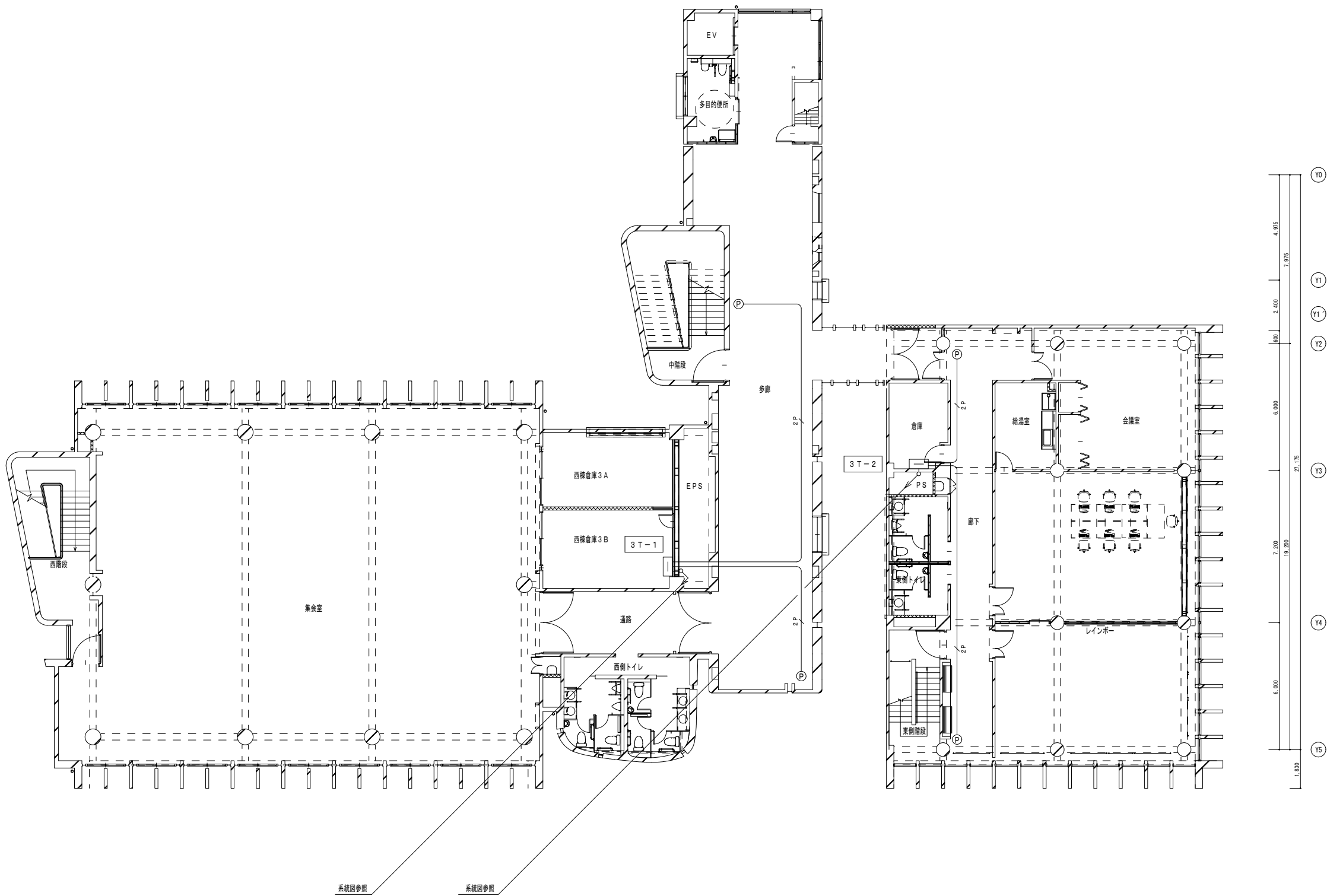
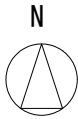


地階 警備保障設備図 (改修後) 1:150

設計		香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事	E-69
date:2025.03		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	地階・1 階 警備保障設備図 (改修後)	scale: A2 1:150 A3:71% 縮小	



2階 警備保障設備図(改修後) 1:150








3階 警備保障設備図(改修後) 1:150


設計		香山・タニ設計業務共同企業体	一般建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事	E-71
			一般建築士 第289714号 長谷川祥久	3階 警備保障設備図(改修後)	
			date:2025. 03	scale: A2 1:150 A3:71% 縮小	

(特記事項)


1・図中の表現は下記による

	1 V 1. 2 x 2 (19)
	1 V 1. 2 x 3 (19)
	0. 8 x 2 (19)
	0. 8 x 4 (19)
	0. 8 x 10 (25)

隠蔽配管 電線のみ撤去

	空 配 管 (19)
---	------------

隠蔽配管 既存のまま

	空 配 管 (19)
---	------------











土間配管 既存のまま

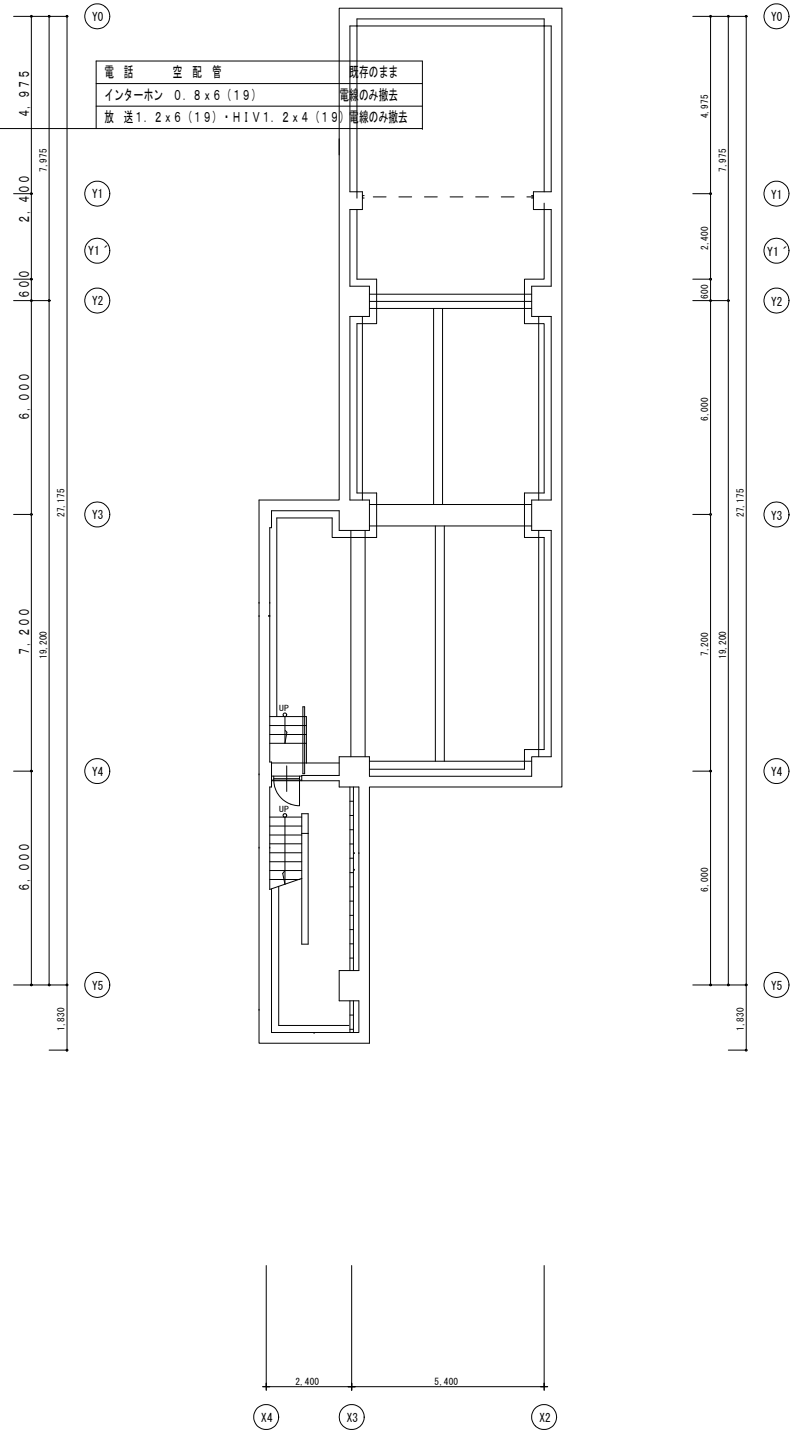
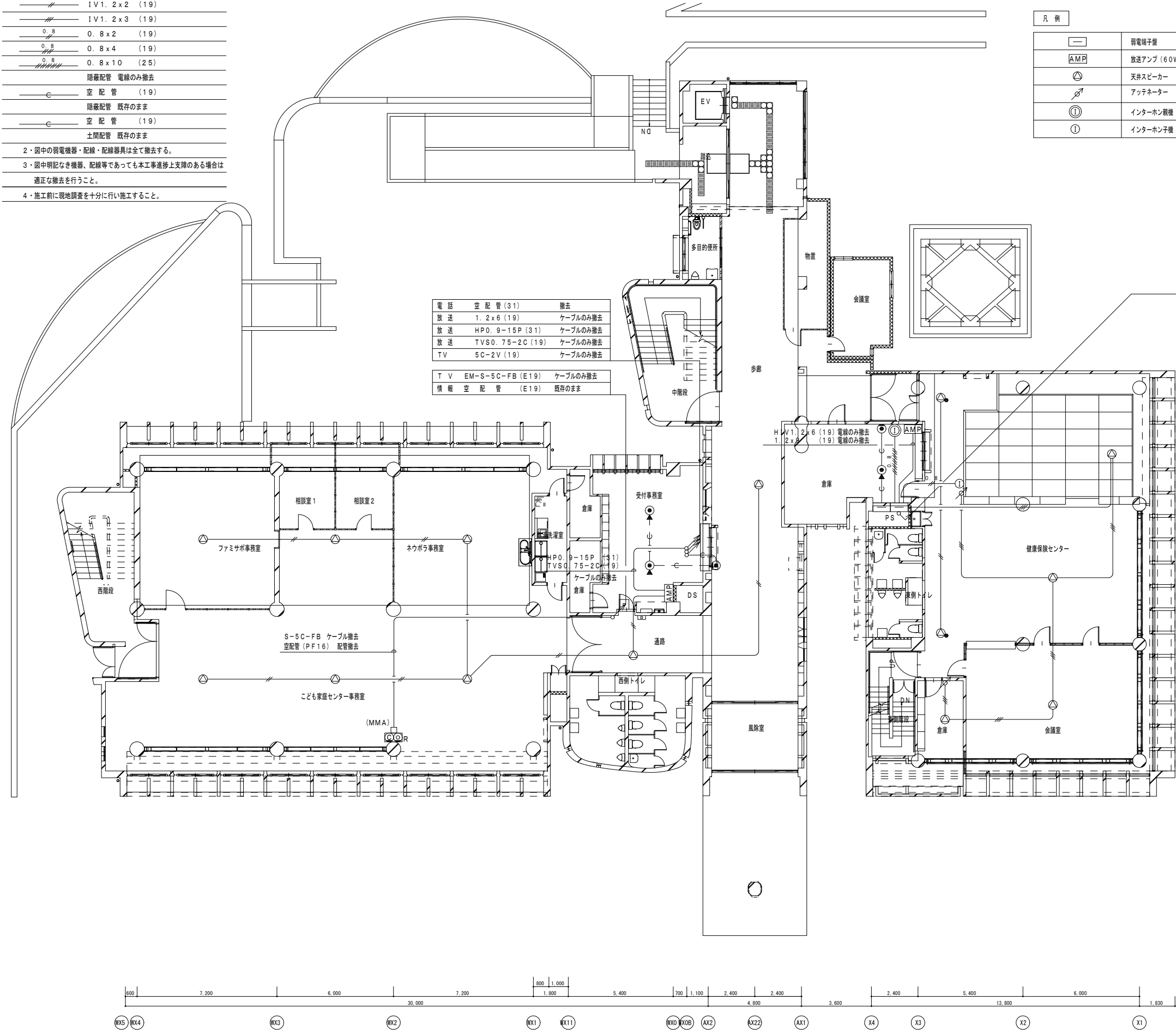
2・図中の弱電機器・配線・配線器具は全て撤去する。

3・図中明記なき機器、配線等であっても本工事進捗上支障のある場合は適正な撤去を行うこと。

4・施工前に現地調査を十分に先行し施工すること。

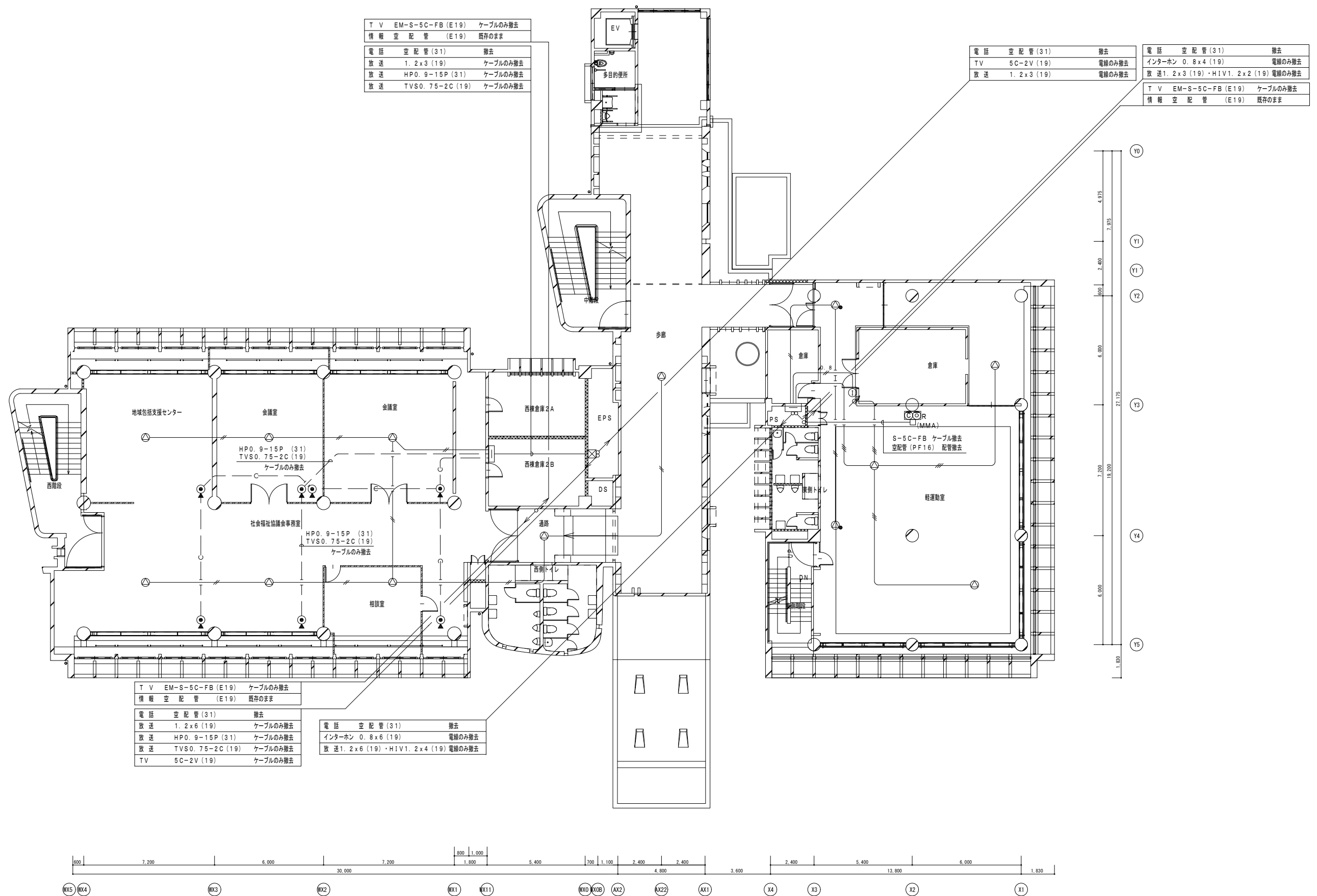
凡例

	弱電線子盤		電話用アウトレット（6極4芯）
	放送アンプ（60W）		情報用アウトレット（Cat 5）
	天井スピーカー		TVユニット（端末）
	アッテネーター		電話用ローテーション
	インターホン装置（6局用）		
	インターホン子機		

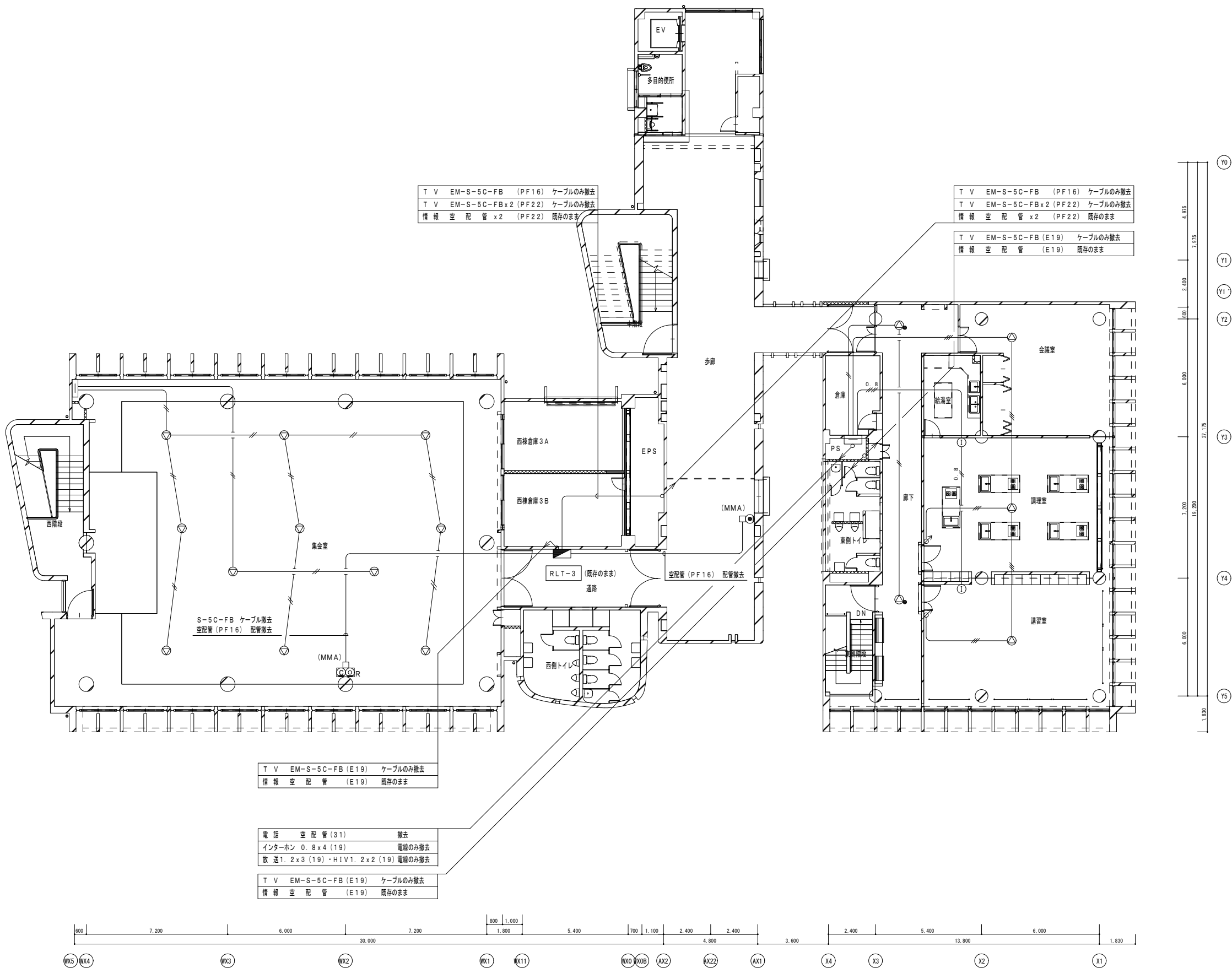
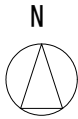


1 階 弱電設備図(改修前) 1:150

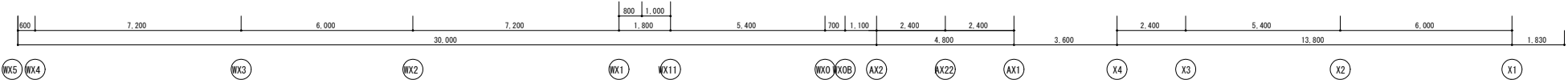
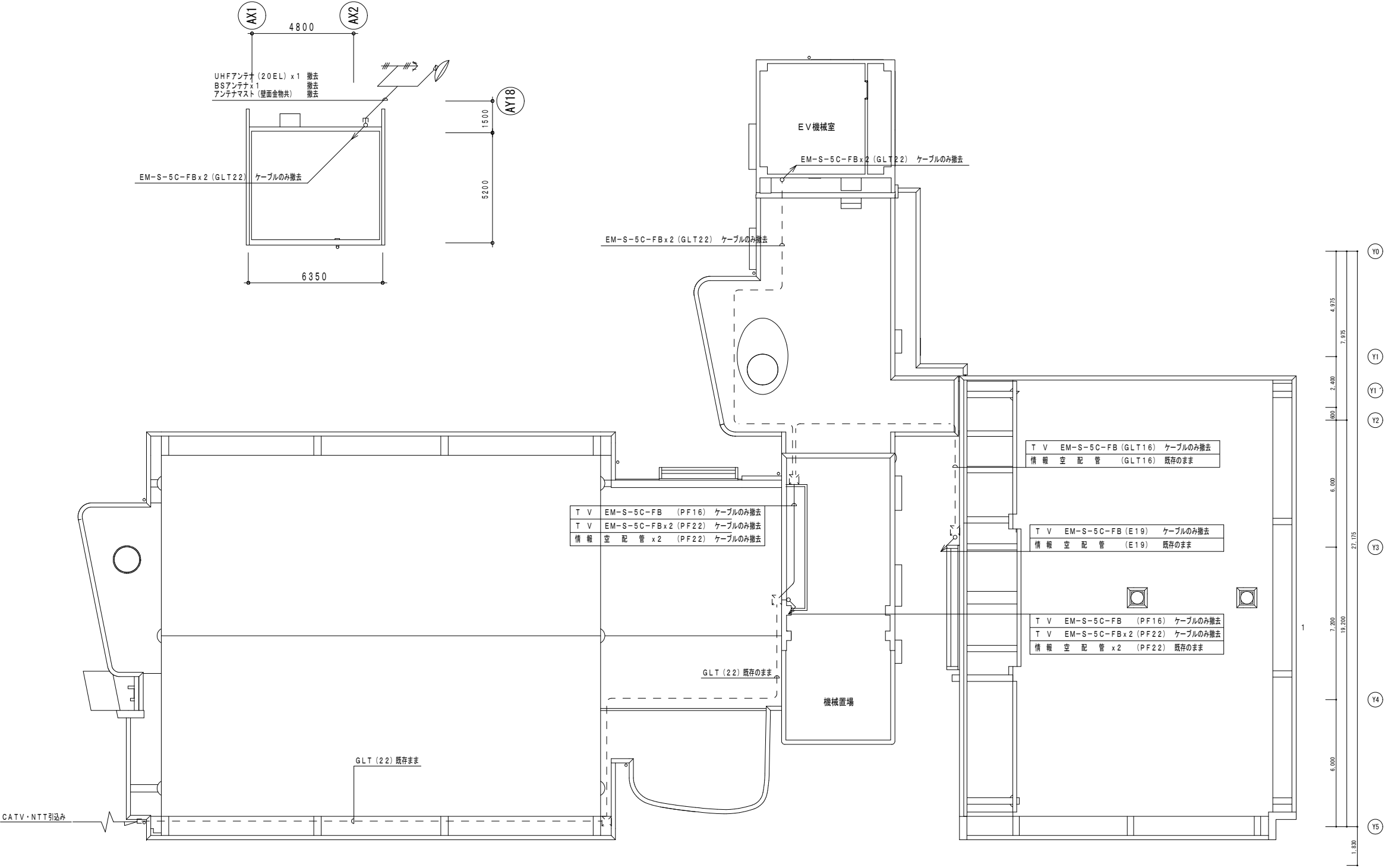
地階 弱電設備図(改修前) 1:150



2階 弱電設備図(改修前) 1:150













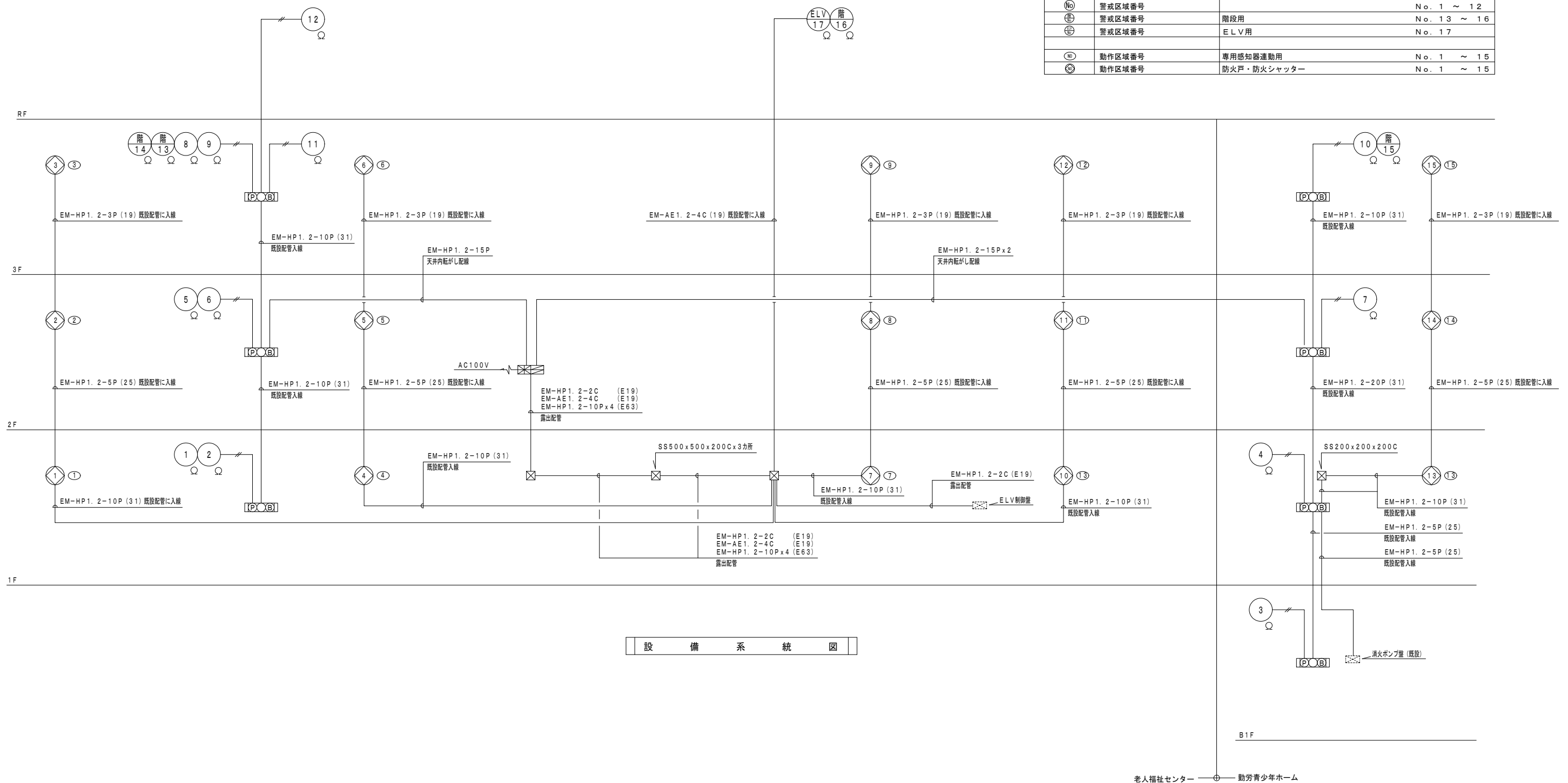
3階 弱電設備図(改修前) 1:150



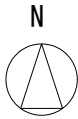
R階 弱電設備図(改修前) 1:150

自動火災報知設備凡例

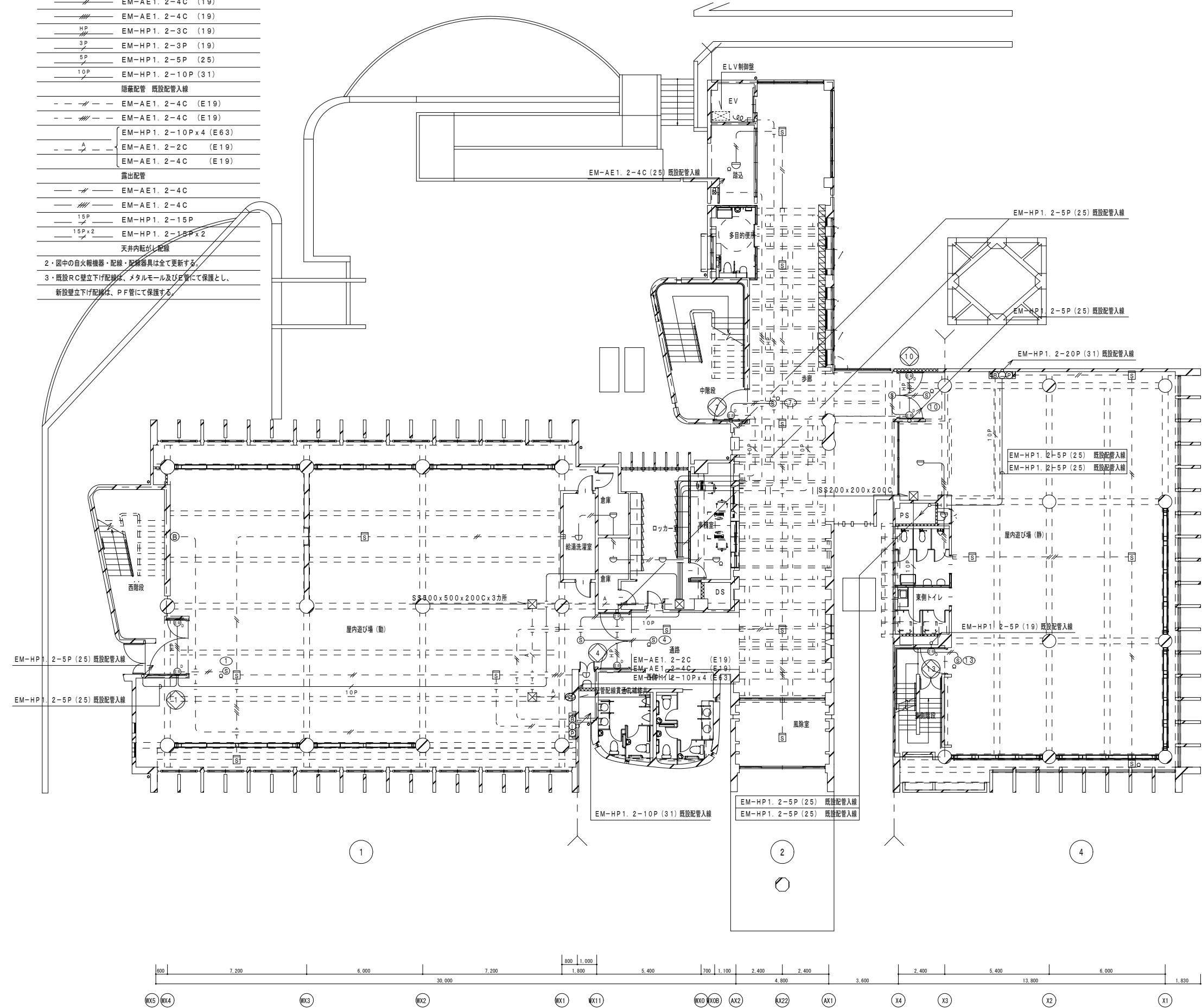
記 号	称	記 事
	複合受信機	P型1級 壁掛型(20+20窓)
		機器収納箱 消火栓内蔵 (P)(B) 収容
(P)	発信機	P型1級
(○)	表示灯	LED 24V
(B)	電 鈴	
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式スポット型感知器	1種 70℃ 防水型
	定温式スポット型感知器	1種
	光電式スポット型感知器	2種
————	配管配線	隠蔽配管
- - - -	配管配線	露出配管
———	配管配線	天井内転がし配線
	配管配線	立上り、引下げ、素通し
	プルボックス	
—— - ——	警戒区域境界線	
(No)	警戒区域番号	No. 1 ~ 12
	警戒区域番号	階段用 No. 13 ~ 16
	警戒区域番号	No. 17
(No)	動作区域番号	専用感知器連動用 No. 1 ~ 15
	動作区域番号	防火戸・防火シャッター No. 1 ~ 15



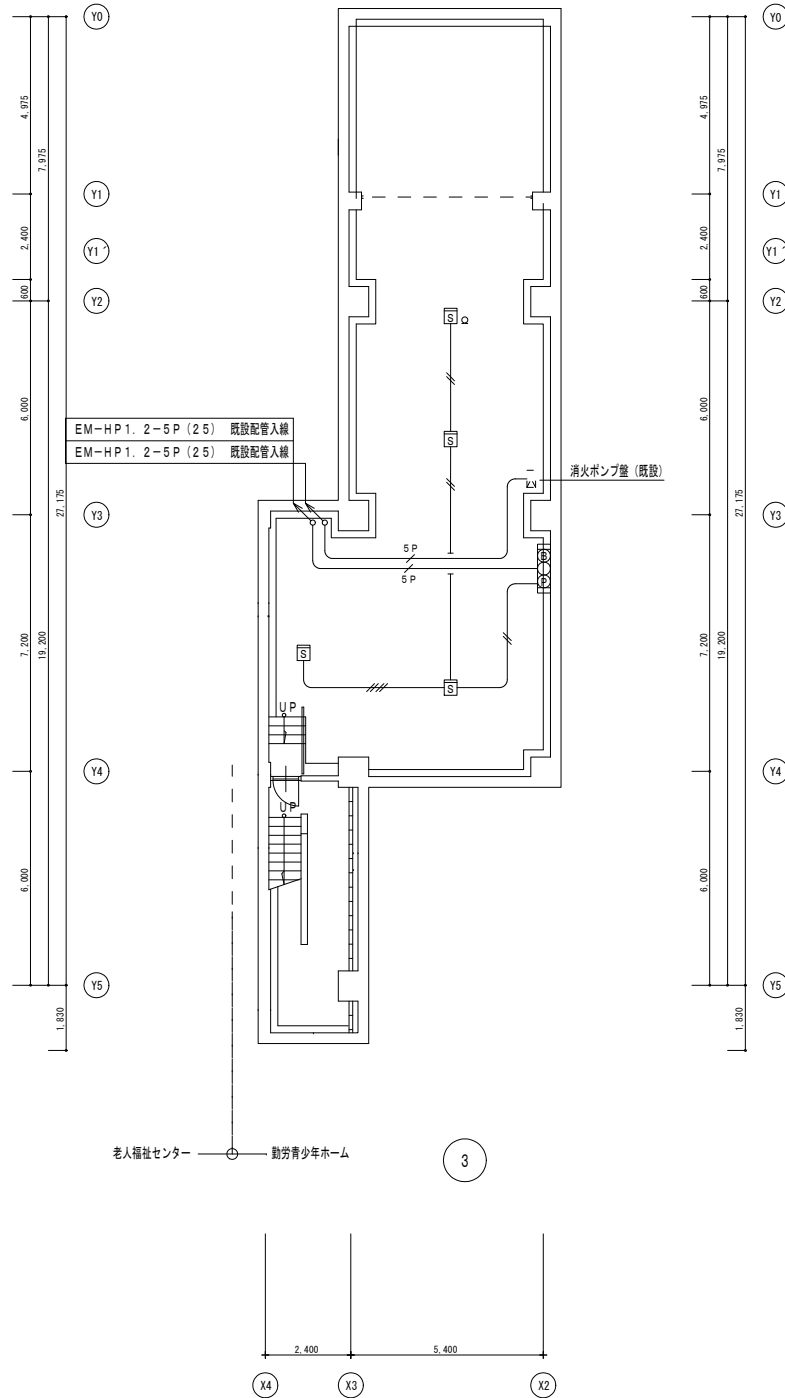
設	備	系	統	図
---	---	---	---	---



(特記事項)	
1・図中の表現は下記による	
	EM-AE1, 2-4C (19)
	EM-AE1, 2-4C (19)
	EM-HP1, 2-3C (19)
	EM-HP1, 2-3P (19)
	EM-HP1, 2-5P (25)
	EM-HP1, 2-10P (31)
隠蔽配管 既設配管入線	
	EM-AE1, 2-4C (E19)
	EM-AE1, 2-4C (E19)
	EM-HP1, 2-10Px4 (E63)
	EM-AE1, 2-2C (E19)
	EM-AE1, 2-4C (E19)
露出配管	
	EM-AE1, 2-4C
	EM-AE1, 2-4C
	EM-HP1, 2-15P
	EM-HP1, 2-15Px2
天井内転がり配線	
2・図中の自火報機器・配線・配線器具は全て更新する。	
3・既設RC壁立下げ配線は、メタルモール及びE管にて保護とし、	
新設壁立下げ配線は、PF管にて保護する。	



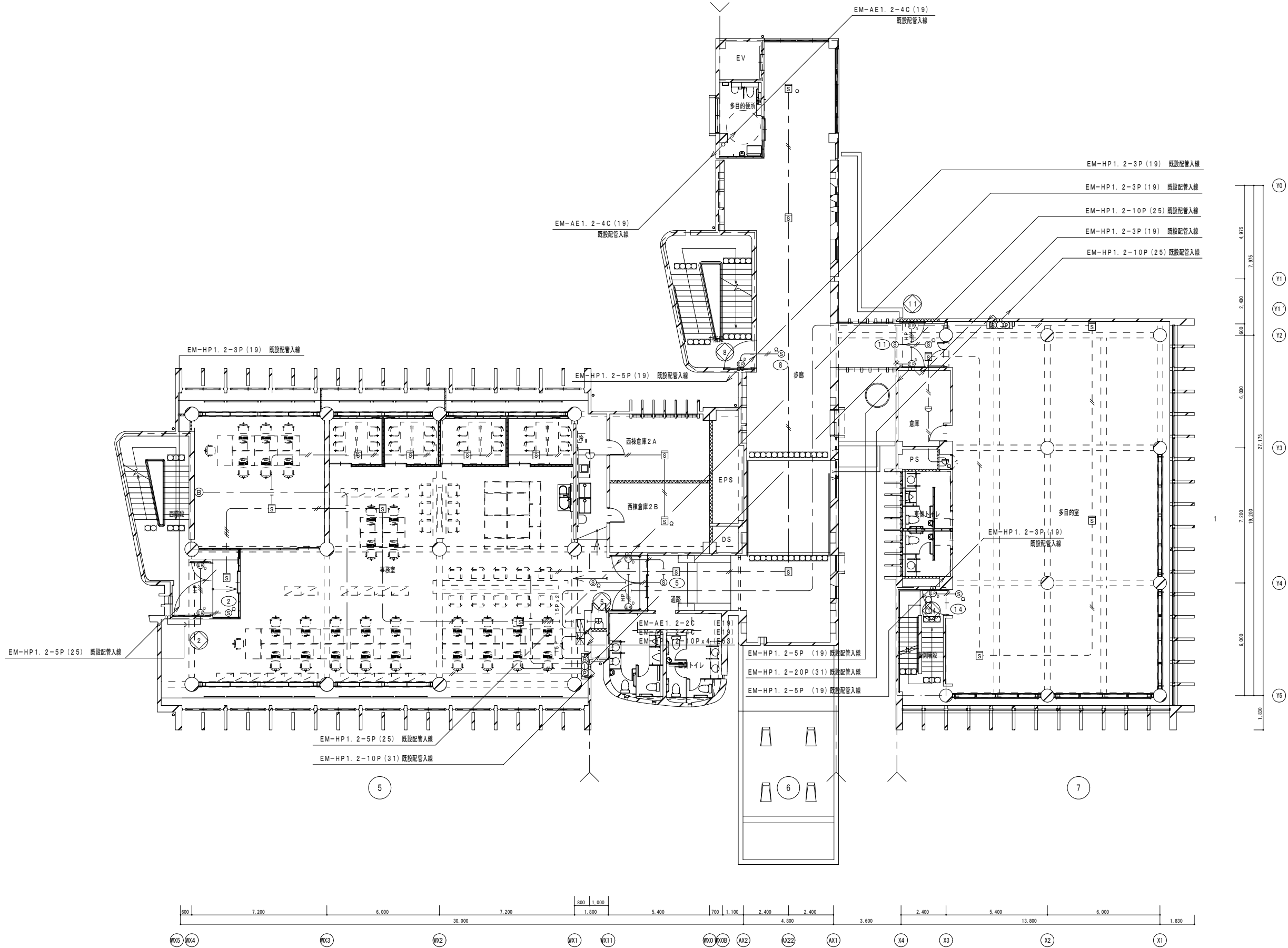
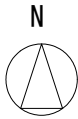
1階 自火報設備図(改修後) 1:150



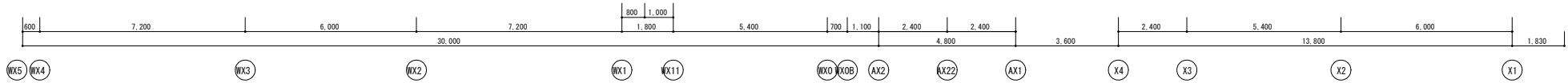
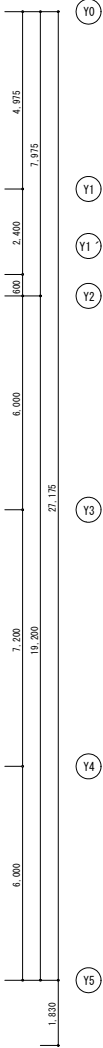
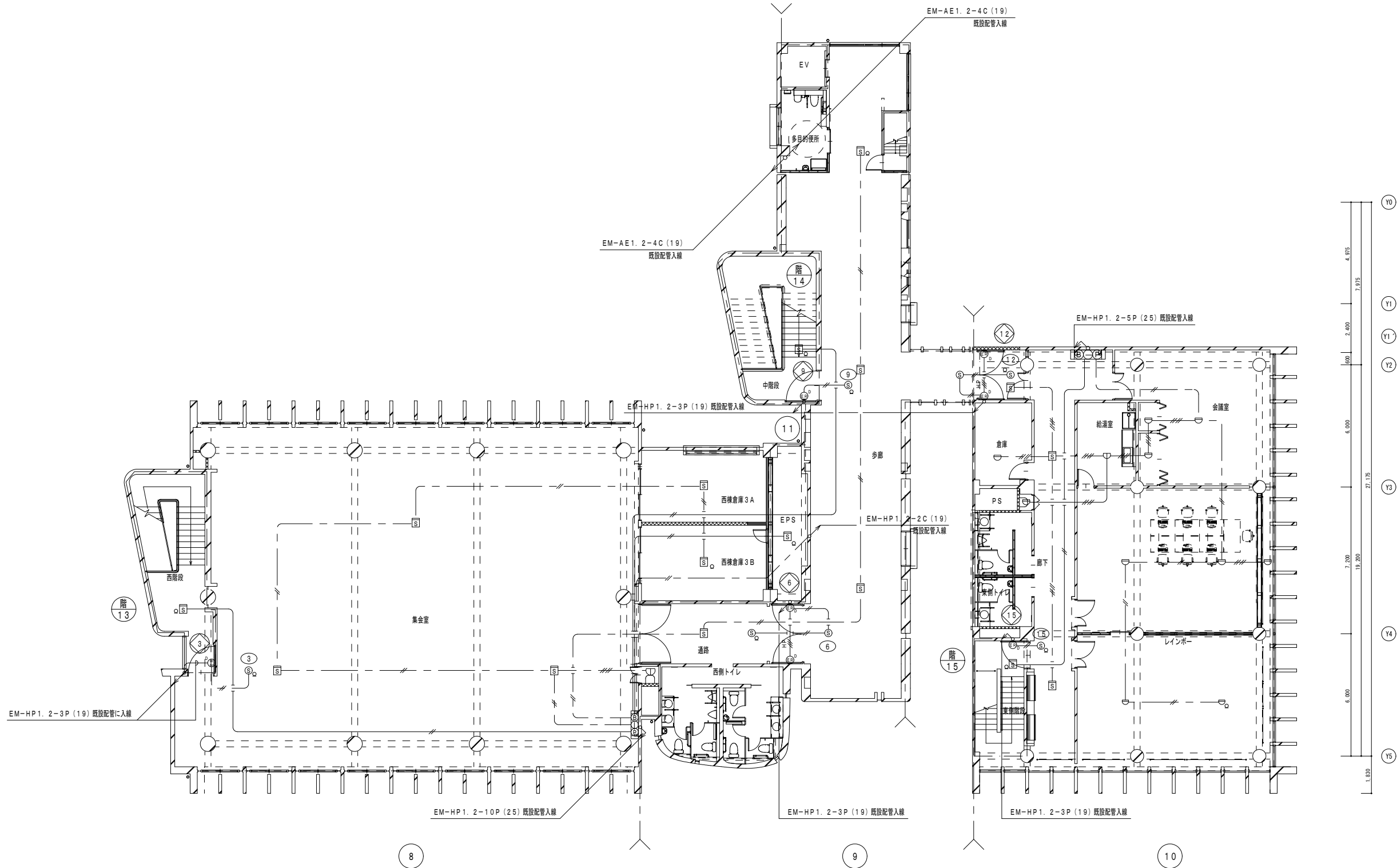
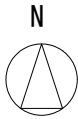
地階 自火報設備図(改修後) 1:150

		設計		香山・タニ設計業務共同企業体		一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所		鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事		E-77
						一級建築士 第289714号 長谷川祥久		date:2025.03		
								地階・1 階 自火報設備図(改修後)		

scale: A2 1:150 | A3:71% 縮小

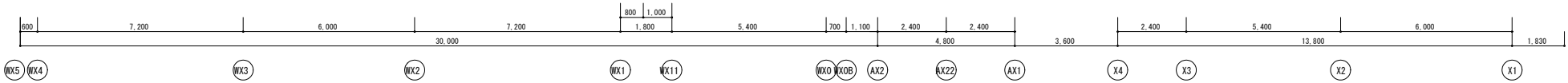
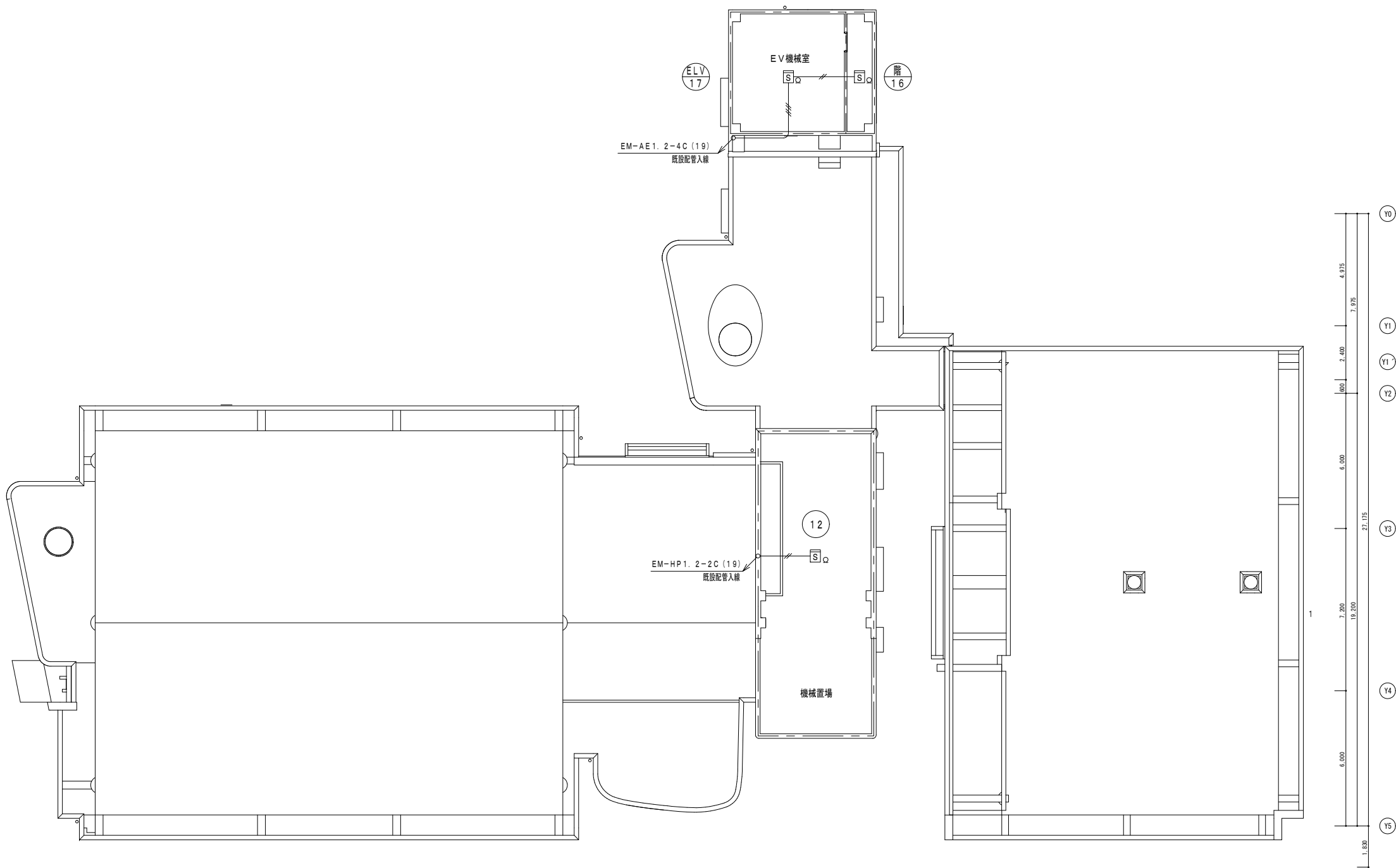


2階 自火報設備図(改修後) 1:150









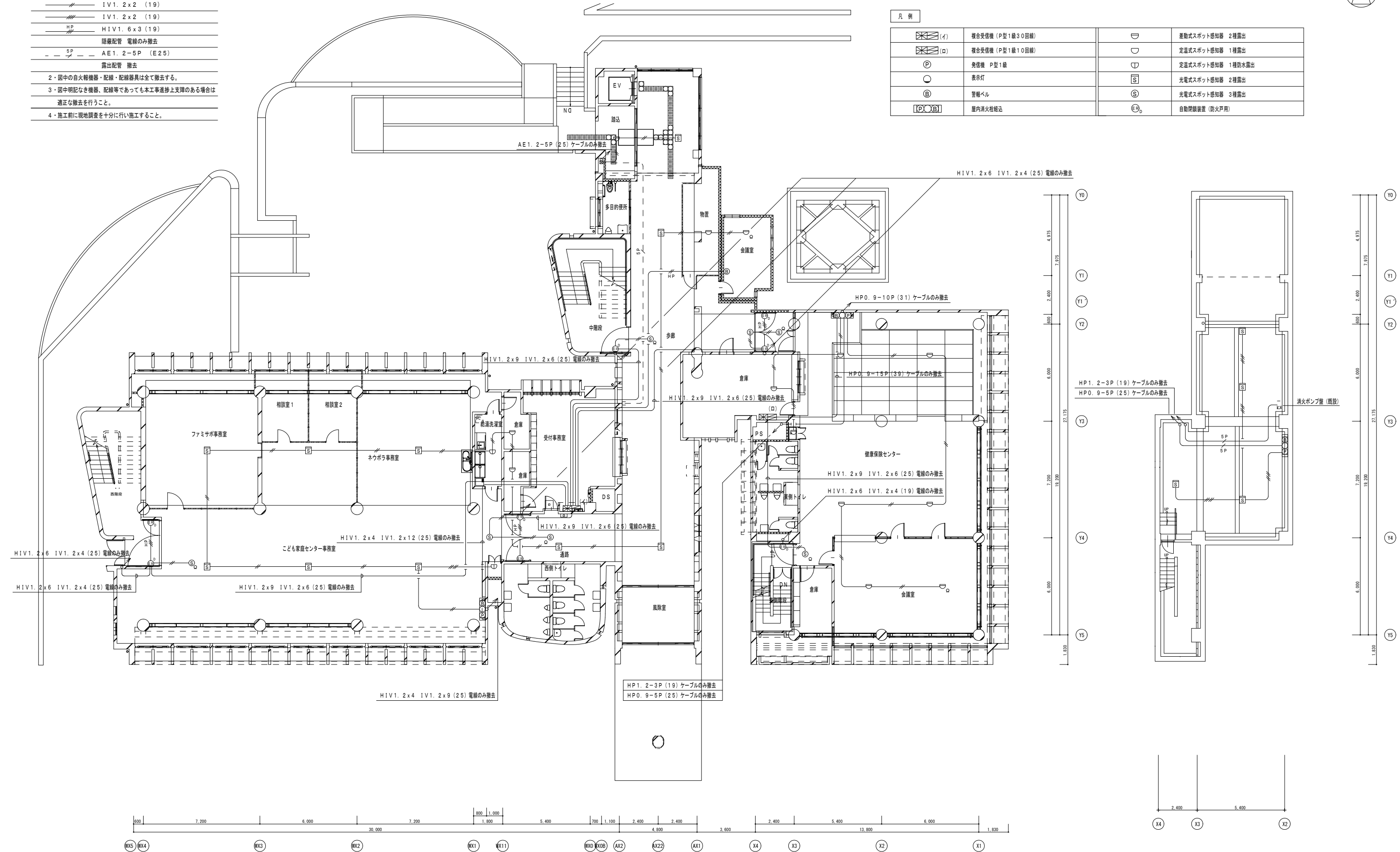
3階 自火報設備図(改修後) 1:150

設計 香山・タニ設計業務共同企業体		一級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事	E-79
		一級建築士 第289714号 長谷川祥久	3階 自火報設備図(改修後)	
		date:2025.03	scale: A2 1:150 A3:71% 縮小	



R階 自火報設備図(改修前) 1:150

凡 例	
 (イ)	緊急受信機 (P型 1線30回線)
 (ロ)	緊急受信機 (P型 1線10回線)
 (P)	急信機 P型 1線
	表示灯
 (B)	警報ベル
 (P) (O) (B)	屋内消火栓給込



1階自火報設備図(改修前) 1:150

地階自火報設備圖(改修前) 1:150

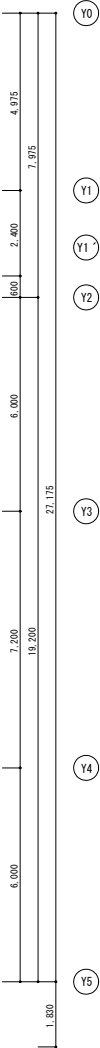
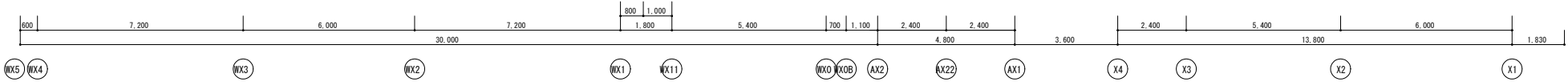
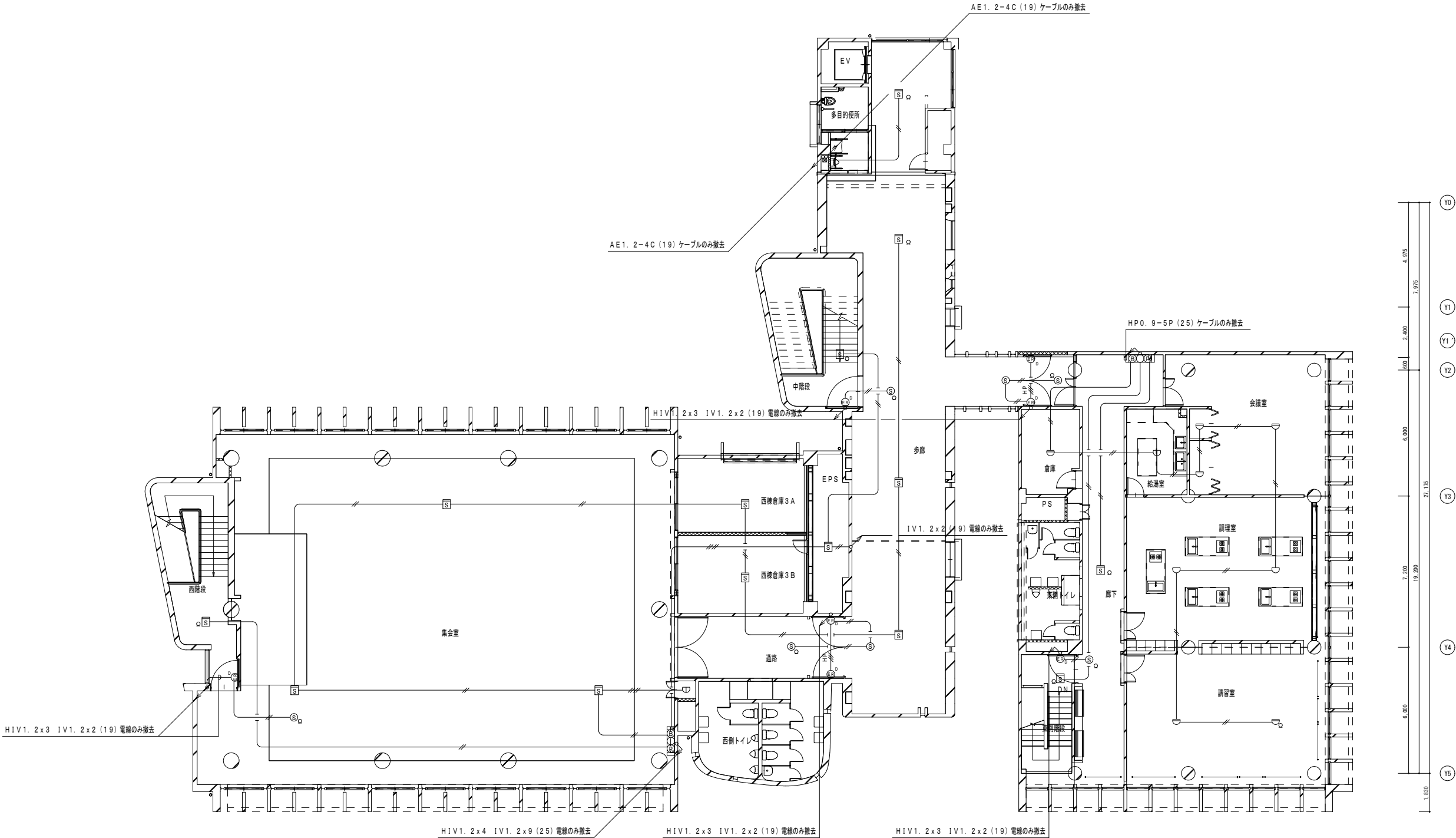
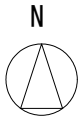


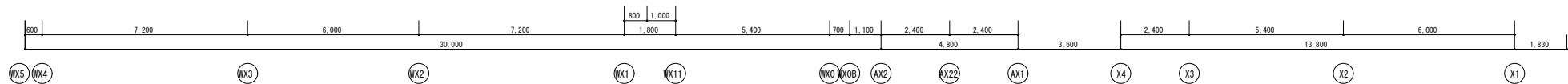
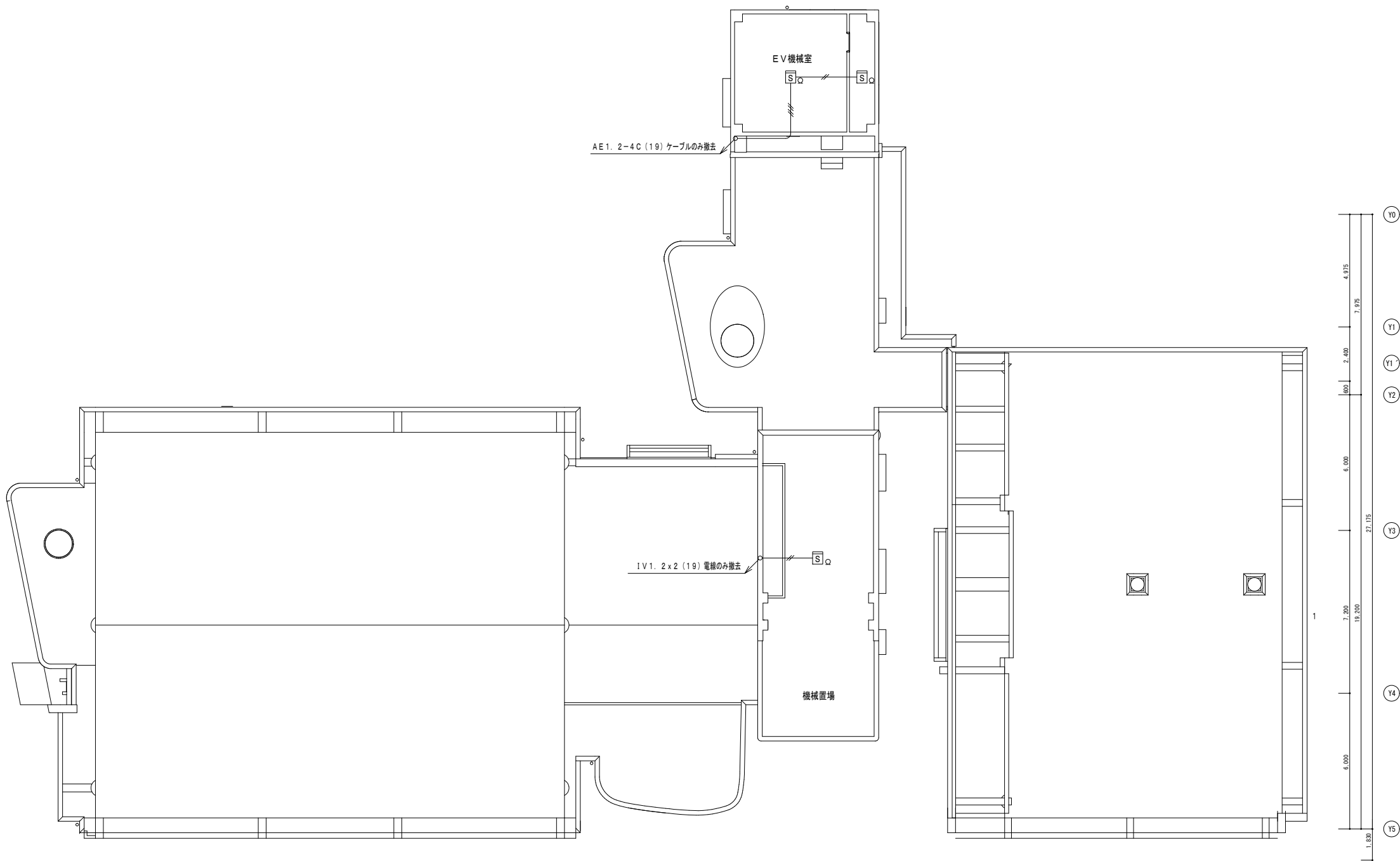
Figure 1: Schematic representation of the 100 kb genomic region. The top part shows a linear map with markers (circles) and distances (kb) between them. The bottom part shows the same region with a color-coded scale from 0 to 100 kb.

Marker	Position (kb)
MX5	0
MX4	600
MX3	7,200
MX2	13,800
MX1	30,000
MX11	30,000
MX0	30,000
MX0B	30,000
AX2	30,000
AX22	30,000
AX1	30,000
X4	30,000
X3	30,000
X2	30,000
X1	30,000



3階自火報設備図(改修前) 1:150

		設計	香山・タニ設計業務共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事 第12399号	香山建築研究所			鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち電気工事	E-83
				一級建築士 第289714号 長谷川祥久		date:2025.03	3階 自火報設備図(改修前)	scale: A2 1:150 A3:71% 縮小	



R階自火報設備図(改修前) 1:150